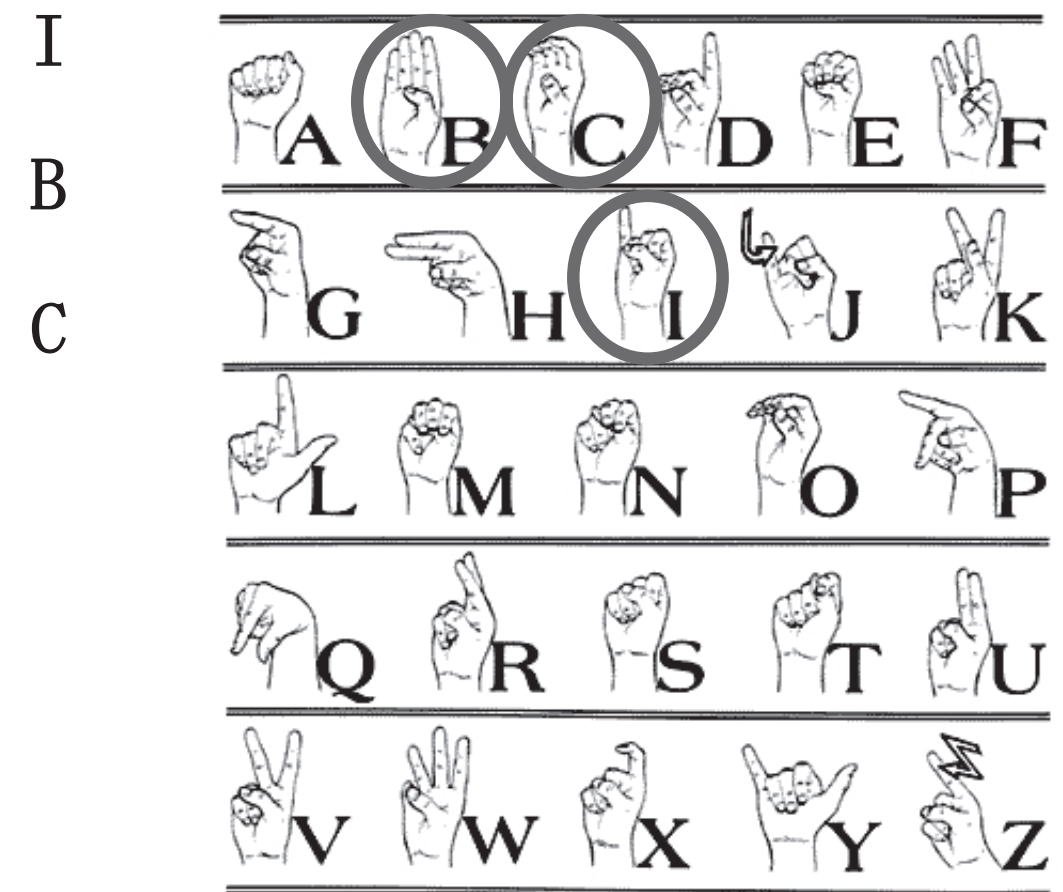


2021年度 前期 シラバス



クラス		名前	
-----	--	----	--

西鉄国際ビジネスカレッジ

< 目次 >

共通 P1～21

ホテル・ブライダル P22～44

観光・鉄道 P45～77

エアライン P78～111

国際ホテルマネジメント・観光ビジネス進学・・・ P112～159

夜間総合観光 P160～170

共通

学年	科目名	クラス	ページ
1	TOEIC I	EQRW	1
1	TOEIC II	EQRW	2
1	英検対策 I (火4限)	EQW	3
1	英検対策 II (金3限)	EQW	4
1	コンピュータ	QE	5
1	ホテル英会話	ET	6
1	ビジネスマナー	ET	7
1	ビジネスマナー	QNY	8
1	ペン字	SI	9
1	韓国語	共通 (EYのぞく)	10
1・3	中国語	AN QWU	11
1	手話	NW	12
2	英検対策 I	OPV	13
2	コンピュータ	OPK	14
2	韓国語	OPV	15
2	観光英語	KOPV	16
2	SPI言語対策	OPVZ	17
2・3	SPI非言語対策	OPVZU	18
2	就職筆記対策	AK	19
2	コミュニケーション学	OPK	20
2	サービス接遇検定	MZ	21

対象学年	1年	学期	通年	学科	ホテル・ブライダル・エアライン	
科目名	TOEIC I				クラス	EQRW
担当講師(フルネーム)	挽田雅子				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	TOEICの試験形式に慣れ、聴解力、語彙力、読解力の強化をめざす。 TOEIC頻出の文法事項を理解する。				授業形態	講義
到達目標	TOEIC試験で目標スコアを獲得する。					
使用テキスト	公式TOEIC LISTENING & READING 問題集 7					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		授業の進め方、評価方法の説明 TOEICテストの説明 サンプル問題を解く			
2回	Part2(1)		Part2の攻略の基本を学ぶ WH疑問文を聞き取る キーワードをとらえる			
3回	Part2(3)		「許可」「依頼」「提案」の応答の典型を覚える 音のひっかけに注意する 練習問題			
4回	Part3(2)		設問を先に読む 設問の意味を単純化する 選択肢を読む			
5回	Part4(1)		Part4の攻略の基本を学ぶ 設問の順番に沿ってヒントを聞き取る アナウンスや公共放送を聞く			
6回	Part4(3)		図・イラスト問題を攻略する 設問を先読みする 練習問題			
7回	Part5(2)		名詞の形と役割を理解する 名詞と数量詞の関連を知る 練習問題			
8回	Part5(4)		形容詞の形と役割を理解する 副詞の形と役割を理解する 形容詞と副詞の練習問題			
9回	Part5(6)		前置詞の用法について理解する 接続詞の用法について理解する 前置詞と接続詞の練習問題			
10回	Part6(1)		Part6の攻略の基本を学ぶ 設問を分類する 文法・語彙問題を解く			
11回	Part7(1)		Part7の攻略の基本を学ぶ 短い文章から取り組む メール・お知らせ・メッセージを読む			
12回	Part7(3)		記事・取扱説明書・手紙を読む 時間を管理する シングルパッセージの後半を最後に解く			
13回	Part7(5)		ダブルパッセージ 求人広告とメール 設問の焦点となる情報を一方の文書で探し、もう一方の文書で関連情報を探す			
14回	Part7(7)		トリプルパッセージ Eメール・目次・ウェブページ 要約力を身につける			
15回	応用問題		ストーリーを理解する ほのめかされた情報が問われたときの解答法 「位置選択問題」の解き方			

対象学年	1年	学期	通年	学科	ホテル・ブライダル・エアライン	
科目名	TOEIC II				クラス	EQRW
担当講師(フルネーム)	挽田雅子				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	TOEICの試験形式に慣れ、聴解力、語彙力、読解力の強化をめざす。 TOEIC頻出の文法事項を理解する。				授業形態	講義
到達目標	TOEIC試験で目標スコアを獲得する。					
使用テキスト	公式TOEIC LISTENING & READING 問題集 7					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	Part1		Part1の攻略の基本を学ぶ 人物、風景と物、乗り物についての表現を学ぶ 練習問題			
2回	Part2(2)		Yes/No疑問文の応答 付加疑問文の応答 平叙文の応答			
3回	Part3(1)		Part3の攻略の基本を学ぶ 設問を読み、全体を聞いて解答できるものとピンポイントで聞いて解答するものを見分ける 練習問題			
4回	Part3(3)		設問を先に読む 図・イラスト問題を攻略する 選択肢を読む			
5回	Part4(2)		場所を問う問題を解く 職業を問う問題を解く 次の行動を問う問題を解く			
6回	Part5(1)		Part5の攻略の基本を学ぶ 品詞問題の解き方を学ぶ 文型・修飾語について理解する			
7回	Part5(3)		動詞の形と役割を理解する 能動態と受動態 練習問題			
8回	Part5(5)		準動詞の形と役割を理解する 不定詞・動名詞の練習問題 分詞の形と用法を理解する			
9回	Part5(7)		主語と述語の一致について理解する 主語の見分け方と対応する動詞の選び方を学習する 練習問題			
10回	Part6(2)		「文挿入問題」の解き方を学ぶ 空所の前後の内容をリンクさせるキーワードに注意する 練習問題			
11回	Part7(2)		広告・オンラインチャット・求人広告を読む 流れを意識して読む テキストメッセージは書き手の関係を整理して読む			
12回	Part7(4)		ダブルパッセージの解き方を学ぶ メールと予定表を読む 練習問題			
13回	Part7(6)		トリプルパッセージの解き方を学ぶ ウェブページとメールを読む 練習問題			
14回	Part7(8)		トリプルパッセージ 記事・文書・ウェブページを読む 要約力を身につける			
15回	まとめと復習		TEST1を復習する 語彙・語法の確認 文法問題の確認			

対象学年	1年	学期	通年	学科	ホテル・ブライダル、エアライン(CA)、 エアライン	
科目名	英検対策Ⅰ＆Ⅱ(火曜4限)				クラス	EQW
担当講師(フルネーム)	平島千華、日高郁子、加藤亜希、八頭司麻都佳				実務経験	有
授業概要(内容)	英検各級の語彙、文法についての解説等 注:各クラスで取得目標級が異なる為、授業内容や進度はそれぞれ異なる。				授業形態	講義
到達目標	英検2021年度第1回に合格できる力をつける。					
使用テキスト	2021年度版 英検過去6回全問題集(旺文社)					
成績評価方法	・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	4
期末試験	期末試験期間に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	2020年度第2回検定問題	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
2回	2020年度第2回検定問題	長文問題、語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 作文指導(取得目標級により異なる) 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。				
3回	2020年度第2回検定問題	リスニング問題 英作文指導 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
4回	2020年度第2回検定問題	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
5回	英作文指導 リスニング	作文指導(取得目標級により異なる) 2020年度第2回検定問題での未修得箇所の再学習。 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
6回	2020年度第1回検定問題	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
7回	2020年度第1回検定問題	長文問題 語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。				
8回	2021年度第1回検定 解答解説	2021年度第1回検定解答、解説 自身の弱点研究 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
9回	2020年度第1回検定問題	長文問題 語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。				
10回	2020年度第1回検定問題 二次試験対策	リスニング問題 英作文問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
11回	2019年度第3回検定問題 二次試験対策	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
12回	2019年度第3回検定問題 二次試験対策	長文問題 語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。				
13回	2019年度第3回検定問題	リスニング問題 英作文問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
14回	2019年度第3回検定問題	長文読解 英作文問題 リスニング問題				
15回	期末試験直前対策	後期授業総括 期末試験対策 後期総復習				

対象学年	1年	学期	通年	学科	ホテル・ブライダル、エアライン(CA)、 エアライン	
科目名	英検対策Ⅰ&Ⅱ(金曜3限)				クラス	EQW
担当講師(フルネーム)	平島千華、日高郁子、加藤亜希、八頭司麻都佳				実務経験	有
授業概要(内容)	英検各級の語彙、文法についての解説等 注:各クラスで取得目標級が異なる為、授業内容や進度はそれぞれ異なる。				授業形態	講義
到達目標	英検2021年度第1回に合格できる力をつける。					
使用テキスト	2021年度版 英検過去6回全問題集(旺文社)					
成績評価方法	・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数 4
期末試験	期末試験期間に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	2020年度第2回検定問題	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
2回	2020年度第2回検定問題	長文問題、語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 作文指導(取得目標級により異なる) 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。				
3回	2020年度第2回検定問題	リスニング問題 英作文指導 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
4回	2020年度第2回検定問題	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
5回	英作文指導 リスニング	作文指導(取得目標級により異なる) 2020年度第2回検定問題での未修得箇所の再学習。 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
6回	2020年度第1回検定問題	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
7回	2020年度第1回検定問題	長文問題 語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。				
8回	2021年度第1回検定 解答解説	2021年度第1回検定解答、解説 自身の弱点研究 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
9回	2020年度第1回検定問題	長文問題 語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。				
10回	2020年度第1回検定問題 二次試験対策	リスニング問題 英作文問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
11回	2019年度第3回検定問題 二次試験対策	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
12回	2019年度第3回検定問題 二次試験対策	長文問題 語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。				
13回	2019年度第3回検定問題	リスニング問題 英作文問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
14回	2019年度第3回検定問題	長文読解 英作文問題 リスニング問題				
15回	期末試験直前対策	後期授業総括 期末試験対策 後期総復習				

対象学年	1年	学期	通年	学科	エアライン・ホテルマネジメント 科	
科目名	コンピュータ				クラス	Q E
担当講師(フルネーム)	乙咩清美				実務経験	有
授業概要(内容)	タイピング、ビジネスレター(文書、メール等)を繰り返し練習する。 ビジネス文書のルール、ファイル管理を練習する。				授業形態	講義&演習
到達目標	Microsoft Wordの基礎知識を学び、タイピングスキルと、就活や社会人として必要なITスキルを身につける					
使用テキスト	実教出版 30時間でマスターOffice2019					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	IT基礎	OALームの使用について 授業の進め方・その他の確認、ファイルとフォルダの操作・クラウドについて ウィンドウズについて、タイピングスキルチェック、自己紹介カードの入力				
2回	Word基礎	キーボード操作(様々な入力方法やショートカットキーの活用) ビジネス文書作成(社内文書) ※ページ設定、文字書式、文字のコピー・削除・移動など、ファイル保存について				
3回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(社内文書) ※表作成、ビジネス文書の基本など				
4回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(社内文書) ※画像の挿入、図形描画など				
5回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(ビジネスレター、ビジネスメール) ※ビジネスメールの基本、書き方				
6回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(ビジネスレター、ビジネスメール) ※ビジネスメールの基本、書き方				
7回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(社外文書) ※ビジネス文書の基本、箇条書きなど				
8回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(社外文書) ※送付状やお礼状の練習				
9回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(チラシ・ポスター作成) ※画像の挿入、図形描画・ワードアートなど				
10回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(チラシ・ポスター作成) ※画像の挿入、図形描画・ワードアートなど				
11回	前期期末試験	前期期末試験実施				
12回	Excel基礎	Excel2019について、画面構成、文字・数値の入力と編集、テンキーレッスン 四則演算式と関数				
13回	Excel基礎	表作成 関数(SUM・AVERAGE・COUNT・MAX・MINなど)				
14回	Excel基礎	表作成 相対参照と絶対参照、比率・割合を求める				
15回	Excel基礎	表作成 グラフ作成(基本的な縦棒・横棒・折れ線・円グラフ) 期末小テスト実施				

対象学年	1年	学期	通年	学科	ホテルブライダル・国際ホテルマネジメント科	
科目名	ホテル英会話				クラス	E・Tクラス
担当講師(フルネーム)	中牟田登喜枝、日高郁子、松本範子				実務経験	無
授業概要(内容)	ホテルで使う英語の表現を学ぶ				授業形態	講義
到達目標	状況に応じて英語で接客が出来るようになる					
使用テキスト	Hotel & Hospitality English					
成績評価方法	・期末試験50% 会話テスト30% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		授業の進め方について 英語で自己紹介			
2回	1. Welcoming guests		Checking in guest Finding out what guests needs			
3回	2. Welcoming a guest with no reservation		Checking in guest with no reservation			
4回	3. 'Difficult' guests		Finding solution to problems Making suggestions			
5回	4. Looking after guests (1)		Offer to help Giving simple directions			
6回	5. Looking after guests (2)		Giving information to guests			
7回	6. Reservation inquiries		Taking reservations			
8回	7. Reservation changes		Changing/Cancelling/Confirming reservations			
9回	8. Phone calls to Reception		Transferring calls within the hotel			
10回	9. Communication problems		Dealing with bad phone line Confirming details			
11回	10. Guest problems		Handling guest complaints			
12回	11. At breakfast		Offering food and drink Taking breakfast orders			
13回	12. At the bar		Taking orders at the bar Taking payment			
14回	会話テスト		Speaking test			
15回	会話テスト・期末対策		Speaking test 期末対策			

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	国際ホテルマネジメント科
科目名	ビジネスマナー				クラス	E・T
担当講師(フルネーム)	徳永美千留				実務経験	無
授業概要(内容)	社会人としてのビジネスマナーを習得する。また企業の一員としてのあり方やコミュニケーションについて学ぶ。				授業形態	講義&演習
到達目標	『知っている・わかっている』だけではなく、いつも『できる・している』を目指す。					
使用テキスト	プリント・資料					
成績評価方法	・期末試験60% 中間試験20% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	ビジネスマナーの重要性	『マナー』と『ビジネスマナー』の違い 『心』と『形』 第一印象の魔力				
2回	5つの基本マナー①	互いの距離を近づけるあいさつ 立ち姿とお辞儀 表情				
3回	5つの基本マナー②	仕事に対する姿勢を表す身だしなみ スーツスタイル・制服の着こなし				
4回	5つの基本マナー③	ビジネス会話の基本 正しい敬語の使い方				
5回	5つの基本マナー④	社会人としてマスターしたい語句 感じのよい話し方				
6回	5つの基本マナー⑤	話し方・きき方 コミュニケーション実習				
7回	応対・訪問のマナー①	心のこもった来客応対(お客様のお迎えからお見送りまで) ＊受付・ご案内・席次・飲み物の出し方・ものの授受・ものの指し示し・お見送り				
8回	応対・訪問のマナー②	カが試される他社訪問(アポイントから事後処理まで) ＊アポイント・受付依頼・紹介・名刺交換・面談・面談後のフォロー				
9回	応対・訪問のマナー③	来客応対・他社訪問まとめ ロールプレイング				
10回	電話のマナー①	声だけが頼りの電話応対 基本的なかけ方・受け方				
11回	電話のマナー②	電話応対ケーススタディ 伝言の受け方・伝え方				
12回	ビジネス文書のマナー	ビジネス文書の基本 電子メールの基本				
13回	日常のマナー	知っておきたい日常のマナー ＊慶弔・贈答・会食				
14回	社内のルール・マナー	企業の一員としてのあり方 報告・連絡・相談				
15回	総括	まとめ・補足説明 質疑応答				

対象学年	1年	学期	通年	学科	エアライン・鉄道・夜間総合観光科	
科目名	ビジネスマナー				クラス	QNY
担当講師(フルネーム)	榎本美和子 田中友加利				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	・社会人になるための心構え、また専門学校での過ごし方を学ぶ				授業形態	講義
到達目標	・社会の仕組みの理解と社会人としてのビジネスマナーを習得させる。					
使用テキスト	ビジネス能力検定 3級テキスト 2021年度版					
成績評価方法	・期末試験60%平常点40% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		授業内容、成績評価方法			
2回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本		第1章 キャリアと仕事へのアプローチ			
3回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本		第2章 仕事の基本となる8つの意識			
4回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本		第3章 コミュニケーションとビジネスマナーの基本 ・身だしなみ、あいさつ、おじぎ、仕事時のマナー			
5回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本		第4章 指示の受け方と報告・連絡・相談			
6回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本		第4章 指示の受け方と報告・連絡・相談			
7回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本		第5章 話し方と聞き方のポイント ・敬語の種類と必要性			
8回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本		第6章 来客対応と訪問の基本マナー			
9回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本		第7章 会社関係での付き合い			
10回	第2編 仕事の実践と ビジネスツール		第1章 仕事への取り組み方 第2章 ビジネス文書の基本			
11回	第2編 仕事の実践と ビジネスツール		第1章 仕事への取り組み方 第2章 ビジネス文書の基本			
12回	第2編 仕事の実践と ビジネスツール		第3章 電話対応			
13回	第2編 仕事の実践と ビジネスツール		第4章 統計・データの読み方・まとめ方			
14回	第2編 仕事の実践と ビジネスツール		第5章 情報収集とメディアの活用			
15回	期末試験対策		期末試験前対策 前期授業のまとめ			

対象学年	1年	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科2年・観光ビジネス科1年	
科目名	ペン字				クラス	S I
担当講師(フルネーム)	青木初恵				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	文字(平仮名・片仮名・数字・漢字)の形とバランスの習得				授業形態	講義
到達目標	この授業で習ったことを他の教科で活かして読みやすい文字を書く					
使用テキスト	オリジナルテキスト・下敷き・ペン2本					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	文字の基本を学ぶ①		文字を書くための基本 姿勢、ペンの持ち方・筆記用具の種類など 片仮名の特徴と書き取り練習(名前)			
2回	文字の基本を学ぶ②		片仮名 片仮名の特徴と書き取り練習(名前)			
3回	文字の基本を学ぶ③		平仮名 平仮名の特徴と書き取り練習(名前)			
4回	文字の基本を学ぶ④		平仮名 平仮名の特徴と書き取り練習(名前)			
5回	文字の基本を学ぶ⑤		平仮名・片仮名まとめ～言葉の書き取り 平仮名・片仮名の名前のまとめ			
6回	文字の基本を学ぶ⑥		読みやすい文字を書くための基本 1字1字の形の取り方とバランス(漢字)①			
7回	文字の基本を学ぶ⑦		読みやすい文字を書くための基本 1字1字の形の取り方とバランス(漢字)②			
8回	文字の基本を学ぶ⑧		読みやすい文字を書くための基本 漢字・平仮名・片仮名交じりの文章の練習～マス目 縦書きの書式を学ぶ			
9回	文字の基本を学ぶ⑨		読みやすい文字を書くための基本 漢字・平仮名・片仮名交じりの文章の練習～マス目と行			
10回	文字の基本を学ぶ⑩		読みやすい文字を書くための基本 漢字・平仮名・片仮名交じりの文章の練習～行(3行・6行)			
11回	文字の基本を学ぶ⑪		読みやすい文字を書くための基本 漢字・平仮名・片仮名交じりの文章の練習～3行 横書きの書式を学ぶ			
12回	文字の基本を学ぶ⑫		読みやすい文字を書くための基本 漢字・平仮名・片仮名・数字交じりの文章の練習			
13回	文字の基本を学ぶ⑬		読みやすい文字を書くための基本～縦書き まとめ			
14回	暑中見舞いの書き方①		はがきの書き方 はがきの表書きの練習～書式とバランスを学ぶ 「暑中見舞い」の書き方			
15回	暑中見舞いの書き方②		はがきの書き方 1枚のはがきに暑中見舞いを書く まとめ			

対象学年	1・2年共通	学期	前期のみ	学科	科	
科目名	韓国語				クラス	共通(EY除く)
担当講師(フルネーム)	権京愛				実務経験	無
授業概要(内容)	教科書主体に文法を確実に身に付けさせ、毎回の授業には必ず演習を取り入れ、「読む、聞く、話す、書く」の4技能をまんべんなく学ばせる。				授業形態	講義
到達目標	将来仕事で活用できるように会話練習を通してコミュニケーション能力を身につけさせることを目標とする。					
使用テキスト	韓国語の世界へ「入門編」朝日出版					
成績評価方法	・期末試験50% 平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	文字と発音Ⅰ	ハングル誕生の背景や韓国語の特徴を知ろう！ 単母音を覚える。 発音と読み書き練習をする。				
2回	文字と発音Ⅱ	半母音を覚える。 発音と読み書き練習をする。 簡単な挨拶表現を覚え、授業中に使えるように練習する				
3回	文字と発音Ⅲ	初声(平音)と発音の規則(有声音化)を覚え、正しく発音できるようにする。 発音と読み書き練習をする。 関連単語の読み書きの練習をし、単語の意味を覚える。				
4回	文字と発音Ⅳ	二重母音と発音の規則(連音化)を覚え、正しく発音できるようにする。 発音と読み書き練習をする。 関連単語の読み書きの練習をしながら単語の意味を覚える。				
5回	文字と発音Ⅴ	初声(激音・濃音)を覚え、正しく発音できるようにする。 発音と読み書き練習をする。 関連単語の読み書きの練習をしながら単語の意味を覚える。				
6回	終声(パッチムⅠ)	パッチムの仕組みを理解し、覚える。 発音と読み書き練習をする。 関連単語の読み書きの練習をしながら単語の意味を覚える。				
7回	終声(パッチムⅡ)	二重パッチムの発音の仕方を覚える。 発音と読み書き練習をする。 関連単語の読み書きの練習をしながら単語の意味を覚える。				
8回	ハングル表記と教室用語	ハングルで自分の名前を書く練習をする。 授業中、毎回使う用語とフレーズを覚える。 発音と読み書き練習をする。				
9回	体言Ⅰ	初対面の挨拶表現を練習し、覚える。 発音の規則(鼻音化)を覚え、正しく発音できるようにする。 「～です、～ですか」と短文を作って会話練習をする。				
10回	自己紹介	韓国語で簡単な自己紹介のフレーズを覚え、となりの人と韓国語で自己紹介をする。 クラスメートと会話練習をする。				
11回	体言Ⅱ	発音の規則(激音化)を覚え、正しく発音できるようにする。 短文を作って練習をする。 クラスメートと会話練習をする。				
12回	体言の否定文	「～ではありません」の表現を覚える。 否定文を作って練習をする。 日本語と異なる助詞を使う表現を覚える。				
13回	漢数字	値段を尋ねる表現「いくらですか」と漢数字を学んで買い物ができるようにする。 助数詞を覚える。 韓国の数字の歌を習って楽しく数字を覚える。				
14回	韓国文化に触れる	韓国映画を観て韓国文化に触れ、より楽しく韓国語が続けられるようにする。 映画のセリフを聞いて聞き取れた単語をハングルでメモしてみよう！ 日本と韓国の文化の違いについて発表する。				
15回	まとめ	期末テストに備え、総まとめをする。				

対象学年	1・3年	学期	前期のみ	学科	鉄道科 エアライン科	
科目名	中国語				クラス	AN QWU
担当講師(フルネーム)	青山祐子				実務経験	無
授業概要(内容)	中国語の基礎的な発音・文法・単語を習得し、簡単な会話文について				授業形態	講義
到達目標	中国語の音読、語彙の使い方、文の表現しながら、業務上で使うリスニング能力と会話能力を高めることが目標です。					
使用テキスト	はじめまして！中国語(白水社)					
成績評価方法	・期末試験50% 平常点50%(発表+授業態度+欠席回数等) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	中国のについての理解		DVDを鑑賞し、中国への理解に関する感想文を書く			
2回	中国一般事情		中国および中国語についての理解 教室の指示言葉 知って便利な呼称 ・ 知って便利な挨拶			
3回	中国語の発音		発音の練習(四声) 発音の練習(単母音) 発音の練習(唇音、舌尖音、舌根音、舌面音、そり舌音、舌歯音)			
4回	中国語の発音”母音” 声調の変化		発音の練習(重母音、鼻母音) 第3声+第3声→第2声+第3声などの練習			
5回	第1課校門で		1. 人称代名詞 2. 動詞”是”を使った文 3. ”吗”を使った疑問文			
6回	トレーニング1 第2課廊下で		4. 動詞述語文 5. 疑問詞疑問文(”什么”・”谁”)			
7回	トレーニング2 第3課キャンパスで		6. 省略疑問文 ◇人の呼び方 7. 指示代名詞			
8回	トレーニング3 第4課携帯を見ながら		8. 形容詞述語文 9. ”～的”			
9回	トレーニング4		10. 語気助詞”吧” 11. 所有を表わす”有”			
10回	復習1 自己紹介		12. 反復疑問文 13. 数 詞			
11回	第5課学生食堂で		14. 場所を表わす代名詞 15. 存在を表わす”有”			
12回	トレーニング5		16. 副詞”也”と”都” 17. 二重目的語文 ◇方位詞			
13回	第6課王先生の研究室		18. 動詞”在” 19. 動詞の重ね型 20. 時を表わす語の位置 ◇時を表わす語(1)			
14回	トレーニング6 第7課コンビニで		21. 量 詞 22. 実現・完了を表わす”了” 23. 助動詞”想” ◇”几”と”多少”			
15回	期末テストの対策		今まで勉強した内容についてのおさらい			

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	鉄道科・エアライン科	
科目名	手話(接客手話)				クラス	N・W
担当講師(フルネーム)	鶴田由香				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	聴覚障害についての理解を深め、聴覚障がい者のお客様とのコミュニケーションの在り方を学ぶ				授業形態	講義
到達目標	手話での日常会話と指文字の習得					
使用テキスト	手話を学ぼう 手話で話そう					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	聴覚障害と手話	聴こえないとはどのようなことか 聴覚障害をとりまく状況環境 手話ってなに				
2回	伝え合ってみましょう	伝え合うとは 物の形や身振り表情でコミュニケーションをはかる 手話の基本				
3回	自己紹介をしましょう	名前の表し方 手話であいさつしてみよう				
4回	家族の紹介をしましょう	人物の表し方 疑問詞 誰				
5回	数の表し方	手話で数を表す 数字を使った接客手話				
6回	地名の手話	地名の手話を学び住所を紹介する 交通の方法を学ぶ				
7回	自己紹介まとめ	これからの学習の復習と自分のことを手話で伝えてみましょう				
8回	時の表し方1	一日のことを話しましょう 時間の表し方				
9回	時の表し方2	一か月のことを話しましょう 時の経過				
10回	時の表し方3	一年のことを話しましょう 季節・月・年に関する手話				
11回	会話学習	疑問詞をつかって会話を広げよう				
12回	旅行のことを話しましょう	旅行をテーマに疑問詞を使って会話を広げよう				
13回	体に関する手話表現	病気に関する手話 聴覚障害者の緊急時の対応				
14回	前期のまとめ	前期の復習 前期テスト				
15回	手話の世界	総復習				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	エアライン(CA)、エアライン	
科目名	英検対策 I				クラス	OPV
担当講師(フルネーム)	平島千華、日高郁子、加藤亜希、八頭司麻都佳				実務経験	有
授業概要(内容)	英検各級の語彙、文法についての解説等 注:各クラスで取得目標級が異なる為、授業内容や進度はそれぞれ異なる。				授業形態	講義
到達目標	英検2021年度第1回に合格できる力をつける。					
使用テキスト	2021年度版 英検過去6回全問題集(旺文社)					
成績評価方法	・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	期末試験期間に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	2020年度第2回検定問題	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
2回	2020年度第2回検定問題	長文問題、語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 作文指導(取得目標級により異なる) 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。				
3回	2020年度第2回検定問題	リスニング問題 英作文指導 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
4回	2020年度第2回検定問題	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
5回	英作文指導 リスニング	作文指導(取得目標級により異なる) 2020年度第2回検定問題での未修得箇所の再学習。 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
6回	2020年度第1回検定問題	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
7回	2020年度第1回検定問題	長文問題 語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。				
8回	2021年度第1回検定 解答解説	2021年度第1回検定解答、解説 自身の弱点研究 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
9回	2020年度第1回検定問題	長文問題 語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。				
10回	2020年度第1回検定問題 二次試験対策	リスニング問題 英作文問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
11回	2019年度第3回検定問題 二次試験対策	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
12回	2019年度第3回検定問題 二次試験対策	長文問題 語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。				
13回	2019年度第3回検定問題	リスニング問題 英作文問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
14回	2019年度第3回検定問題	長文読解 英作文問題 リスニング問題				
15回	期末試験直前対策	後期授業総括 期末試験対策 後期総復習				

対象学年	2年	学期	通年	学科	エアライン 観光 科	
科目名	コンピュータ				クラス	OPK①・②
担当講師(フルネーム)	乙咩清美				実務経験	無
授業概要(内容)	タイピング、ビジネスレター(文書、メール等)を繰り返し練習する。 Excelを使って、データの集計や報告書などの練習をする。				授業形態	講義 & 演習
到達目標	1年で学習したExcel基礎内容を再確認しながら、自分のスキルとして定着させる。					
使用テキスト	実教出版 30時間でマスターOffice2019					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	Word基礎・応用	タイピング練習 ビジネス文書の復習 ※送付状・お礼状の作成				
2回	Word基礎・応用	タイピング練習 ビジネス文書作成(ビジネスレター、ビジネスメール) ※ビジネスメールの基本、書き方				
3回	Word基礎・応用	タイピング練習 文書作成(チラシ・ポスター作成) ※画像の挿入、図形描画・ワードアートなど				
4回	Word基礎・応用	タイピング練習 文書作成(チラシ・ポスター作成) ※画像の挿入、図形描画・ワードアートなど				
5回	Excel基礎	Excel基礎の復習① 表作成、計算式、関数の挿入 グラフ作成、オートフィル活用				
6回	Excel基礎	Excel基礎の復習② 表作成、計算式、関数の挿入 グラフ作成				
7回	Excel基礎	Excel基礎の復習③ 表作成、計算式、関数の挿入 グラフ作成				
8回	Excel応用	関数の練習 IF関数・RANK関数				
9回	Excel応用	関数の練習 IF関数・RANK関数				
10回	Excel応用	関数の練習 VLOOKUP関数・COUNTIF・SUM関数				
11回	Excel応用	関数の練習 VLOOKUP関数・COUNTIF・SUM関数				
12回	Excel応用	Excelのデータベース機能 並べ替え・抽出・集計機能を学び、データベースを処理する				
13回	Excel応用	Excelのデータベース機能 並べ替え・抽出・集計機能を学び、データベースを処理する				
14回	Excel活用	WordとExcelを組み合わせ、報告書作成				
15回	期末試験	前期期末試験実施				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	エアライン科	
科目名	韓国語				クラス	OPV
担当講師(フルネーム)	権京愛				実務経験	無
授業概要(内容)	教科書主体に文法を確実に身に付けさせ、毎回の授業には必ず演習を取り入れ、「読む、聞く、話す、書く」の4技能をまんべんなく学ばせる。				授業形態	講義
到達目標	将来仕事で活用できるように会話練習を通してコミュニケーション能力を身につけさせることを目標とする。					
使用テキスト	韓国語の世界へ「入門編」朝日出版					
成績評価方法	・期末試験50% 平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	自己紹介	韓国語で自己紹介をする。 既習の学習内容についてしっかり復習し、理解できるようにする。 特にハングル文字をおぼえ、正しい発音ができるようにする。				
2回	「해요体」の作り方4.	「하다」で終わる用言の活用について学ぶ。 練習問題を解いたり自分で例を挙げたりしながら覚えるようにする。 韓国の歌の歌詞を覚え、単語を増やしてみよう！				
3回	移動の目的を表す「～しに」	用言の語幹について「～しに」など移動の目的を表す表現を学ぶ。 練習問題を解いたり自分で例を挙げたりしながら覚えるようにする。 クラスメートと互いに学んだ表現を使い、質問したり答えたりして会話練習をする。				
4回	助詞「～から～まで」	日本語の「～から」、「～まで」に当たる韓国語の助詞を覚える。 練習問題を解いたり自分で例を挙げたりしながら覚えるようにする。 クラスメートと互いに学んだ表現を使い、質問したり答えたりして会話練習をする。				
5回	復習問題	既習の学習内容について練習問題を通してきちんと理解しているかを確認をする。 クラスメートと会話練習をする。 得意な料理レシピを韓国語で書いてみよう！				
6回	聞き取り練習	CDを聞き、聞き取りの練習をする。 聞き取れた内容をハングルで書く練習をする。 聞き取れなかった単語の発音を繰り返し聞いて正しい発音ができるように練習する。				
7回	過去形の作り方	これまで学んできた「해요体」の過去形の作り方を学ぶ。 練習問題を解いたり自分で例を挙げたりしながら覚えるようにする。 クラスメートと互いに学んだ表現を使い、質問したり答えたりして会話練習をする。				
8回	「으語幹用言」の活用	語幹が母音「으」で終わる用言の活用について学ぶ。 練習問題を解いたり自分で例を挙げたりしながら覚えるようにする。 クラスメートと互いに学んだ表現を使い、質問したり答えたりして会話練習をする。				
9回	「안用言」の活用	韓国語の否定表現の一つである「안用言」について学ぶ。 練習問題を解いたり自分で例を挙げたりしながら覚えるようにする。 クラスメートと互いに学んだ表現を使い、質問したり答えたりして会話練習をする。				
10回	復習問題	既習の学習内容について練習問題を通してきちんと理解しているかを確認をする。 クラスメートと会話練習をする。 面接を想定し、韓国語で練習をする。				
11回	尊敬形の作り方	「해요体」の尊敬形の作り方を学ぶ。 練習問題を解いたり自分で例を挙げたりしながら覚えるようにする。 クラスメートと互いに学んだ表現を使い、質問したり答えたりして会話練習をする。				
12回	意志や推量を表す表現	「～するつもりです」といった話し相手の意志や、「～するでしょう」といった推量を表す表現を学ぶ。 練習問題を解いたり自分で例を挙げたりしながら覚えるようにする。 クラスメートと互いに学んだ表現を使い、質問したり答えたりして会話練習をする。				
13回	希望や願望を表す表現	動詞の語幹について、希望や願望を表す表現を学ぶ。 練習問題を解いたり自分で例を挙げたりしながら覚えるようにする。 クラスメートと互いに学んだ表現を使い、質問したり答えたりして会話練習をする。				
14回	復習問題	既習の学習内容について練習問題を通してきちんと理解しているかを確認をする。 期末テストに備え、総まとめをする。				
15回	まとめ	韓国映画を観て韓国の文化に触れ、より楽しく韓国語が続けられるようにする。 映画のセリフを聞いて聞き取れた単語をハングルで書いてみよう！ 日本と韓国の文化の違いについて発表する。				

対象学年	2年	学期	通年	学科	観光・エアライン科	
科目名	観光英語				クラス	KOPV
担当講師(フルネーム)	秋満陽子・挽田雅子・平島千華				実務経験	無
授業概要(内容)	観光業界での接客業務経験教員。観光・エアラインビジネスに必要な英語の語彙と表現を学ぶ。				授業形態	講義
到達目標	航空・観光系の英語を身につける。接客に必要な英語表現を学び、実際に会話ができるようになる。					
使用テキスト	English for Tourism Professionals					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	Unit1(1)		イントロダクション(授業内容、評価方法について) 旅行の情報を英語で伝える ツアーの案内			
2回	Unit1(2)		Travel AgencyでのDialogue Pair Speaking Practice Role Play			
3回	Unit1(3)		ツアーのパンフレットを読む 質問に答える Vocabulary and Useful Expressions			
4回	Unit2(1)		ツアーの予約を受ける お客様の情報を入手する 支払いの手続きをする			
5回	Unit2(2)		Travel AgencyでのDialogue Pair Speaking Practice Role Play			
6回	Unit2(3)		ツアーの日程表を読む キャンセル規約を読む Vocabulary and Useful Expressions			
7回	Unit5(1)		時刻、日付、便名、電話番号の読み方 予約や問い合わせの電話に対応する Vocabulary and Useful Expressions			
8回	Unit5(2)		Airline OfficeでのDialogue Pair Speaking Practice Role Play			
9回	Unit5(3)		予約と支払いに関する情報を読む フライトアテンダントの募集要項を読む 質問に答える			
10回	Unit6(1)		時差の知識 予約の確認、変更、要望の電話に対応する Vocabulary and Useful Expressions			
11回	Unit6(2)		Airline OfficeでのDialogue Pair Speaking Practice Role Play			
12回	Unit6(3)		E-ticketの内容を読み取る お客様宛の手紙を読む 質問に答える			
13回	Unit7(1)		空港のチェックインカウンターでの対応について学ぶ チェックインから搭乗までの流れを確認する Vocabulary and Useful Expressions			
14回	Unit7(2)		チェックインカウンターでのDialogue Pair Speaking Practice Role Play			
15回	Unit7(3)		荷物の許容範囲に関する説明書を読む 前期の復習 Vocabulary・Useful expressions のまとめ			

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	エアライン・夜間総合観光科	
科目名	SPI言語				クラス	OPVZ
担当講師(フルネーム)	前田恭子・山本真美				実務経験	無
授業概要(内容)	就職筆記試験に受かるために苦手分野を克服して得意分野を伸ばす				授業形態	講義
到達目標	WEBテスト、適性検査、時事問題にも対応できるように実力をつける					
使用テキスト	朝日キーワード就職2020最新時事問題&一般常識					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	必ず復習する		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 毎回テストを実施し解答と解説をします。間違った問題はノートに書いて復習します 残りの時間は、時事問題用語解説、新聞コラムに取り組みます			
2回	漢検二級レベル		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 就職試験にかかわらず、漢字は私たちの生活に欠かせません。漢検二級レベルを目指しましょう			
3回	新聞を読む		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 試験当日は特に新聞のチェックを忘れずに 日頃から時事問題に精通するには、まず新聞を読むこと。各新聞社のサイトを活用しましょう			
4回	情報を分析する		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 先輩たちの受験報告書を活用していますか？各企業の試験問題の傾向がわかります			
5回	はじめてにあわてない		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 適性検査で見慣れない問題が出てくる場合があります。例題を参考にして冷静な判断を			
6回	中間テスト		・中間テスト(解答と解説)、時事問題用語解説			
7回	時間配分を考える		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 解答時間は足りていますか？紙の試験問題の場合、解く前に試験問題の量のチェックも忘れずに			
8回	今日から始める		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 内定はスタート！『知ること』を常に心がけましょう			
9回	みんながデキル問題		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 正答率の高い問題は受験者のほとんどができています。みんながデキル問題は間違えない			
10回	過去を振り返る		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 過去を振り返り、修正も大事			
11回	ニュースを気にする		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 業界のニュースは気にしていますか？情報集めは怠りなく			
12回	ニュースを読む		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 じっくりとニュースの「なぜ？」を考える			
13回	自分の意見を考える		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 ニュースの「なぜ？」から自分の意見を考える			
14回	目標を持つ		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 今の目標はなにですか？			
15回	ゴールはスタート		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 SPI対策はこの回で終わりです。これからも社会の動きに敏感になって時代の流れを見ていきましょう			

対象学年	2・3年共通	学期	前期のみ	学科	共通	
科目名	SPI非言語対策				クラス	OPVZU
担当講師(フルネーム)	榎木田裕夫				実務経験	無
授業概要(内容)	SPIは企業がおこなう就職試験です、授業では非言語(数学系)の得点差がつきやすい計算問題や様々な論理問題を解きます。				授業形態	講義
到達目標	SPI、玉手箱、SCOAなどの採用試験が解ける計算力や論理的思考能力を身につける。					
使用テキスト	SPI基本問題集(大和書房)					
成績評価方法	・期末試験80% 平常20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	Webtテスト対策1	WEBテスト(玉手箱) 計算問題中心の四則逆算、図表の読み取り問題を解く				
2回	Webテスト対策2	WEBテスト(玉手箱) 四則逆算の応用問題、表の空欄の読み取り問題を解く				
3回	Webテスト対策3	SCOA、テストセンター対策 論理の問題などを解く				
4回	損益算	損益算の基本から応用問題を解く				
5回	金銭に関する問題	清算を求める問題、分割を求める問題を解く				
6回	割合と比	割合や比を使って問題を解く				
7回	推論1	推論(正誤)(位置)の問題を解く				
8回	推論2 テスト	推論(順序)(平均)の問題を解く テスト				
9回	資料の読み取り問題1	表やグラフの資料全体の傾向を捉え、素早く計算する力をつける				
10回	資料の読み取り問題2	グラフから変化の傾向をつかみ項目ごとに丁寧に計算する				
11回	図形	面積や体積の基礎から応用問題を解く				
12回	物の流れと比率	表を読み取り問題を解く				
13回	命題	対偶や三段論法を理解し問題を解く				
14回	装置と回路	関係性や法則を正しくとらえ問題を解く				
15回	後期のまとめ	後期授業のまとめの演習問題を解き、復習、知識の定着を目指す				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	ホテル・ブライダル科/観光科	
科目名	就職筆記対策				クラス	AK
担当講師(フルネーム)	榎木田裕夫 ・ 山本真美				実務経験	無
授業概要(内容)	就職試験対策 授業は言語、非言語を隔週で行う。分割クラスによって授業内容の順序が入れ替わります。				授業形態	講義
到達目標	SPI、玉手箱、SCOAなどの採用試験が解ける学力の向上を目指す					
使用テキスト	・SPI基本問題集(大和書房) 一般常識&SPI(1年次購入のもの) ・朝日キーワード就職2021					
成績評価方法	・期末試験90% 平常10% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション、テスト		授業の進め方、成績評価の方法の説明 ・言語 非言語のテスト(各30分) 採点と解き直し			
2回	言語①		・テスト(解答と解説)、時事問題解説 就職試験にかかわらず、漢字は私たちの生活に欠かせません。漢検二級レベルを目指しましょう			
3回	非言語①		WEBテスト(玉手箱)の四則逆算、図表の読み取り問題などを解く			
4回	言語②		・テスト(解答と解説)、時事問題解説 試験当日は最新のニュースチェックを忘れずに 日頃から時事問題に精通するには、まず新聞を読むこと。各新聞社のサイトを活用しましょう			
5回	非言語②		推論1 筋道を立て関係をまとめ論理的に考える練習をする			
6回	言語③		・テスト(解答と解説)、時事問題解説 先輩たちの受験報告書を活用していますか？各企業の試験問題の傾向がわかります			
7回	非言語③		推論2 推論の応用問題 条件を読み取り文章を図式化する練習をする			
8回	言語④		・テスト(解答と解説)、時事問題解説 適性検査で見慣れない問題が出る場合があります。例題を参考にして冷静な判断を			
9回	非言語④		金銭の問題(清算を求める) 文章を図でとらえ問題を解く			
10回	言語⑤		・テスト(解答と解説)、時事問題解説 解答時間は足りていますか？紙の試験問題の場合、解く前に試験問題の量のチェックも忘れずに			
11回	非言語⑤		集合の問題(2つの場合) ベン図、カルノー表の使い方を理解し覚える			
12回	言語⑥		・テスト(解答と解説)、時事問題解説 ニュースの「なぜ？」から自分の意見を考える			
13回	非言語⑥		資料の読み取り問題1 グラフや表を読む力をつける			
14回	言語⑦		・テスト(解答と解説)、時事問題解説 言語対策はこの回で終わりです。これからも社会の動きに敏感になって時代の流れを見ていきましょう			
15回	非言語⑦		まとめ 前期授業で学んだ事を復習する			

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	エアライン・観光科	
科目名	コミュニケーション学				クラス	OPK
担当講師(フルネーム)	吉良 牧子				実務経験	有(ブライダル業界勤務歴)
授業概要(内容)	日頃のコミュニケーションを見直し社会人として必要なビジネスコミュニケーション能力を高める。				授業形態	講義
到達目標	授業への積極的参加と主体的に行動し、意見できる学生を育てる。					
使用テキスト	プリント					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	自己紹介のやり方	自己紹介の必要性 効果的な自己紹介とは 発表				
2回	コミュニケーションとは	コミュニケーションの必要性 コミュニケーションゲームで日頃のスキルチェック				
3回	挨拶	挨拶本来の意味と効果的挨拶 発声練習、早口言葉のトレーニングで滑舌良く印象を変える				
4回	話し方と聞き方	話す基本と聞く基本 それぞれのエラーについて考える 正しく伝え正しく聞く				
5回	ライターコミュニケーション	取材しまとめ、文章で引き付けるコミュニケーション				
6回	SNSコミュニケーション	マーケティングを意識した生活を送る SNSのメリット・デメリット 興味をひきつける工夫				
7回	インプットとアウトプット①	座学で学び、言葉で相手に伝える				
8回	インプットとアウトプット②	//				
9回	プレゼンテーション	就職問題を使い発表				
10回	おもてなし	美文字レッスン、お礼状、DM、年賀状の書き方 歴史から、日本のおもてなしの心を学ぶ				
11回	対面コミュニケーション	名刺マーケティングを学ぶ⇒名刺を作成 お辞儀、所作の練習 名刺交換を実際にしながら身に付ける				
12回	電話コミュニケーション①	印象の良い対応の練習 敬語をマスターする				
13回	電話コミュニケーション②	//				
14回	マインドマップ	マインドマップとは 書き方とルールについて 今後の目標と課題への向き合い方				
15回	まとめ					

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	鉄道・夜間総合観光科	
科目名	サービス接客検定				クラス	MZ
担当講師(フルネーム)	榎本美和子				実務経験	有
授業概要(内容)	サービス検定を学び、社会人になるための準備をする				授業形態	講義
到達目標	サービス検定2級合格					
使用テキスト	サービス検定1ー2級実問題集					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	サービス接客検定とは		・サービス接客検定について(必要性、検定取得のメリット) ・顧客心理、応対の仕方、言葉遣い、立ち居振る舞いを学ぶ ・評価方法、授業の進め方について			
2回	過去問題解答		過去問題を解いて問題になれる(ケース問題)			
3回	過去問題解答		過去問題を解いて問題になれる(ケース問題) (敬語豆テスト)			
4回	過去問題解答		過去問題を解いて問題になれる(掲示問題) (敬語豆テスト)			
5回	過去問題解答		過去問題を解いて問題になれる(掲示問題) (敬語豆テスト)			
6回	過去問題解答		過去問題を解いて問題になれる(選択肢問題) (敬語豆テスト)			
7回	過去問題解答		模擬試験			
8回	過去問題解答		前回の模擬試験の結果により、苦手問題を演習			
9回	検定の答え合わせ		解答速報で自己採点をする			
10回	社会人としての心構え		ケース問題を使って学ぶ ★ディズニーランドの感動のおもてなしとは			
11回	社会人としての心構え		ケース問題を使って学ぶ ★鉄道・旅行会社・ホテルの感動のおもてなしとは			
12回	社会人としての心構え		敬語問題を使って学ぶ ・お客様、上司に対する敬語、ロープレ ・電話応対、ロープレ			
13回	社会人としての心構え		社会人のマナー講座 ・指示の受け方、報告の仕方、ロープレ ・有給休暇取得時のマナー			
14回	社会人としての心構え		好感のもたれる新入社員の自己紹介、座学→ロープレ			
15回	期末試験対策		期末試験に向けて復習			

ホテル・ブライダル

対象学年	1年	学期	通年	学科	ホテル・ブライダル 科	
科目名	レストラン＆パンケットサービス				クラス	E
担当講師(フルネーム)	長野美穂				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	料飲サービスにおける基本動作、知識を学ぶ HRS試験を意識した講義と実践を行う				授業形態	講義&演習
到達目標	企業実習にむけて料飲サービスの基礎を身に付ける					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		授業の目的と進め方、評価方法について説明する 身だしなみと歩き方のチェック 姿勢改善トレーニング			
2回	料飲部門の概要		レストランの種類について学ぶ FB部門の特徴を知る テーブルクロスの取り扱い方を実践、チェアサービス			
3回	フランス料理①		シルバーウェアの基礎知識と取り扱い方を学ぶ テーブルクロスの取り扱い方の復習と実践			
4回	フランス料理②		シルバーウェアの基礎知識と取り扱い方を学ぶ フルコースの流れを学ぶ テーブルセッティングを行う			
5回	フランス料理③		グラスウェアの基礎知識と取り扱い方を学ぶ ウォーターピッチャーのサービス			
6回	フランス料理④		レストラン用語を学ぶ トーションの扱い方を学ぶ トレーサービス実践			
7回	その他の西洋料理		イタリア料理を知る トレーサービス復習			
8回	ドリンク①		コーヒーについて学ぶ ナプキンの折り方実践			
9回	ドリンク②		ティーについて学ぶ ナプキンの折り方実践			
10回	ドリンク③		アンフュージョンについて学ぶ 皿サービス実践			
11回	日本料理①		会席料理について学ぶ 和室での立居振舞い実践			
12回	日本料理②		箸について手の知識を学ぶ 箸の持ち方実践 お鮎子の扱い方			
13回	期末試験課題発表		期末試験の課題を発表 練習			
14回	期末試験		実技試験(スーツ着用) 制限時間内に課題ロールプレイングを行う			
15回	期末試験		実技試験(スーツ着用) 制限時間内に課題ロールプレイングを行う			

対象学年	1年	学期	通年	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	ソムリエ&バーテンダー				クラス	E
担当講師(フルネーム)	藤井智之				実務経験	有(ブライダル業界勤務歴)
授業概要(内容)	酒類に興味を持ってもらい、レストラン・バー業務に活かすこと。 現場での業務が円滑に行える、お客様との会話のツールにする。				授業形態	講義&演習
到達目標	バー・ラウンジにおける接客、お酒の基礎知識また、基本習得					
使用テキスト	ホテルテキスト料飲Ⅱ バー・ラウンジ編					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	シラバス説明		前期講義概要、バー・ラウンジについて、ホスピタリティとは			
2回	酒類の定義と分類		酒類の詳細			
3回	ワインの基礎知識		ワインの歴史、酒類			
4回	ワイン用ブドウについて		ワイン用ブドウ栽培、栽培地域、土壌について			
5回	スティルワインについて		スティルワインとは？ 醸造について			
6回	ワイン用ブドウ品種		ワイン用ブドウの種類と特徴。 ヴィンテージチャートの見方。			
7回	フランスワインについて		フランスワイン概要、主要産地の特徴			
8回	フランスワインについて		フランスワイン概要、主要産地の特徴			
9回	イタリア、ドイツワイン		イタリア、ドイツワインの特徴			
10回	その他ワイン産地		アメリカ、ニュージーランドなどのワインの特徴			
11回	ワインと料理の相性		ソムリエの役割、マリアージュ、ペアリングについて			
12回	ワインサービス実技		プレゼン、抜栓の練習			
13回	ワインサービス実技		スパークリング、白、赤ワインのサーブ。 ソー、パニエ、デカンタージュ、エアレーションについて 期末試験について			
14回	ワインサービス実技		ワインの表現、売上を上げるソムリエについて。 期末試験			
15回	前期まとめ		解答、復習			

対象学年	1年	学期	通年	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	フロント・サービス				クラス	E
担当講師(フルネーム)	中牟田登喜枝				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	ホテル業界での勤務経験のある教員がホテルでの基本的な知識を指導				授業形態	講義
到達目標	フロント・サービスとしての基本的な知識と技術を習得する					
使用テキスト	宿泊Ⅱ フロント・サービス編 ウイネット					
成績評価方法	・期末試験50%平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○期末試験期間中に実施					

	テーマ	授業内容
1回	オリエンテーション	授業スケジュール説明 成績評価説明 世界のホテル
2回	第1章 宿泊部門の業務	組織と業務 フロント・サービスとは
3回	第1章 宿泊部門の業務	フロント・サービスとはスタッフの基本 各種施設
4回	第2章ドアマン	ドアマン業務の概要 お客さまの送迎
5回	第2章ドアマン	玄関周辺での業務
6回	第2章ドアマン	バレーサービス ドアマンの案内業務
7回	第3章ベルマン	ベルマンとは
8回	第3章ベルマン	接客サービスの種類
9回	第3章ベルマン	ロビー管理
10回	第3章ベルマン	その他の業務
11回	第3章ベルマン	演習～挨拶から客室までの案内
12回	第4章ベルマン	演習～バケツダウンとお見送り
13回	第5章クローク	クローク業務とは 作業手順
14回	客室についての基礎知識	客室タイプと特徴 客室の設備、備品 ルームキーの種類と管理
15回	前期まとめ	関連用語の確認 期末試験対策

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	ホテル総論				クラス	E
担当講師(フルネーム)	小西翼				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	ホテルの歴史や基礎知識を学ぶ。 世界中に存在するホテルについて学ぶ。				授業形態	講義
到達目標	様々なホテルを知ること、企業実習や就職活動の際の企業選択に役立てる。					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		自己紹介 前期の学習内容について説明 評価方法について説明			
2回	様々なホテルの分類		様々な「〇〇ホテル」			
3回	ホテルの歴史・偉人 旅館業法とは		昨今のホテルの基礎を築き上げた、伝説のホテリエたち ホテルに関わる法律を学ぶ			
4回	様々な経営・運営方法 ホテル内の職種と役割		ホテルはどのように運営されているのかを説明 ホテルの商品の特性			
5回	日本を代表する 歴史あるホテル		日本が誇る『ホテル御三家』とは…			
6回	テーマパークのホテル		ディズニー、USJ、ハウステンボスなど、テーマパーク近隣のホテルを紹介			
7回	国内のホテル		東日本のホテルを紹介			
8回	国内のホテル		西日本のホテルを紹介			
9回	国内のホテル		九州地方のホテルを紹介			
10回	外資系のホテル		ハイアット、ヒルトン、マリオットインターナショナル系列…etc			
11回	国内のリゾートホテル 国内のビジネスホテル レピュテーションマネジメント		国内のリゾートホテル、ビジネスホテル(チェーン)を紹介 国内の旅館を紹介 「レピュテーションマネジメント」とは…〇〇を管理すること！			
12回	専門用語		ホテルで働く上で知っておきたい専門用語を学ぶ			
13回	専門用語		ホテルで働く上で知っておきたい専門用語を学ぶ			
14回	前期まとめ		前期の学習内容についてのまとめ、振り返り			
15回	期末試験		前期期末試験を実施			

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	ホテル ブライダル業界研究				クラス	E
担当講師(フルネーム)	橋口 淳二				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	ホテルやホスピタリティ産業にて活躍されている方々の講話とおし 業界に対しての学びと気づき知識を増やす。毎回レポート提出にて評価。				授業形態	講義
到達目標	ホスピタリティ業界で使える知識を取得できる。					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	レポート70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		ホテル ブライダル業界の動向			
2回	この業界で働く意義		業界人講話			
3回	業界について		業界人講話			
4回	業界について		業界人講話			
5回	業界について		業界人講話			
6回	業界について		業界人講話			
7回	業界について		業界人講話			
8回	業界について		業界人講話			
9回	業界について		業界人講話			
10回	業界について		業界人講話			
11回	業界について		業界人講話			
12回	業界について		業界人講話			
13回	業界について		業界人講話			
14回	業界について		業界人講話			
15回	まとめ		夏季実習へ向けて			

対象学年	1年	学期	通年	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	就職活動講座				クラス	E
担当講師(フルネーム)	安部紀美江				実務経験	無
授業概要(内容)	・就職試験に必要な自己分析や表現力の文章化を徹底して行う。				授業形態	講義
到達目標	・学生から社会人となるためのマナーやスキルを習得させ、職業人としての意識づけを行う。					
使用テキスト	・「専門学校生のための就職内定基本テキスト」 ・就職ノート ・オリジナルレジュメ					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	・前期授業内容の説明を行う。 ・各自プロフィールを記入し個別に質問をしていく。				
2回	就職活動へのアプローチ	・就職とは何か、なぜ働くのかを理解させ、社会人となる為の準備を自覚させる。 ・キャリア形成の重要性と社会や企業について考えさせる。 ・専門学校生の強みを認識させ、どのように発揮していくのかを考えさせる。				
3回	就職活動に必要な書類の書き方	・当校における就職活動の流れを説明する。 ・就職室の活用方法を教える。 ・就職活動に必要な書類や行動を説明する。				
4回	履歴書の書き方	・履歴書の当校における書き方を説明し実際に書いてみる。				
5回	職業を知る	・ホテルで働くとはどういう仕事をするのかを説明する。 ・ホテルの種類や日本におけるホテル業界の説明をする。				
6回	自分自身を知る	・自分自身をどの程度分かっているかの洗い出しをし自己PR作成への布石とする。 ・自分のライフスタイルとは何かを再認識させる。				
7回	自分自身を知る	・将来の夢や目標の設定が就職に必要であることを理解させる。				
8回	自己分析	・自己分析の意義を認識させ表現力へと転化させる。				
9回	自己分析	・自分の能力や適性を把握させる。				
10回	自己分析	・将来の夢や目標の設定が就職に必要であることを理解させる。				
11回	自己PRの作り方	・自分史の作成を通して自己PRの作成をやすくしていく。 ・自己分析からPRできるものをピックアップし、肉付けする。 ・自分と業界の接点を認識させ、企業でどう活かせるのかを考える。				
12回	自己PRの作り方	・自己PRを書いてみよう。				
13回	志望動機の作り方	・志望動機作成に必要な文言や自己PRとの関連性について考えていく。				
14回	企業研究	・企業研究の重要性と企業研究シートの作成方法を学ぶ。 ・情報収集の必要性とその収集方法ができるようになる。 ・企業開催セミナー・説明会に参加する意味と就活への活用方法をわかるようになる。				
15回	完成品のチェック	・前期提出物のチェック				

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	ホテル・ブライダル 科	
科目名	和のサービス				クラス	E
担当講師(フルネーム)	長野美穂				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	旬の食材や季節の行事、日本料理の特徴などを詳しく学ぶ 日本を代表する旅館を知る				授業形態	講義
到達目標	料理や思想、その他様々な観点から日本文化の特徴が語れるようになる					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・期末試験100% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	ホテルと旅館		ホテルと旅館 それぞれの魅力を知る 食材には3つの顔がある			
2回	和室の立居振舞		和室のルールを知る お客様の出迎え～湯茶のサービスの重要ポイント			
3回	言葉遣い		美しい言葉遣い 知っておきたい業界用語			
4回	シーンに合わせた準備		掛け軸に隠された意味を知る 和室の整え方			
5回	日本料理		◎このマークが関係します 究極のサービス それは…			
6回	板場の世界		知っておきたい調理法 お造り それは…			
7回	食材研究		ブランド食材、日本三大珍味など 地鶏とは…			
8回	アルコールのサービス		ビール、日本酒、焼酎を美味しく提供するために 美味しい水割りのつくricat			
9回	器の話		木と石と土の器の話 好きな焼物を見つけよう			
10回	法要		難易度の高い法要のサービスを学ぶ 精進料理 それは…			
11回	見合いと結納		お見合いサービスの注意点を学ぶ 忌み言葉 それは…			
12回	その他の行事		知っておきたい家族行事 まずは帯祝いから			
13回	知っておきたい伝統文化①		模様の話 現代に生きる伝統模様			
14回	知っておきたい伝統文化②		家紋の話 あなたの家の家紋を調べてきてください			
15回	期末テスト		筆記試験実施			

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	ブライダル総論				クラス	E
担当講師(フルネーム)	小西翼				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	ブライダルについての基礎知識及び専門知識を説明・紹介する。				授業形態	講義
到達目標	結婚やブライダル業界の基本的な知識を理解する。					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション ブライダルとは		前期の学習内容・評価方法について説明 みなさんにとって「結婚」「夫婦」とは？ 「ブライダル」の定義とそれを構成するもの			
2回	結婚の意味 記念日・誕生石		昔の結婚と今の結婚 様々な記念日・誕生石			
3回	結婚式の種類		様々に分類される挙式・披露宴の種類と形態			
4回	結婚に関する法律		結婚できる関係とできない関係			
5回	お見合い		お見合いの種類とやり方			
6回	婚約		婚約の意味 指輪の意味 「理想のプロポーズ」に対する男女のギャップとは			
7回	日本における ブライダルのしきたり		六輝について 結納について			
8回	結婚(式)に関わる書類		婚姻届け 結婚式の招待状 見積書			
9回	挙式について		挙式の流れと演出について			
10回	披露宴について		披露宴の流れと演出について			
11回	ブライダルアイテム		ドレス・タキシード			
12回	ブライダルアイテム		和装 ブーケ・ヘッドドレス・アクセサリー			
13回	業界の様々なランキング		日本人の結婚観 人気の結婚式 人気のブライダルアイテム			
14回	前期のまとめ		前期授業のまとめと振り返り			
15回	期末テスト		前期期末試験を実施			

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	ブライダルセールス				クラス	E
担当講師(フルネーム)	鷹取恭子				実務経験	有(ブライダル業界勤務歴)
授業概要(内容)	ブライダルテキストを使用し、ブライダルの基礎知識を把握する				授業形態	講義
到達目標	ブライダルプランナーとしての役割と結婚式における基礎知識の全体を理解する					
使用テキスト	ブライダルプランナーテキスト					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	※期末試験期間中に実施○					
	テーマ	授業内容				
1回	CHAPTER1	自己紹介、授業の目的を知る ウェディングとは ウェディング業界に求められること				
2回	CHAPTER1	プランナーとは プランナーに求められること				
3回	CHAPTER2	信頼と説得力を得る為の方法 I 信頼を得るためのベーシックマナー【ロープレ】挨拶・お辞儀・笑顔 ビジネスマナー				
4回	CHAPTER2	II ヒアリングとは ヒアリング～クロージングの目的と流れを把握 III プレゼンテーションとは				
5回	CHAPTER3	新規接客営業 I 新規接客の重要性 II 新規接客の流れ				
6回	CHAPTER3	III 申込み手続き、事務処理 IV 顧客心理 V ケーススタディ				
7回	CHAPTER3	来館アンケートを基にロールプレイング 名刺の渡し方～クロージングまで				
8回	CHAPTER4	挙式・披露宴のプランニング I 打合せスケジュール II 打合せ項目 (コンセプトとテーマの決め方)				
9回	CHAPTER4	II 打合せ項目 結婚式におけるアイテム・演出の把握				
10回	CHAPTER4	III 提携業者 IV 作成資料				
11回	CHAPTER5	コーディネート I イメージ別コーディネート II 会場別コーディネート				
12回	CHAPTER5	III ケーススタディ お客様の希望をヒアリングし提案までのロールプレイング				
13回	CHAPTER6	挙式当日の流れとプランナーの動き I 当日のタイムテーブル				
14回	CHAPTER6	II 披露宴の進行 III 当日のプランナーの役割				
15回	CHAPTER6	IV 各署スタッフの役割 VI クレーム対応 クレーム対応の基本と対処方法				

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	ペン字				クラス	E
担当講師(フルネーム)	青木初恵				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	文字の基本を学び、様々な用途に合わせた書式とバランスを学ぶ				授業形態	講義
到達目標	実用ペン字・筆ペンの指導を通じて社会人としての教養を身につける。					
使用テキスト	オリジナルテキスト・下書き・ペン2種類・筆ペン					
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ	授業内容				
1回	美文字になるためのポイント①	文字の基本を学ぶ① 文字を書くための基本～姿勢・ペンの持ち方・種類 文字(漢字)のバランスの取り方を学ぶ① 自分の名前～配字配列～				
2回	美文字になるためのポイント②	文字の基本を学ぶ② 文字(漢字)のバランスの取り方を学ぶ②				
3回	美文字になるためのポイント③	文字の基本を学ぶ③ 文字(漢字)のバランスの取り方を学ぶ③				
4回	美文字になるためのポイント④	文字の基本を学ぶ④ 文字(片仮名・平仮名)のバランスの取り方を学ぶ				
5回	履歴書の書き方①	文字を書くための基本 読みやすい履歴書を書くためのバランスと書式を学ぶ～横書きの書式 履歴書に出てくる漢字の書き取り練習と名前の練習				
6回	履歴書の書き方②	履歴書オリジナル資料を参考に下書きを作る 名前・住所・学歴・免許・資格など				
7回	履歴書の書き方③	履歴書～まとめ 履歴書を1枚仕上げる一提出				
8回	実用書を学ぶ①	はがきの表書き～配字(書式)とバランスの取り方を学ぶ 封筒(縦長 長形4号)の書き方一人・企業宛の書き分け①				
9回	実用書を学ぶ②	封筒(縦長 長形4号)の書き方一人・企業宛の書き分け② 封筒(A4が入る封筒 角形2号)の書き方一人・企業宛の書き分け①				
10回	実用書を学ぶ③	封筒(A4が入る封筒 角形2号)の書き方一人・企業宛の書き分け② 封筒(A4が入る封筒 角形2号)の書き方一人・差出人(自分の住所・氏名の練習) まとめ				
11回	実用書を学ぶ④	手紙の書き方 内定後のお礼状の書き方縦書きの書式				
12回	筆ペンで実用書を学ぶ①	筆ペンの特徴と書き方 筆ペンで自分の名前の練習(楷書・行書) 芳名帳の書き方～書式とバランス				
13回	筆ペンで実用書を学ぶ②	慶弔の表書き① 「御祝」「寿」の練習と熨斗封筒の書き方				
14回	筆ペンで実用書を学ぶ③	慶弔の表書き② 「御仏前」「御霊前」の練習と不祝儀袋の書き方				
15回	筆ペンで実用書を学ぶ④	慶弔の表書き③ まとめ 色々な実用書を学ぶ 理論問題(プリント)				

対象学年	2年	学期	通年	学科	ホテル・ブライダル	
科目名	フロント・オフィス				クラス	A
担当講師(フルネーム)	中牟田登喜枝				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	ホテル業界フロント経験者が実務経験をもとにフロントオフィス業務を解説				授業形態	講義
到達目標	基本業務知識を身につけ、ホテル全体の流れを理解する					
使用テキスト	ホテルテキスト宿泊I フロントオフィス編					
成績評価方法	・期末試験50% 実技、平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		授業内容、評価方法、実技について フロントオフィスの意義と役割 フロントオフィスの組織と業務			
2回	客室の種類		客室タイプ 料金シルテム			
3回	リザーベーション業務		予約業務の重要性 イールドマネジメント			
4回	リザーベーション業務		宿泊予約の種類 宿泊予約システム概要			
5回	リザーベーション業務		予約受付の流れ			
6回	リザーベーション業務		宿泊予約受付業務 ①電話予約の基本 ②キャンセルと変更 ③リザーベーションカード作製 ④キャンセルチャージ			
7回	リザーベーション業務		インターネット予約業務 宿泊予約におけるその他の業務			
8回	リザーベーション業務		通常予約の演習 ①			
9回	リザーベーション業務		通常予約の演習 ②			
10回	リザーベーション業務		予約変更、キャンセル演習			
11回	リザーベーション業務		予約、顧客情報更新			
12回	レセプション業務		レセプションサービス ルーム・アサイメント 接客マナー			
13回	レセプション業務		チェッインの手順 レジストレーションカード記入方法			
14回	レセプション業務		オーバーブッキングとダブルブッキングの対応方法 レイトチェンジとルームチェンジの処理方法			
15回	前期まとめ		期末試験について 前期項目の復習			

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	フランス語				クラス	A
担当講師(フルネーム)	ニコラ ドゥ メニス				実務経験	無
授業概要(内容)	フランス語での挨拶から、簡単な自己紹介・フランス語での旅行のために、「何・どこ・いつ」などの質問と答え方まで。				授業形態	講義
到達目標	主に、皆さんが楽しく色んな勉強をしながら、フランスの文化を学ぶ。					
使用テキスト	Pascal au Japon & Spirale					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	Bonjour!	授業の流れの説明した上でフランスの文化等についてQ&A Bonjour! Je suis Nicolas. Je suis Français. J'aime le Japon. Etre動詞・ER動詞/Pascal 1				
2回	自己紹介	自己紹介 J'habite à Fukuoka. Je travaille dans une école. Pascal 2 / 動詞のミニテスト				
3回	持っているもの・気分	私は何々を持ちます。私はお腹空いた。 J'ai une voiture. J'ai faim. Avoir動詞 / Pascal 3				
4回	趣味について	～が好きです。～好きですか？ J'aime la musique. Tu aimes la musique? Aimer動詞 / Pascal 4 / ミニテスト				
5回	パリ、フランスへ	パリに行きたいです。～見に行きたいです。 / Vouloir動詞 パリ・フランスについて何を興味あるかを話す。 Je veux aller à Paris. Je veux visiter le Louvre. テスト1回～4回				
6回	人の話	彼・彼女はだれですか？ / Qui c'est ? 仕事を覚えるためロールプレイ Pascal 5				
7回	誘い方	～しませんか？ Tu ne veux pas ... ? ～出来ますか？ Tu peux ... ? Pouvoir動詞 / Pascal 6 / ミニテスト				
8回	気持ち	お元気ですか？ Je vais bien. J'ai faim. J'ai soif. Aller 動詞 (Avoir・Etre動詞の復習) Pascal 7				
9回	場所や天気	～はどこですか？ 前・後ろ・隣など。 Où est ~ ? C'est devant, derrière, à Faire 動詞 Pascal 8 + ミニテスト				
10回	家族・形容詞	6回～9回 テスト 大城・小さい・男性名詞・女性名詞 Pascal 9				
11回	数字・歳・時間	何歳ですか？いくらですか？ Tu as quel âge ? C'est combien ? 質問の作り方 Pascal 10				
12回	質問	どこ・いくら・いつ・どうやって・なぜ・何時 IR動詞 (Finir, Partir. . .) Pascal 11 + ミニテスト				
13回	質問ロールプレイ	皆でロールプレイ Comment tu t'appelles ? Qu'est-ce que tu aimes ? Pascal 12 + 試験の練習				
14回	試験	授業内で試験				
15回	パリを感じる	映画で文化を勉強する: Amélie				

対象学年	2年	学期	通年	学科	ホテルブライダル科	
科目名	コミュニケーションイングリッシュ				クラス	Aクラス
担当講師(フルネーム)	松本範子				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	日常生活だけでなく、ホテルで使う語彙や会話表現を学び オンラインレッスンで実践する				授業形態	講義 & 演習
到達目標	学んだ英語をホテルでの接客に活かせるようにする					
使用テキスト	絵で見てパッと言う英会話トレーニング、予習・復習プリント					
成績評価方法	授業・レッスン評価70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ	授業内容				
1回	絵で見てパッと英会話	自己紹介①				
2回	絵で見てパッと英会話	自己紹介②				
3回	おもてなし英語	ホテル:チェックイン①				
4回	絵で見てパッと英会話	日常の挨拶①				
5回	絵で見てパッと英会話	日常の挨拶②				
6回	おもてなし英語	ホテル:チェックイン②				
7回	絵で見てパッと英会話	聞き返し・つなぎ				
8回	絵で見てパッと英会話	お礼				
9回	おもてなし英語	ホテル:施設案内①				
10回	絵で見てパッと英会話	感想①				
11回	絵で見てパッと英会話	感想②				
12回	おもてなし英語	ホテル:設備案内②				
13回	絵で見てパッと英会話	気遣う				
14回	絵で見てパッと英会話	依頼				
15回	おもてなし英語	ホテル:滞在中				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	ホテルマネジメント				クラス	A
担当講師(フルネーム)	秋葉優美				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	マネジメント業務の基本的知識を学ぶ ホテルマネジメント技能検定3級学科試験合格に向けて学習を深める				授業形態	講義
到達目標	ホテルマネジメント業務の基礎知識を習得し、ホテル・マネジメント技能検定3級の合格点達成を目指す					
使用テキスト	ホテル・マネジメント ベーシック					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30%(小テスト、ノートチェック含む) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション、ホテルマネジメント概論		授業の目的と進め方、評価方法について説明する 「マネジメント」について考える ホテルマネジメント概論について学習する			
2回	業務運営管理①		宿泊業務、料飲業務について学習する 練習問題			
3回	業務運営管理②		宴会・婚礼業務、営業について学習する 練習問題			
4回	業務運営管理③		マーケティング、情報システムについて学習する 練習問題			
5回	財務会計・管理会計①		簿記、ホテル会計について学習する 練習問題			
6回	財務会計・管理会計②		主要業績指標、損益分析について学習する 練習問題			
7回	リスク管理、法務		リスク管理と法務に関し、一般的な知識を習得する 練習問題			
8回	小テスト		マネジメント概論、業務運営管理、財務会計・管理会計、リスク管理に関する確認テスト			
9回	サービス管理・顧客ロイヤリティ		サービス品質、クレーム対応、CS管理に関し、一般的な知識を習得する 練習問題			
10回	人材マネジメント		人材マネジメントの重要性、リーダーシップに関して学習する 練習問題			
11回	総まとめ		テキスト「ホテル・マネジメント」とこれまで学習した内容に沿って、総まとめを行う 練習問題			
12回	ホテル・マネジメント技能検定対策①		ホテル・マネジメント技能検定試験対策:過去問題・対策問題 解説			
13回	ホテル・マネジメント技能検定対策②		ホテル・マネジメント技能検定試験対策:過去問題・対策問題 解説			
14回	期末テスト		期末テスト			
15回	総まとめ・振り返り		期末テストの振り返り、前期の総まとめ			

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	ホテルマネジメント				クラス	A
担当講師(フルネーム)	橋口淳二				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	マネジメント業務の基本的知識を学ぶ 業務上必要な各種管理部門について学ぶ				授業形態	講義
到達目標	マネジメントレベルの判断要素を到達とする					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	期末試験80%平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		授業の目的と進め方、評価方法について説明する ヒエラルキー理論			
2回	世間のコスト		店舗の心理学 儲かる店の法則			
3回	防災防犯管理		防災、防犯管理			
4回	労働契約		労働とは？契約とは？社員とは？			
5回	サラリーとは		給料と休日についての正しい知識			
6回	ホテルの性格		タイプ別ホテルの性格について			
7回	開業手順		都市開発に連動したホテル開業について			
8回	メニュープランニング		売れるメニュー分析			
9回	実施計画		面白い構造ホテルと販売促進			
10回	P&L		損益計算書分析			
11回	販売促進管理		実線的な販売促進について			
12回	顧客管理		顧客の付け方、持て成し方			
13回	人事評価		人事評価、開発、イベントについて			
14回	店舗の構造		よい会社とよい店舗構造について			
15回	まとめ		前期授業の総まとめ			

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	ホテル・ブライダル 科	
科目名	HRS対策(筆記)				クラス	A
担当講師(フルネーム)	長野美穂				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	HRS試験に必要な知識を学ぶ 過去問題を参考に試験対策を行う				授業形態	講義
到達目標	8月18日実施のHRS筆記試験合格					
使用テキスト	西洋料理 料飲接客サービス技法					
成績評価方法	・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・平常点には授業中に行うミニテストを加味する				単位 数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	第1章 食材・飲料等の基礎知識		6つの基礎食品を知る 食品の分類別特徴を学ぶ 過去問題を解く			
2回	第1章 食材・飲料等の基礎知識		西洋料理に使用される主な食材を知る フルコースの流れとそのポイントを学ぶ 過去問題を解く			
3回	第1章 食材・飲料等の基礎知識		西洋料理の食器・備品について学ぶ 銀食器の取り扱い方を学ぶ 過去問題を解く			
4回	第4章 食文化		食事の国際習慣について学ぶ プロトコールの歴史を学ぶ 過去問題を解く			
5回	第7章 食品衛生及び公衆衛生		食品衛生および公衆衛生について学ぶ 食中毒の分類、発生状況を知る 過去問題を解く			
6回	2019年度過去問題		過去問題を解く 答え合わせと解説			
7回	2019年度過去問題		過去問題を解く 答え合わせと解説			
8回	2019年度過去問題		過去問題を解く 答え合わせと解説			
9回	ミニテスト		本番を想定した問題を解く 真偽減点方式による採点を行なう			
10回	2018年度過去問題		過去問題を解く 答え合わせと解説			
11回	2018年度過去問題		過去問題を解く 答え合わせと解説			
12回	2018年度過去問題		過去問題を解く 答え合わせと解説			
13回	2017年度過去問題		過去問題を解く 答え合わせと解説			
14回	2017年度過去問題		過去問題を解く 答え合わせと解説			
15回	期末試験		期末試験 真偽減点方式による採点を行なう			

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	HRS対策(実技)				クラス	A
担当講師(フルネーム)	小西翼				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	HRS試験合格のために必要な技術を向上させる。 過去の課題を参考に試験対策を行う。				授業形態	実技
到達目標	ホテルレストランサービス技能検定3級に合格する。					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	評価方法の説明 『国家資格』と『民間資格』 備品のセッティングと片付けについて				
2回	朝食サービス	セッティング(朝食) お迎えから水、コーヒーサービスまでのロールプレイ 整理整頓				
3回	朝食サービス	セッティング(朝食) お迎えからパンサービスまでのロールプレイ 整理整頓				
4回	朝食サービス	セッティング(朝食) お迎えからバッシング・リセットまでのロールプレイ 整理整頓				
5回	朝食サービス	セッティング(朝食) 通し練習 整理整頓				
6回	確認テストに向けて	セッティング(朝食) 課題範囲を発表・通し練習 整理整頓				
7回	確認テスト	セッティング(朝食) 朝食サービスの試験を行う 整理整頓				
8回	確認テスト	セッティング(朝食) 朝食サービスの試験を行う 整理整頓				
9回	ランチサービス	セッティング(ランチ) お迎え～メイン料理サービスまでのロールプレイ 整理整頓				
10回	ランチサービス	セッティング(ランチ) お迎え～バッシング・リセットまでのロールプレイ 整理整頓				
11回	ランチサービス	セッティング(ランチ) お迎え～バッシング・リセットまでのロールプレイ 整理整頓				
12回	ランチサービス	セッティング(ランチ) お迎え～バッシング・リセットまでのロールプレイ 整理整頓				
13回	確認テストに向けて	セッティング(ランチ) 課題範囲を発表・通し練習 整理整頓				
14回	確認テスト	セッティング(ランチ) ランチサービスの試験を行う 整理整頓				
15回	確認テスト	セッティング(ランチ) ランチサービスの試験を行う 整理整頓				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	ブライダルホテル 科	
科目名	コンピュータ				クラス	A
担当講師(フルネーム)	乙咩清美				実務経験	有
授業概要(内容)	タイピング、ビジネスレター(文書、メール等)を繰り返し練習する。 表作成やデータ集計を繰り返し練習する。				授業形態	講義&演習
到達目標	Microsoft Word&Excelの基礎を学び、仕事で活用できるよう応用力を身に着ける。					
使用テキスト	実教出版 30時間でマスターOffice2019					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	IT基礎		OALームの使用について 授業の進め方・その他の確認、ファイルとフォルダの操作・クラウドについて ウィンドウズについて、タイピングスキルチェック、自己紹介カードの入力			
2回	Word基礎・応用		タイピング練習 ビジネス文書の基本 ※社内文書、社外文書			
3回	Word基礎・応用		タイピング練習 ビジネス文書の基本 ※報告書の作成とメール添付			
4回	Word基礎・応用		タイピング練習 ビジネス文書作成(チラシ・ポスター作成) ※画像の挿入、図形描画・ワードアートなど			
5回	Word基礎・応用		タイピング練習 ビジネス文書作成(チラシ・ポスター作成) 確認テスト実施			
6回	Excel基礎		Excel2019について、画面構成、文字・数値の入力と編集、テンキーレッスン 四則演算式と関数			
7回	Excel基礎		表作成 関数(SUM・AVERAGE・COUNT・MAX・MINなど)			
8回	Excel基礎		表作成 相対参照と絶対参照、比率・割合を求める			
9回	Excel基礎		表作成 グラフ作成(基本的な縦棒・横棒・折れ線・円グラフ)			
10回	Excel基礎		表作成 関数(IF・VLOOKUP関数など)			
11回	Excel基礎		表作成・グラフ作成の練習①			
12回	Excel基礎		表作成・グラフ作成の練習②			
13回	期末試験		Excel期末試験			
14回	パソコン活用		Wordにてグリーティングカードやポスター作成 クラウドを使用して、画像を取得・共有			
15回	PowerPoint活用		PowerPointを使用して、ミニムービーの作成 クラウドを使用して、画像を取得・共有			

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	面接対策				クラス	A1 A2
担当講師(フルネーム)	宮前訓子				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	コロナ禍を意識した自己PRと志望動機の完成 対面・WEBの両方に対応できる面接アピール力を付ける				授業形態	講義
到達目標	自己PR力を育成し、どのような状況にも対応できる 柔軟性を付ける					
使用テキスト	使用しない (毎回プリントを配布。各自バーファイル等を準備すること)					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		この授業の進め方と春休みの成果を発表			
2回	自己PR①		実習経験・アルバイト経験を踏まえた自己PRを考える (実技) シートを作成し発表			
3回	志望動機①		志望する業界に対する志望動機を考える (実技)シートを作成し発表			
4回	GD①		業界でのGDのテーマを実際に体験する 他者のディスカッションを観察・評価する			
5回	質疑応答①		面接で聞かれうる基本的質疑応答に対応する			
6回	自己PR②		2年時での経験を踏まえた自己PRを考えプレゼンする			
7回	志望動機②		業界の動向を調べたうえでの志望動機を作成演習			
8回	GD②		あらゆるテーマのディスカッションに対応できるようアドリブ力を鍛える			
9回	質疑応答②		時事問題に関する質疑応答の演習			
10回	ディベート		社会人として必要な考え方を習得するためのディスカッション演習			
11回	質疑応答対策③		面接で聞かれうる質疑応答に対する演習			
12回	質疑応答対策④		面接で聞かれうる質疑応答に対する演習			
13回	質疑応答対策⑤		面接で聞かれうる質疑応答に対する演習			
14回	実技試験①		個人面接(待機時間に書類を作成)			
15回	実技試験②		個人面接(待機時間に書類を作成)			

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	ホテルブライダル科	
科目名	就職活動講座				クラス	A
担当講師(フルネーム)	田中友加利				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	・受験企業の絞り込みと、面接対策のフォローアップをする。 ・内定後の取り組みと入社後に最低限必要な知識を身につける。				授業形態	講義
到達目標	志望する企業への内定を勝ち取る。					
使用テキスト	「専門学校生のための就職内定基本テキスト」・就職ノート					
成績評価方法	・提出物・授業態度・身だしなみ・出席率により評価 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		・現在の就職活動状況を把握する。 ・前期授業内容及び評価方法説明			
2回	自己PR		アルバイト等での失敗や成果の具体的な内容を拾い上げる。			
3回	受験企業の志望動機		・希望受験先の魅力 ・希望受験先の改善点			
4回	受験企業の志望動機		・受験企業の志望動機作成 (なぜ、希望するのか。自分がどのようなことを実現させたいか) ・受験企業の志望動機を完成させる。			
5回	面接対策		面接の形式や種類を学ぶ			
6回	面接対策		さまざまな種類の質問に答えられるようにする			
7回	企業研究・面接対策		・現状の個別活動状況中間報告を行い、それぞれが抱える問題点の洗い出しを行う。 ・個々人の状況に応じた疑問や質問に対して答えていく。			
8回	企業研究・面接対策		・現状の個別活動状況中間報告を行い、それぞれが抱える問題点の洗い出しを行う。 ・個々人の状況に応じた疑問や質問に対して答えていく。			
9回	内定後にすること		・内定とは何かを説明し企業人としての第一歩の自覚を促す。 ・内定後の学校生活が入社に関係してくることの重要性の確認。			
10回	企業研究・面接対策		・内定者と未定者とはを分け、内定者にはプリントを配布し作成させる。 ・内定未定者に対し個別指導を行う。			
11回	企業研究・面接対策		・内定者と未定者とはを分け、内定者にはプリントを配布し作成させる。 ・内定未定者に対し個別指導を行う。			
12回	企業研究・面接対策		・内定者と未定者とはを分け、内定者にはプリントを配布し作成させる。 ・内定未定者に対し個別指導を行う。			
13回	企業研究・面接対策		・内定者と未定者とはを分け、内定者にはプリントを配布し作成させる。 ・内定未定者に対し個別指導を行う。			
14回	入社後に必要なこと		・就業規則とは何か ・組織について最小限の知識を身につける。			
15回	入社後に必要なこと		・税金の仕組み ・給与の仕組み			

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	ホテル・ブライダル 科	
科目名	セレモニープロデュース I・II				クラス	A
担当講師(フルネーム)	長野美穂				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	「ホテル・ブライダルフェア」に向けて企画から当日運営までプロデュース				授業形態	講義 & 演習
到達目標	8月実施の「ホテル・ブライダルフェア」を成功させる					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・提出物、プレゼンテーション80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	イントロデュース		授業の進め方、成績評価方法 「ホテル・ブライダルフェア」に向けての流れ			
2回	テーマ決め		どのようなフェアにするか話し合い テーマを持ち寄りプレゼンテーション			
3回	テーマ決め		テーマに合わせたイベントを考える 個人プレゼンテーション			
4回	実施内容決め		当日実施するものを決める 実施にあたりどのような役割が必要か話し合う			
5回	役割分担決め		前日までの準備と当日、分けて役割分担 チーム編成			
6回	チームごとに作業		必要な備品のピックアップ 予算を考えつつコストパフォーマンスを意識した備品の選定			
7回	チームごとに作業		プレゼンテーションⅠのはじめにチームごとに「本日の到達目標」を発表 プレゼンテーションⅡの終わりに「本日の達成事項」を発表 * チームで提案したことはクラスで発表し、承認を得てから決定となる			
8回	チームごとに作業		プレゼンテーションⅠのはじめにチームごとに「本日の到達目標」を発表 プレゼンテーションⅡの終わりに「本日の達成事項」を発表 * チームで提案したことはクラスで発表し、承認を得てから決定となる			
9回	チームごとに作業		プレゼンテーションⅠのはじめにチームごとに「本日の到達目標」を発表 プレゼンテーションⅡの終わりに「本日の達成事項」を発表 * チームで提案したことはクラスで発表し、承認を得てから決定となる			
10回	チームごとに作業		プレゼンテーションⅠのはじめにチームごとに「本日の到達目標」を発表 プレゼンテーションⅡの終わりに「本日の達成事項」を発表 * チームで提案したことはクラスで発表し、承認を得てから決定となる			
11回	チームごとに作業		プレゼンテーションⅠのはじめにチームごとに「本日の到達目標」を発表 プレゼンテーションⅡの終わりに「本日の達成事項」を発表 * チームで提案したことはクラスで発表し、承認を得てから決定となる			
12回	チームごとに作業		この時間までに必要な備品はすべて購入しておくこと (当日に必要な食材などは除く)			
13回	本番に向けて		リハーサル準備 次回のリハーサルに向けての事前打ち合わせ			
14回	本番に向けて		当日と同じ状況でリハーサル 時間配分、改善点をチェック			
15回	本番に向けて		前回のリハーサルを受けての微調整 最終打ち合わせ			

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	エアライン科	
科目名	TOEIC				クラス	OPV①
担当講師(フルネーム)	挽田雅子				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	TOEICの試験形式に慣れ、聴解力、語彙力、読解力の強化をめざす。 TOEIC頻出の文法事項を理解する。				授業形態	講義
到達目標	TOEIC試験で目標スコアを獲得する。					
使用テキスト	公式TOEIC LISTENING & READING 問題集 7					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	授業の進め方、評価方法の説明 TOEICテストの説明 Part1の攻略 人物、風景と物、乗り物についての表現を学ぶ				
2回	Part2(1)	Part2の攻略 WH疑問文を聞き取る Yes/No 疑問文の応答 付加疑問文の応答				
3回	Part2(2)	「許可」「依頼」「提案」の応答の典型を覚える 平叙文の応答 練習問題				
4回	Part3(1)	Part3の攻略 設問を先に読み、設問の意味を単純化する 全体を聞いて解答できるものとピンポイントで聞いて解答するものを見分ける				
5回	Part3(2)	図・イラスト問題を攻略する 設問の順番に沿ってヒントを聞き取る 選択肢を読む				
6回	Part4(1)	Part4の攻略 設問を先読みする 場所を問う問題を解く				
7回	Part4(2)	職業を問う問題を解く 次の行動を問う問題を解く 練習問題				
8回	Part5(1)	Part5の攻略 品詞問題の解き方を学ぶ 名詞、形容詞、副詞の練習問題				
9回	Part5(2)	動詞の形と役割を理解する 準動詞の形と役割を理解する 練習問題				
10回	Part5(3)	態(能動態と受動態) 分詞(現在分詞と過去分詞) 練習問題				
11回	Part5(4)	つなぎ言葉(前置詞、接続詞) 代名詞 練習問題				
12回	Part6	Part6の攻略 文法・語彙問題を解く 「文挿入問題」の解き方を学ぶ				
13回	Part7(1)	Part7の攻略 メール・お知らせ・メッセージ・記事・取扱説明書を読む 時間を管理する				
14回	Part7(2)	ダブルパッセージ・トリプルパッセージ 求人広告・Eメール・目次・ウェブページ 設問の焦点となる情報を一方の文書で探し、もう一方の文書で関連情報を探す				
15回	まとめと復習	TEST1を復習する 語彙・語法の確認 文法問題の確認				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	英語面接対策				クラス	A
担当講師(フルネーム)	中牟田登喜枝				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	英語面接の基礎知識、面接を成功させるためのテクニックを学ぶ				授業形態	講義
到達目標	実践で使える自分用のシュミレーションパターンを作成、暗記する					
使用テキスト	プリント配布					
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	1
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ	授業内容				
1回	仕事的话题を膨らまそう	今まで作った自己PRのまとめ 将来の夢				
2回	仕事的话题を膨らまそう	志望動機				
3回	面接実践	模擬面接で英語での質疑応答を体験				
4回	スピーチ発表	自己PRスピーチを皆の前で発表				

観光・鉄道

* 共通する科目は、観光にあります。

対象学年	2年	学期	通年	学科	観光科	
科目名	海外観光地理				クラス	K
担当講師(フルネーム)	挽田雅子				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	旅行業界経験教員。海外旅行の企画・販売・添乗のために必要な海外地理の基礎知識を学ぶ。				授業形態	講義
到達目標	海外の観光都市、観光地、観光ポイントの名前と場所を覚え、特徴を述べることができる。					
使用テキスト	海外観光資源、海外観光地理サブノート、旅に出たくなる地図(世界)					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	中欧・東欧	チェコ プラハの観光資源を学習する ハンガリー ブダペストの観光資源を学習する クロアチアの観光資源を学習する				
2回	ギリシャ	サブノート記入チェック アテネの観光資源を学習する エーゲ海の観光資源を学習する				
3回	ロシア	サブノート記入チェック モスクワの観光資源を学習する サンクトペテルブルクの観光資源を学習する				
4回	韓国	サブノート記入チェック ソウルの観光資源を学習する 慶州・扶余・済州島の観光資源を学習する				
5回	中国(1)北部	サブノート記入チェック 北京の観光資源を学習する 東北地方の観光資源を学習する				
6回	中国(2)南部	サブノート記入チェック 上海・香港の観光資源を学習する 台湾の観光資源を学習する				
7回	中国(3)西部 シルクロード・チベット	サブノート記入チェック 西安の観光資源を学習する 新疆ウイグル地区の観光資源を学習する				
8回	東南アジア(1)	サブノート記入チェック ベトナムの観光資源を学習する カンボジアの観光資源を学習する				
9回	東南アジア(2)	サブノート記入チェック タイの観光資源を学習する マレーシアの観光資源を学習する				
10回	東南アジア(3)	サブノート記入チェック インドネシアの観光資源を学習する フィリピン観光資源を学習する				
11回	インド・ネパール・ スリランカ	サブノート記入チェック インドの観光資源を学習する スリランカの観光資源を学習する				
12回	ハワイ州	サブノート記入チェック オアフ島の観光資源を学習する マウイ島、カウアイ島、ハワイ島の観光資源を学習する				
13回	研究発表	ハワイツアーのプレゼンテーション グループ発表の準備 コースを決める、観光スポット・ホテルを調べる				
14回	研究発表	ハワイツアーのプレゼンテーション グループ発表(コース、日程、ホテル、観光スポットの説明) 評価と反省				
15回	まとめと復習	前期のまとめ ヨーロッパ、アジアの復習 主な世界遺産の復習				

対象学年	2年	学期	通年	学科	観光科	
科目名	観光ゼミ				クラス	K
担当講師(フルネーム)	友納真				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	トラベルサロンを旅行会社に見立て、店舗のレイアウト、運営について学ぶ				授業形態	講義 & 演習
到達目標	観光業界への就職を目指すものとして、旅行における販売の方法、集客するための企画・立案の手法を学ぶ					
使用テキスト	旅行会社のカウンター販売(国内旅行編)					
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする (RもしくはI単位認定)				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ	授業内容				
1回	カウンター販売(店舗装飾)	「お客様に足を運んでいただける店舗づくり」 講師: 秋葉 優美先生 ※講義の日時は変更になることがあります				
2回	トラベルサロン装飾①	旅行代理店の店舗装飾の手法を学んだうえで、トラベルサロン(203教室)の 装飾計画・実施・パンフレット陳列 接客対応の手法				
3回	トラベルサロン装飾②	前回の続き 装飾計画・実施・パンフレット陳列・接客対応の手法				
4回	トラベルサロン装飾③	前回の続き 装飾計画・実施・パンフレット陳列・接客対応の手法				
5回	トラベルサロン装飾④	前回の続き・完成 装飾計画・実施・パンフレット陳列・接客対応の手法				
6回	カウンター販売(店舗運営)	「接客対応の実演・評価」 講師: 秋葉 優美先生 ※講義の日時は変更になることがあります				
7回	講座	福岡市出前講座「SDGs(持続可能な開発目標について)」 ※講義の日時は変更になることがあります				
8回	トラベルサロン運営準備①	トラベルサロン(203教室)を旅行会社に見立て、運営に向けて準備 パワーポイントなどを使用し、旅行説明会の企画・プレゼン準備				
9回	トラベルサロン運営準備②	前回の続き				
10回	トラベルサロン運営準備③	前回の続き				
11回	トラベルサロン運営準備④	前回の続き				
12回	トラベルサロン運営準備⑤	前回の続き				
13回	トラベルサロン運営①	旅行参加者を募集する「旅行説明会」実施① ※実施期日は講義中に決定				
14回	トラベルサロン運営②	旅行参加者を募集する「旅行説明会」実施② ※実施期日は講義中に決定				
15回	トラベルサロン運営③	トラベルサロン(203教室)を旅行会社に見立て、カウンター接客・旅行相談・手配を実践 パソコン・時刻表・パンフレットを使用 ※実施期日は講義中に決定				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	観光科	
科目名	国内観光地理				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
担当講師(フルネーム)	友納真				実務経験	有
授業概要(内容)	各都道府県毎の観光資源(宿泊・観光地・グルメ・名産品)を学ぶ 国内の交通について学ぶ(JR・航空・長距離フェリー)				授業形態	講義
到達目標	観光地を学び、旅行商品としてどう組み込んでいくかを理解する					
使用テキスト	国内観光資源／国内観光地理サブノート／旅に出たくなる地図(日本)(必要に応じて講師より指示)					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30%(小テスト・提出物等含む) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション・長野県	授業の進め方・評価方法を説明 長野県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 長野県の見どころ・温泉・宿泊地を学ぶ				
2回	山梨県・新潟県	山梨県・新潟県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 山梨県・新潟県の見どころ・温泉・宿泊地を学ぶ (甲信越小テスト)				
3回	富山県・石川県	富山県・石川県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 富山県・石川の見どころ・温泉・宿泊地を学ぶ				
4回	福井県	福井県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 福井県の見どころ・温泉・宿泊地を学ぶ (北陸小テスト)				
5回	埼玉県・茨城県	埼玉県・茨城県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 埼玉県・茨城県の見どころ・宿泊地を学ぶ				
6回	群馬県・栃木県	群馬県・栃木県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 群馬県・栃木県の見どころ・温泉・宿泊地を学ぶ (関東小テスト)				
7回	地理検過去問①	6月実施の旅行地理検定・国内・世界の過去問にチャレンジ① 過去問(60分間)、自己採点 ※目標級に応じて用意(国内上級・海外初級・海外中級)				
8回	地理検過去問②	6月実施の旅行地理検定・国内・世界の過去問にチャレンジ② 過去問(60分間)、自己採点 ※目標級に応じて用意(国内上級・海外初級・海外中級)				
9回	福島県・山形県	福島県・山形県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 福島県・山形県の見どころ・温泉・宿泊地を学ぶ				
10回	岩手県・宮城県	岩手県・宮城県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 岩手県・宮城県の見どころ・温泉・宿泊地を学ぶ				
11回	秋田県・青森県	秋田県・青森県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 秋田県・青森県の見どころ・温泉・宿泊地を学ぶ (東北小テスト)				
12回	国内の交通①	新幹線 ・7つの新幹線。接続する在来線特急、観光地までのアクセスを学ぶ				
13回	国内の交通②	特急列車 ・全国で運行している特急列車と沿線観光地を学ぶ				
14回	国内の交通③	D&S・クルーズトレイン ・九州の観光列車の魅力を学ぶ ・移動手段だけでなく、観光の一部であるクルーズトレイン・観光列車を学ぶ				
15回	国内の交通④	空港 ・国内の空港の所在地と交通アクセスを学ぶ				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	観光科	
科目名	アウトバウンド演習				クラス	K
担当講師(フルネーム)	友納真				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	海外旅行商品を販売するにあたっての必要な知識を学ぶ				授業形態	講義
到達目標	海外商品の特徴を知り、プランニングができるようになる					
使用テキスト	海外観光資源・旅に出たくなる地図(海外)					
成績評価方法	・確認テスト50%／ツアープランニング30%(発表含む)／平常点30%(小テスト・提出物等含む) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	海外実務①		日本と海外の違い① 日本の常識、世界の非常識！？海外旅行ならではの知識を学ぶ			
2回	海外実務②		日本と海外の違い② 海外ツアーにおいての業務を学ぶ			
3回	海外実務③		カウンター業務① パスポート申請・出入国書類・ビザ・海外旅行傷害保険について学ぶ			
4回	海外実務④		カウンター業務② 海外旅行を扱う旅行会社・ブランドを知る			
5回	海外実務⑤		カウンター業務③ 海外旅行でお客様にお伝えする説明事項などを学ぶ			
6回	海外実務⑥		添乗業務① 海外添乗の心構えを学ぶ			
7回	海外実務⑦		添乗業務② アイテナリーの見方・添乗業務について学ぶ			
8回	海外実務⑧		添乗業務③ ツアーの数だけトラブルあり！？トラブル事例と対処法を学ぶ			
9回	確認テスト		海外実務・確認テスト			
10回	海外旅行プランニング①		海外旅行のプランニング 海外パッケージ商品を利用し、現地までの交通手段(フライト)、観光地、食事を組み込みプランニング 発表準備(日程表／見積書／プレゼン資料)			
11回	海外旅行プランニング②		前回の続き			
12回	海外旅行プランニング③		前回の続き			
13回	海外旅行プランニング④		前回の続き			
14回	海外旅行プランニング⑤		前回の続き			
15回	海外旅行プランニング⑥		プランニング発表			

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	観光科	
科目名	インバウンド概論				クラス	K
担当講師(フルネーム)	挽田雅子				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	旅行業界経験教員。インバウンドビジネスについての基礎知識を学ぶ。 訪日旅行者一人一人に向き合う心構えを学ぶ。				授業形態	講義
到達目標	インバウンドの意義を理解する。訪日外国人旅行の現況と課題を把握する。					
使用テキスト	インバウンド概論					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	インバウンドとは	オリエンテーション インバウンドの意義 インバウンドの歴史				
2回	訪日外国人旅行者の現況	訪日外国人旅行者数の推移を調べる 訪日外国人旅行者の動向について学ぶ インバウンドがもたらす経済効果について学ぶ				
3回	国・地域別のマーケット特性	国・地域別外国人旅行者の割合について知る アジア発訪日客の増加とその背景を考える 各国・地域の特性を学び				
4回	外国人旅行者から見た日本の観光資源	日本に対する印象を知る 外国人旅行者から見た日本の観光資源について学ぶ 訪日旅行の満足度を調べる				
5回	外国人旅行者の誘致と受入課題	旅行先としての日本に対するイメージを知る ネガティブイメージの払拭について考える 受入態勢の整備について学ぶ				
6回	インバウンドに関連する法律	旅行サービス手配業について知る 観光立国推進基本法を学び、外国人観光旅客推進の重要性を知る 通訳案内士について学ぶ				
7回	関連業界の現況と課題	外国人旅行者から見た宿泊業の課題について学ぶ 運輸業の受入態勢と課題について学ぶ 観光施設の現況を知る				
8回	インバウンドに取り組む企業	旅行業の現況を知る 運輸業の現況を知る 流通業の取り組みについて学ぶ				
9回	インバウンド実務	基礎知識を身につける 基本的な流れを学ぶ 実務上のやり取りについて考える				
10回	九州のインバウンドの動向	アジア比率が高い九州の現況を知る インバウンド増加への取り組みを学ぶ 九州のインバウンド振興について考える				
11回	外客接遇	外客接遇の基本的な考え方を知る 外客接遇に必要な知識と能力について考える 宗教とタブーについて学ぶ				
12回	日本についての知識	日本文化について学ぶ 日本の慣習について説明する 訪日客への案内を考える				
13回	インバウンドツアー(1)グループ研究	九州のツアー行程を作成する ターゲットを調べて、観光地・宿泊地・運輸機関を決める 費用を計算する				
14回	インバウンドツアー(2)グループ発表	班ごとにツアーを発表する 内容・費用・発表について評価する 評価のフィードバックをする				
15回	まとめと復習	インバウンドの現況と課題について復習し、今後の取り組みを考える インバウンドに関わる際に必要な知識と能力を学ぶ インバウンドに取り組むメリットを理解する				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	観光科	
科目名	観光マーケティング				クラス	K
担当講師(フルネーム)	挽田雅子				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	観光とは何か、観光産業とはどのような産業か、観光ビジネスの特性は何か、について学び、観光マーケティング活動を理解する。				授業形態	講義
到達目標	観光マーケティングと観光消費の対象となる「商品」について理解し、マーケティングのあり方を考えることができる。					
使用テキスト	観光学基礎					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	観光の意味と現代的意義	オリエンテーション 現代社会における観光の重要性 観光を学ぶ意義				
2回	観光の効果	観光が人間にもたらす効果 観光が地域にもたらす効果 観光の社会的・文化的効果				
3回	観光を構成する要素	観光を構成する4つの要素 観光者と観光対象 観光者と観光対象を結ぶモノやコト				
4回	観光資源と観光対象	観光資源の意味と内容 観光資源と観光対象 観光対象の特徴				
5回	観光資源と保護	観光資源の保護 自然公園法、ナショナルトラスト運動 エコツーリズム				
6回	さまざまなツーリズム	体験観光 新しい観光 サステナブルツーリズム				
7回	観光振興開発と保護	観光まちづくり 観光地として成立するために必要なこと 観光需要と観光市場				
8回	観光と旅行業	旅行業の役割 旅行業の機能と形態 旅行業と地域の関わり				
9回	観光と宿泊業 観光と運輸業	わが国の宿泊施設の特徴 ホテル・旅館に今後求められること 交通手段の発達が観光地にもたらす影響				
10回	観光と情報	観光行動と観光情報 観光情報の媒体(ツール) 効果的な観光情報の発信・提供方法				
11回	観光の歴史	観光の発展を促進する要因 観光の発展を阻害する要因 観光が大衆化した要因				
12回	観光のマーケティング	マーケティングと観光への応用 観光マーケティングの対象と観光消費の対象となる「商品」 観光マーケティング活動の実際				
13回	マーケティング事例の研究	マーケティング事例を調べる 施策・効果・成功のポイントを整理する 発表の準備				
14回	マーケティング事例の発表	発表 伝え方を工夫する 評価と反省				
15回	まとめ	観光業界の人材 ホスピタリティ 前期授業のまとめ				

対象学年	2年	学期	通年	学科	観光科	
科目名	旅行Web広報戦略				クラス	K
担当講師(フルネーム)	坂井隆仁				実務経験	有(ブライダル業界勤務歴)
授業概要(内容)	Excelを使って広告スケジュールの作り方を学んだ後、webサイトを作っていきます。				授業形態	実技
到達目標	パソコンを使って色々な事ができる人材になっていきましょう。					
使用テキスト	特になし。課題、資料等はデータで配布予定。					
成績評価方法	・授業内課題70点 出席30点 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	前期の復習と今期の内容確認		Word、PowerPoint、動画の復習 webディレクターという仕事の紹介			
2回	Excelでスケジュール作成①		Excelでスケジュール作成 条件付き書式を使いこなしてみましょう。			
3回	Excelでスケジュール作成②		Excelでスケジュール作成 条件付き書式を使いこなしてみましょう。			
4回	バナーについて①		canvaで実際にバナーを作りましょう。 色々なWebサイトを見てどんなバナーがあるか調査してみましょう。			
5回	バナーについて②		canvaで実際にバナーを作りましょう。 テーマ別にバナーを作成			
6回	Webサイトを作ってみましょう①		ペライチへ登録 webサイト作成 課題①			
7回	Webサイトを作ってみましょう②		webサイト作成 課題②			
8回	Webサイトを作ってみましょう③		webサイト作成 課題③			
9回	Webサイトを作ってみましょう④		webサイト作成 課題④			
10回	Webサイトを作ってみましょう⑤		seo対策について 公開する手順説明			
11回	Webサイトの更新①		Webサイトを更新しながら、HTML・CSSを学習していきましょう 課題①			
12回	Webサイトの更新②		Webサイトを更新しながら、HTML・CSSを学習していきましょう 課題②			
13回	ブログについて学習①		ブログの作り方 WordPressについて 自分のブログ作成			
14回	ブログについて学習②		自分のブログ作成 広告について			
15回	振り返り		今まで学習した内容を復習します。			

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	観光科	
科目名	面接対策				クラス	K
担当講師(フルネーム)	山田邦幸				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	2021年度の求人状況に応じて試験直前の面接実技指導及び過去のデータ等を活用しあらゆる業界へ対応力を高める(求人環境激変に対応)				授業形態	講義
到達目標	企業が求める資質を習得して全員が希望する企業への就職することを目指す(就職率100%)					
使用テキスト	専門学校生のための就職内定基本テキスト・就職ノート・プリント(適宜授業内で配付・過去配付分も毎回持参)					
成績評価方法	平常点100% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		* 授業の進め方・評価方法について * 就職活動について(前年度&今年度の求人環境及び求人状況・過去のデータをベースにした企業リスト・就職室・就職閲覧室活用・求人情報サイト及び求人情報誌)			
2回	受験対策		* 就職活動について(前回の補足・学校の規則・手続き方法・提出書類等) * 2021年度の求人状況の説明・企業研究&書類作成等について			
3回	受験対策 (求人状況に応じて)		* 面接練習①(集団または個人・受験報告書&レジュメをベースに・各企業の求人状況に応じて受験直前対策) * 求人状況の説明・企業研究&書類作成等・必要に応じて小テスト(過去出題された一般常識・業界用語等)や就職閲覧室利用			
4回	受験対策 (求人状況に応じて)		* 面接練習②(集団または個人・受験報告書&レジュメをベースに・各企業の求人状況に応じて受験直前対策) * 求人状況の説明・企業研究&書類作成等・必要に応じて小テスト(過去出題された一般常識・業界用語等)や就職閲覧室利用			
5回	受験対策 (求人状況に応じて)		* 面接練習③(集団または個人・受験報告書&レジュメをベースに・各企業の求人状況に応じて受験直前対策) * 求人状況の説明・企業研究&書類作成等・必要に応じて小テスト(過去出題された一般常識・業界用語等)や就職閲覧室利用			
6回	受験対策 (求人状況に応じて)		* 面接練習④(集団または個人・受験報告書&レジュメをベースに・各企業の求人状況に応じて受験直前対策) * 求人状況の説明・企業研究&書類作成等・必要に応じて小テスト(過去出題された一般常識・業界用語等)や就職閲覧室利用 * 内定学生は就業に向けての準備(業界研究・業務知識の習得等)			
7回	受験対策 (求人状況に応じて)		* 面接練習⑤(集団または個人・受験報告書&レジュメをベースに・各企業の求人状況に応じて受験直前対策) * 求人状況の説明・企業研究&書類作成等・必要に応じて小テスト(過去出題された一般常識・業界用語等)や就職閲覧室利用 * 内定学生は就業に向けての準備(業界研究・業務知識の習得等)			
8回	受験対策 (求人状況に応じて)		* 面接練習⑥(集団または個人・受験報告書&レジュメをベースに・各企業の求人状況に応じて受験直前対策) * 求人状況の説明・企業研究&書類作成等・必要に応じて小テスト(過去出題された一般常識・業界用語等)や就職閲覧室利用 * 内定学生は就業に向けての準備(業界研究・業務知識の習得等)			
9回	受験対策 (求人状況に応じて)		* 面接練習⑦(集団または個人・受験報告書&レジュメをベースに・各企業の求人状況に応じて受験直前対策) * 求人状況の説明・企業研究&書類作成等・必要に応じて小テスト(過去出題された一般常識・業界用語等)や就職閲覧室利用 * 内定学生は就業に向けての準備(業界研究・業務知識の習得等)			
10回	受験対策 (求人状況に応じて)		* 面接練習⑧(集団または個人・受験報告書&レジュメをベースに・各企業の求人状況に応じて受験直前対策) * 求人状況の説明・企業研究&書類作成等・必要に応じて小テスト(過去出題された一般常識・業界用語等)や就職閲覧室利用 * 内定学生は就業に向けての準備(業界研究・業務知識の習得等)			
11回	受験対策 (求人状況に応じて)		* 面接練習⑨(集団または個人・受験報告書&レジュメをベースに・各企業の求人状況に応じて受験直前対策) * 求人状況の説明・企業研究&書類作成等・必要に応じて小テスト(過去出題された一般常識・業界用語等)や就職閲覧室利用 * 内定学生は就業に向けての準備(業界研究・業務知識の習得等)			
12回	受験対策 (求人状況に応じて)		* 面接練習⑩(集団または個人・受験報告書&レジュメをベースに・各企業の求人状況に応じて受験直前対策) * 求人状況の説明・企業研究&書類作成等・必要に応じて小テスト(過去出題された一般常識・業界用語等)や就職閲覧室利用 * 内定学生は就業に向けての準備(業界研究・業務知識の習得等)			
13回	受験対策 (求人状況に応じて)		* 面接練習⑪(集団または個人・受験報告書&レジュメをベースに・各企業の求人状況に応じて受験直前対策) * 求人状況の説明・企業研究&書類作成等・必要に応じて小テスト(過去出題された一般常識・業界用語等)や就職閲覧室利用 * 内定学生は就業に向けての準備(業界研究・業務知識の習得等)			
14回	受験対策 (求人状況に応じて)		* 面接練習⑫(集団または個人・受験報告書&レジュメをベースに・各企業の求人状況に応じて受験直前対策) * 求人状況の説明・企業研究&書類作成等・必要に応じて小テスト(過去出題された一般常識・業界用語等)や就職閲覧室利用 * 内定学生は就業に向けての準備(業界研究・業務知識の習得等)			
15回	まとめ		* 前期のまとめ・就業までの過ごし方 * 未内定学生の個別指導 * 内定学生は就業に向けての準備(業界研究・業務知識の習得等)&就業時の注意事項と心構え			

対象学年	1年	学期	通年	学科	鉄道科	
科目名	鉄道概論				クラス	N
担当講師(フルネーム)	花生義一				実務経験	有(鉄道業界勤務歴)
授業概要(内容)	鉄道運行に携わるフェールセーフについて学ぶ 鉄道保安装置の仕組みと役割を学ぶ				授業形態	講義 & 演習
到達目標	鉄道の安全にかかわる規定、用語、装置を知ることにより鉄道の安全を学ぶ					
使用テキスト	わかりやすい鉄道技術(1、2、3)、講師作成プリント					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		1.カリキュラムの説明 2.鉄道輸送を安全に運行するための必要条件を学び「安全」に対する意識を高める			
2回	鉄道の安全について①		1.鉄道営業法について学ぶ 2.安全規範に対する教育を実感する 3.安全意識を高める教育について			
3回	鉄道の安全について②		1.鉄道重大事故から学ぶ安全に対する取り組みを学ぶ 2.ATSの概要を学び、鉄道運行の維持に対する各社の取り組みを理解する 3.ATSの種類を学び、各種の役割と特徴を理解する			
4回	鉄道の安全について③		1.コンプライアンスの鉄道事故について 2.過去から学ぶ安全について知る 3.過去の事例研究を行い、鉄道の安全意識を高める			
5回	鉄道の安全について④		1.ヒューマンエラーについて学ぶ 2.規則違反と不安全行動について学ぶ 3.運転事故について学ぶ			
6回	鉄道の安全について⑤		1.ハインリッヒの法則から学ぶ事故防止 2.エラータイプチェックによる個人診断 3.ヒヤリ・ハットについて学ぶ			
7回	軌道①		1.軌道の概要を学び列車運行に対する安全対策を学ぶ 2.軌道の種類と使用目的の概要を知る 3.軌道設備の概要を知る			
8回	軌道②		1.レールの製造から設置までの説明 2.レール輸送の概要説明 3.レールの種類と使用概要を知り、鉄道輸送に対する安全性を知る			
9回	鉄道用語		1.鉄道に関わる用語を知り鉄道に対する意識を深める 2.鉄道用語の意味 3.異常時に使われる鉄道用語			
10回	鉄道保安装置①		1.鉄道保安装置概要 ・保安装置の種類を学ぶ ・保安装置の役割を学ぶ			
11回	鉄道保安装置②		1.鉄道保安装置の構造を学ぶ ・地上設備を学ぶ ・用語の意味を理解することにより保安装置の理解を深める			
12回	鉄道車両紹介		1.鉄道車両概要 ・鉄道車両に対した省令を知ることにより、規定内容を同時に知る ・車両接触限界・車両建築限界の把握をする			
13回	九州の私鉄①		1.九州の私鉄概要 ・各私鉄企業の車両設備等を知り、私鉄に対する知識を高める			
14回	期末試験対策		1.習熟度検査の実施 2.期末試験対策 ・習熟度を元に内容把握を行い、内容を深く身に付けさせる			
15回	前期のまとめ		1. 総まとめ、全体質疑 2. 期末試験対策			

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	鉄道科	
科目名	鉄道基礎				クラス	N
担当講師(フルネーム)	山田和久				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	鉄道業務の仕組みと専門用語の理解に努める。 鉄道係員に興味を持たせると共に、鉄道従事者としての心構えを伝える。				授業形態	講義
到達目標	鉄道の総合的な専門知識を習得及び、鉄道事業の仕組み(業務内容等)について学ぶ。					
使用テキスト	分かりやすい鉄道技術「土木編・電気編・運転編」					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	自己紹介 授業の目的・進め方・成績評価方法について理解する。 西鉄電車教習所について学ぶ。				
2回	鉄道法規	鉄道に關係する法律について学ぶ。 鉄道に關する技術上の基準を定める省令について知る。 運転安全規範 綱領・一般準則を知る。				
3回	鉄道係員への一歩	運転に關する規定とルールについて学ぶ。 運転關係係員の資格要件について学ぶ。 鉄道係員の心構えを理解させる。				
4回	鉄道用語の説明	基本的な鉄道の用語を知り専門用語が使えるようにする。 鉄道用語の意味を理解する。 運転安全規範 綱領・一般準則を復習する。				
5回	信号	鉄道信号の種類と方式について学ぶ。 常置信号機・臨時信号機の種類と役割について理解する。 手信号の種類と現示方式を知る。				
6回	合図	合図とは何かを考える。 合図の種類と役割を学ぶ。				
7回	標識	標識の必要性について考える。 標識の種類について学ぶ。				
8回	列車防護	列車防護の種類を理解する。 列車防護の種類を理解する。必要性を理解する。 列車防護を行なう場合、また省略出来るときや解除の方法を知る。				
9回	鉄道事故	過去の事故事例をDVDを活用し説明を行い職責の重大性を理解する。 事故原因を追究し事故防止の意識を深める。 グループ討議を行い要点の抽出を行う。				
10回	異常時の対策	気象予報警報・注意報のの発令基準を知る。 気象観測システム発令に伴う運行規制を知る。 事故災害等が発生した時の処置及び行動を考える。				
11回	鉄道設備名称	踏切警報装置・踏切遮断装置・電車線路の構造や線路、分岐器などについて学ぶ。 電気設備について学ぶ。 鉄道信号について振り返る。				
12回	運転保安装置	保安装置の種類について学ぶ。 ATS(自動列車致死装置)について学ぶ。 ATC(自動列車制御装置)について学ぶ。				
13回	作業安全	指差確認呼称の重要性について学ぶ。 安全の必要性について学ぶ。 事故とケガについて理解する。				
14回	気付き・ヒヤリハット・事故	ヒューマンエラーについて学ぶ。 言葉の意義を知る。 事故防止策について協議する。				
15回	前期まとめ	前期授業を振り返り 全体質疑を行う。 期末試験の対策				

対象学年	1年	学期	通年	学科	鉄道科	
科目名	鉄道係員				クラス	N
担当講師(フルネーム)	花生義一				実務経験	有(鉄道業界勤務歴)
授業概要(内容)	鉄道運行に携わる各係員の概要と鉄道運行の仕組みについて学ぶ 鉄道係員の役割と責任、心構えについて学ぶ				授業形態	講義&演習
到達目標	各鉄道係員の仕事内容を身に付け、目標とする職種の重要性を身に付ける					
使用テキスト	わかりやすい鉄道技術(1、2、3)、講師作成プリント					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	1.カリキュラムの説明 2.鉄道運行に関わる職種の分類と職務内容を学び、各係員の概要を習得する 3.鉄道営業法による各係員の職制について学ぶ				
2回	駅員の業務	1.駅の組織を学び駅員が鉄道運行に携わっている位置を学ぶ 2.駅業務の内容を把握し、簡単な業務内容を習得する 3.駅社員の1日の仕事について説明を行い、駅員の特徴を学ぶ				
3回	鉄道乗務員	1.乗務員の職責と使命について学び、各乗務員の特徴を把握する 2.各乗務員の乗務形態を各職種別に説明し把握する				
4回	運行の仕事(車掌)	1.運転係員、営業係員としての車掌業務の使命を学ぶ 2.車掌の運転取り扱い方説明(扉操作・乗車券発売・案内・車内秩序の保持)を行う 3.車掌が起こしやすい事故について説明を行い、安全運行を維持する条件を学ぶ				
5回	鉄道運転士への道	1.運転士の職責及び使命の説明を行い、列車運行に対する重要性を学ぶ 2.運転士国家試験における、各個人が持つべき項目を説明し、試験に対する意識を掴む 3.運転適性検査内容の説明により、運転士受験資格者の選出内容を知る				
6回	運転士養成のカリキュラムと国家試験	1.「動力車操縦者運転免許に関する省令」による受験資格を知る 2.一般的な学科講習科目内容と講習時間、技術講習科目内容と講習時間を学ぶ 3.国家試験実施内容、動力車操縦者養成所等の内容を把握する				
7回	動力車操縦者養成所	1.養成所(研修所、教習所)とは何かを説明し、運転士養成の実態を知る 2.会社内部の養成所の組織内容を知る 3.運転シミュレータ、CAI教材、その他教材を知り、運転士の重要な位置を学ぶ				
8回	鉄道運転士の使命	1.運転士が鉄道運行に対する省令を知り、更に重要な職責であることを知る 2.運転士としての心構えを学び、運転士の業務内容を把握する 3.運転士の1日の仕事内容を説明し、より深く運転士の仕事を学ぶ				
9回	鉄道運転士の事故について	1.事故の分類とそれに対する運転士の教育内容についてを学ぶ 2.事故の分析と原因を追究し、運転士に対し注意義務を学ぶ 3.運転士の事故防止対策内容を学び日々努力する内容を知る				
10回	運転区所の組織	1.習熟度確認を行い現在までの理解度を確認する 2.運転現場の社員の職責と使命を学び、運転士に対する影響を知る 3.運転士の教育、訓練の内容を学ぶ				
11回	鉄道乗務員	1.乗務員の放送一般 ・乗務員のお客さまに対する案内放送の意義と相対的な放送内容の習得を行い実施する ・各場面でのお客さま対応能力を身に付け、基本的な放送を身に付ける				
12回	鉄道運行に関わる係員①	1.司令について学ぶ ・各指令の種類と役割を学び、指令の重要性を知る ・鉄道運行の安全確保に対しに指令の役割が生かされているかを学ぶ				
13回	鉄道ダイヤに関わる係員②	1.ダイヤグラム作成に関わる係員を学ぶ ・鉄道ダイヤ作成時の注意点(お客さまの利用しやすいダイヤ)とダイヤグラムの関係を学び、時刻表がどのような工程で出来上がるかを学ぶ				
14回	期末試験対策	1.ダイヤグラムを把握する ・ダイヤグラムの見方を学び、実際にダイヤグラムの作成を行い、ダイヤの知識を深める ・各駅のダイヤがどのように抗されるかを学び、駅作業の重要性を学ぶ				
15回	前期のまとめ	1. 総まとめ、全体質疑 2. 期末試験対策				

対象学年	1年	学期	通年	学科	鉄道科	
科目名	就職活動講座				クラス	N
担当講師(フルネーム)	三石佳代子				実務経験	有(鉄道業界勤務歴)
授業概要(内容)	自己分析を行い、自分の強みを知る。 鉄道業界を知るため講師の経験を伝える。				授業形態	講義
到達目標	鉄道業界に絡めた自己分析をし自己PRと志望動機等を作成、前期終了時には自信をもって自分の強みを相手に伝えることができるような人物になることを目指す。					
使用テキスト	・専門学校生のための就職内定基本テキスト ・就職ノート ・鉄道業界大研究 ・講師作成プリント					
成績評価方法	・課題点100%(ただし、平常点も含む) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数
期末試験	× 期末試験なし					2
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	講師自己紹介、学生自己紹介(志望先、授業に望むこと等) 授業の進め方の説明				
2回	講師JR九州での経験①	工場検査係、運転士養成講座、運転士見習い、国家試験合格まで				
3回	講師JR九州での経験②	本務運転士、運用指令、育児休業、支社運輸総務担当、研修センター講師				
4回	就職活動の流れ	就職室の利用方法 IBCでの就職活動ルール				
5回	自己分析①	自分自身をどれだけわかっているか 自分のライフスタイルを振り返り、将来の夢や目標を明確にする 自己分析の意義を知り、過去・現在の自分を掘り起こしながら自分史を作成する				
6回	自己分析②	自分史、自己分析シートから、自分自身の強み・弱みを明確にする				
7回	他己分析	クラスメイトとグループワークをし、客観的に自身の性格を把握する				
8回	自己分析③	自己分析まとめ				
9回	自己PR作成①	自己分析、他己分析からPRできるものをピックアップして、肉付けする 企業でどう活かすのかを考え文章にする				
10回	自己PR作成②	300字程度で書いてみよう 自分自身の強み、長所短所について				
11回	職種研究 乗務員 (運転士・車掌)	運転士・車掌の仕事の概略を学び、なりたい職種にどのような力が必要かを知り 志望動機につなげる				
12回	職種研究 (駅員・パーサー)	駅員・パーサーの仕事の概略を学び、なりたい職種にどのような力が必要かを知り 志望動機につなげる				
13回	志望動機の作り方 (鉄道業界編)	個人別志望動機を自己分析から抽出する 鉄道業界の求める人物像と自分の強みをどのように関連付けて表現するか 志望と根拠の確認				
14回	志望動機の作成 (鉄道業界編)	300字以内で書いてみよう				
15回	前期の振り返り	自分自身をどれだけ知ることができたかを確認する 前期のまとめ				

対象学年	1年	学期	通年	学科	鉄道科	
科目名	コミュニケーションイングリッシュ				クラス	N
担当講師(フルネーム)	Geoffrey Wolfson, Guzman Carlos				実務経験	無
授業概要(内容)	Doing self introductions. Making various presentations about oneself. Asking and answering various questions with a partner. Practicing role plays. Understanding various culture points.				授業形態	講義
到達目標	To improve students' fluency and ability to use simple English at work and socially. To raise their confidence levels using simple English by creating more opportunities for the students to speak.					
使用テキスト	Challenge book #4、Warm-up Booklet 2、Vocabulary Book (Noun)、接客英会話交通編					
成績評価方法	・期末試験50% 平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	Orientation Warm Up: P1, Vocabulary: P1 Challenge Book: P7-8 Transportation Dialog: 1		Orientation: Explanation about Class rules Presentation and Q&A: Beginner's Test, Self-introduction Nouns starting with A, Transportation Handbook p12, Unit 1 & 2			
2回	Warm Up: P1, Vocabulary: P1 Challenge Book: P7-8 Transportation Dialog: 1		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation and Q&A: Beginner's Test, Self-introduction Sentences using nouns starting with A, Transportation Handbook p12, Unit 1 & 2			
3回	Warm Up: P1, Vocabulary: P2 Challenge Book: P9 Transportation Dialog: 2		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Personal Information Nouns starting with B, Transportation Handbook p12, Unit 3 & 4			
4回	Warm Up: P2, Vocabulary: P2 Challenge Book: P9 Transportation Dialog: 2		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Personal Information Sentences using nouns starting with B, Transportation Handbook p12, Unit 3 & 4			
5回	Warm Up: P2, Vocabulary: P3 Challenge Book: P10 Transportation Dialog: 3		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: Introducing a Friend Nouns starting with C, Transportation Handbook p12, Unit 5 & 6			
6回	Warm Up: P2, Vocabulary: P3 Challenge Book: P10 Transportation Dialog: 3		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: Introducing a Friend Sentences using nouns starting with C, Transportation Handbook p13, Unit 5 & 6			
7回	Warm Up: P3, Vocabulary: P4 Challenge Book: P11 Transportation Dialog: 4		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Family Test Nouns starting with D, Transportation Handbook p13, Unit 7 & 8			
8回	Warm Up: P3, Vocabulary: P4 Challenge Book: P11 Transportation Dialog: 4		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Family Test Sentences using nouns starting with D, Transportation Handbook p13, Unit 7 & 8			
9回	Warm Up: P3, Vocabulary: P5 Challenge Book: P12 Transportation Dialog: 5		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Family Presentation Nouns starting with E, Transportation Handbook p13, Unit 9 & 10			
10回	Warm Up: P4, Vocabulary: P5 Challenge Book: P12 Transportation Dialog: 5		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Family Presentation Sentences using nouns starting with E, Transportation Handbook p13, Unit 9 & 10			
11回	Warm Up: P4, Vocabulary: P6 Challenge Book: P13 Transportation Dialog: 6		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Sports Interview Nouns starting with F, Transportation Handbook p12-13, Unit 11 & 12			
12回	Warm Up: P4, Vocabulary: P6 Challenge Book: P13 Transportation Dialog: 6		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Sports Interview Sentences using nouns starting with F, Transportation Handbook p12-13, Unit 11 & 12			
13回	Warm Up: P5, Vocabulary: P7 Challenge Book: P14 Transportation Dialog: 7		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Favorite Sport Nouns starting with G, Transportation Handbook p12-13, Unit 13 & 14			
14回	Warm Up: P5, Vocabulary: P7 Challenge Book: P14 Transportation Dialog: 7, Test		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Favorite Sport Sentences using nouns starting with G, Transportation Handbook p12-13, Unit 13 & 14			
15回	Warm Up: P5, Vocabulary: P8 Challenge Book: P15 Transportation Dialog: 8, Test		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Cuisine Interview Nouns starting with H, Transportation Handbook p12-13, Unit 15 & 16			

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	鉄道科	
科目名	就職筆記対策 I				クラス	N
担当講師(フルネーム)	北村正雄				実務経験	無
授業概要(内容)	就職筆記対策 I の授業は週に1回なので、鉄道系企業の過去問を中心に問題が予想される問題をできるだけわかりやすく講義します。この科目は予習よりも復習に力を入れてください。SPI能力検査試験に合格しなければ面接には進めません。キツイけど一緒に頑張りましょう。				授業形態	講義
到達目標	鉄道系などの企業の就職試験に合格するのに必要な言語分野(国語社会英語)の学力を修得することが出来ます。					
使用テキスト	SPI基本問題集 大和書房					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	国語分野①		SPI言語分野は独特の設問形式・二語の関係①類似語関係(熟読・通読・精読、啓発・啓蒙・開発、歴然・当然・泰然・明白、性急・短慮・緊急・短気)反対語関係(理論・実技・実践・実態、挫折・努力・貫徹・絶望、多弁・能弁・毒舌・寡黙)			
2回	国語分野②		SPI言語分野は独特の設問形式・二語の関係②原料と製品 人とその役目 原因と結果 対義語 目的と手段 など			
3回	国語分野③		プリントA 俳句 和歌 短歌 体の一部・動植物をつかったことわざ 有名な一節で始まる文学作品 歴史書(春はあけぼの、いずれの御時にか ゆく川の流れば絶えずして 月は百代の過客にして)			
4回	国語分野④		プリントB 難しい漢字(植物 動物 あじさい くるみ やし さざんか) 違いやすい漢字の意味、読み方、書き方(やぶさかでない ぞっとしない 気が置けない等)			
5回	国語分野⑤		Aプリント四字熟語①あ行～か行(合縁奇縁、曖昧模糊、悪逆無道、悪戦苦闘、阿鼻叫喚、曖昧模糊、暗中摸索い・唯々諾々、意気消沈、意気揚々、異口同声、以心伝心、意気揚々、一日千秋、一汁一菜、一陽来復、一騎当千)			
6回	国語分野⑥		Aプリント四字熟語②あ行～か行(右顧左盼、有象無象、紆余曲折) え・(栄枯盛衰、会者定離、遠交近攻、お・(岡目八目、温故知新)か・(偕老同穴、隔靴搔痒、画竜点睛、夏炉冬扇、汗牛充棟、換骨奪胎、閑話休題)			
7回	国語分野⑦		Aプリント四字熟語③か行～な行(氣宇壮大、危機一髪、疑心暗鬼、喜怒哀楽、仰天動地、興味津津、虚々実々、玉石混交、曲学阿世、毀譽褒貶、金科玉条、狂喜乱舞、虚心坦懷、行住坐臥、喜色満面、欣喜雀躍) く・(空前絶後、空即是色、群雄割拠)			
8回	国語分野⑧		四字熟語ひらがなを漢字変換④(さんかんしおんさんばいきゅうはい じがじさん しこうさくご じごうじとく しぜんとうた じぼうじき しゅうじんかんし しゅちにくりん ほか)			
9回	国語分野⑨		四字熟語ひらがなを漢字変換⑤(せいこうどうく せつさくたふ せんがくひさい ぜったいぜつめい せんべん いちりつ せんべんばんか そっせんすいはん そせいらんぞう ほか)			
10回	国語分野⑩国文法		最近の傾向 文法格助詞(で・に・が・の・は他) 助動詞れる・られる そうだの意味の違いを選択させる問題(例で原因 材料 限界 一緒 場所) 説明文や語句意味から当てはまる熟語を選択する問題(働かないで遊び暮らす＝徒食 ゆらゆら揺れ動く＝たゆたう はっきり見てとれる＝歴々 のんびりして静かなさま＝安閑など)			
11回	構造的把握力検査		最新問題 構造的把握力検査 文の構造が似ている長文の選択問題 テストセンターに出題されるので絶対に慣れておく必要があります。			
12回	国語分野⑪		長文の要旨 文書の並び替え 長文の一部欠落部分の補充など最新の傾向問題			
13回	社会 政治①		人権の体系 人権の種類② 社会権(生存権・教育権・労働基本権) 新しい人権(環境権・プライバシー権ほか) 国会の仕事(立法権・総理大臣指名権・予算条約承認権 立法権 司法権 行政権の意味 Jロックスの二権分立とモンテスキューの三権分立の意味とその目的)			
14回	社会 政治②		東京都営地下鉄、福岡市鹿児島市熊本市の交通局の採用試験問題(政治分野の過去問) 外国人の意味・外国人に認められる人権 参政権の問題			
15回	国語・社会分野の総まとめ		国語分野 二語の関係性(原因・結果 材料・製品 手段・目的など) 重要四字熟語 文法 JR各社 南国交通の採用試験過去問(同音異義語) 社会分野 JR各社の社会分野の過去問 人権の区分 労働三権 国民の三大義務 労働三法			

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	鉄道科	
科目名	就職筆記対策Ⅱ				クラス	N
担当講師(フルネーム)	北村正雄				実務経験	無
授業概要(内容)	数学の授業は週に1回なので、鉄道系企業の過去問を中心に問題が予想される問題をできるだけわかりやすく講義します。この科目は予習よりも復習に力を入れてください。SPI能力検査試験に合格しなければ面接には進めません。キツイけど一緒に頑張りましょう。				授業形態	講義
到達目標	鉄道系などの企業の就職試験に合格するのに必要な非言語分野の学力を修得することが出来ます。					
使用テキスト	SPI基本問題集 大和書房					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション・基礎事項の確認	講義指針、内容などに関する事項 各業界の採用試験形式と最近の試験傾向 SPIなどは公務員試験に採用されている数的推理・判断推理に似ています。できるだけ方程式を使わずに問題を処理する能力が要求されます。特に最近の推論という分野は、問題文を見て論理的な思考を用いてその場で解答を導きます。数学ができるからと言っても、推論が解けるとは限りません。逆に数学ができなくても推論は解けます。問題が発生したとき、その場で考えて問題を推理論理的に処理する能力があればそれでいいのです。数学苦手な人も自信を持ってください。				
2回	鶴亀算1連立方程式	約1300年前の奈良時代に中国から伝わった考え方。鶴と亀が合わせて20匹(羽) 鶴と亀合わせた足の数は70本 鶴と亀はそれぞれ何匹? 大人料金1300円子供料金600円 消しゴム35円鉛筆60円など。鶴亀算の出題率は非言語のベスト5に入ります。最近のテストセンターでは、鶴亀算が働く条件も出題されています。連立方程式を使って解くのが一般的ですが、自分の解きやすい解き方で解いて短時間で正解にたどり着ければそれでよい。				
3回	鶴亀算2連立方程式賠償算	約1300年前の奈良時代に中国から伝わった考え方。鶴と亀が合わせて20匹(羽) 鶴と亀合わせた足の数は70本 鶴と亀はそれぞれ何匹? HONDAのバイクとヨタの車が合わせて20台あります。バイクと車のタイヤの数を数えたら64本ありました。バイクと車はそれぞれ何台ありますか? ある仕事をするのに、商品1個を仕上げると、1500円のバイト料がもらえる。商品を壊してしまうと、商品1個につきバイト料はもらえないどころか、1個につき2000円弁償しなければならぬ。バイトの学生が20個仕上げて、バイト料16000円をもらった。この学生は商品を何個壊しましたが。				
4回	速さ・時間・距離 1 旅人算	この問題は旅人算・追いつけ算・出会い算と呼ばれています。この分野もほとんどすべての試験形式で、出題されます。距離と時間と速さの関係性がポイントです。速さとかかる時間が逆比の関係性にあることがキモです。実際の入社試験の過去問を解いていきましょう。有名な問題は、Aが分速60mで寮から駅に向かって信号機のない直線道路歩き始めた。その15分後、Bが分速80mで追いつけた。Bは何分後寮から何mの地点でAに追いつけますか? また鉄橋通過算もあります。時速と列車と鉄橋の長さが与えられている場合、列車がこの鉄橋を通過するのに何秒かかりますか? ポイントは時速を秒速に変換する点です。				
5回	速さ・時間・距離 2 旅人算と流水算	この問題は旅人算・追いつけ算・出会い算と呼ばれています。 出会い算とは、寮から勤務のホテルまで、信号機なしの直線道路で、17km離れています。Aが寮から勤務先のホテルに出勤するため、午前8時に自転車で時速時速7kmで向かいました。他方勤務明けのBは寮に戻るため、バイクで、午前8時に時速21kmでホテルを出発しました。AとBは何時何分に寮から何m? ホテルから何mの地点で出会いますか? 流水算とは、川の上流A地点と、川の下流のB地点を船で往復する場合の、静水時の船の速さや、川の流れの速さを求める問題です。				
6回	食塩水の濃度1	SPI・SCOAの分野で最重要の問題 出題率の2トップのうちのひとつです。毎年航空・旅行・ホテルなどの企業で出題されています。食塩水の問題の正体をあばいてみせます。なぜ出題頻度が高いのか? 食塩水の問題は数学的思考を見るのに適しているからだと思います。 実際、鉄道の駅 ホテル、空港、プライダル式場で、濃度7%の食塩水100g下さいと言われることはないと思います。①食塩水Aに、食塩を混ぜて、できた食塩水Bの濃度は何%? ②濃度の異なる食塩水Aと食塩水Bを混ぜ合わせた時に出来る食塩水の濃度は何%?				
7回	食塩水の濃度2	SPI・SCOAの分野で最重要の問題 出題率の2トップのうちのひとつです。毎年航空・旅行・ホテルなどの企業で出題されています。食塩水の問題の正体をあばいてみせます。なぜ出題頻度が高いのか? 食塩水の問題は数学的思考を見るのに適しているからだと思います。 実際、ホテル、空港、プライダル式場で、濃度7%の食塩水100g下さいと言われることはないと思います。③食塩水Aに水または食塩を混ぜて、食塩水Bを作るには水、または食塩を何g加えるといですか? ④食塩水A(濃度13%重さ270g)を煮沸して出来合した食塩水B(重さ190g)の濃度は? 煮沸して、蒸発するのは水だけがポイント				
8回	年齢算	年齢算の正体を明らかにします。年齢算にはいろいろな解き方があります。自分の解きやすい解き方で解いて構いません。大切なことは早く、正確に正解することです。SPI非言語は小学校高学年の文章題で学習した内容が非常に多いです。小学校で習ったから、簡単ではありませんよ。中学・高校の数学のほうが問題によっては簡単なケースがたくさんあります。 SPI非言語と数学は必ずしも同じではありません。それが数学と言わずに、SPI非言語と命名されている理由だと思います。				
9回	比と割合 玉手箱(計数理解)	割合の考え方を基本に問題演習を実践します 割り引・割り増しの考え方を理解できるようにします。この理解は損益算につながっていきます。また比の問題はいろいろな形でよく出題されます。例えばバラが全部で90本 赤バラと白バラの日が6:3の時赤バラをさらに30本増やしたとき赤バラと白バラの比率は何:何になりますか? 比の問題のポイントは比の差と比の和です。SPI・3でも頻出分野です。玉手箱は計数理解という簡単な方程式を使った問題が50問 1問平均8秒以内まさに時間との闘い。				
10回	確率1 Probability	確率は必ず出題されます。絶対に理解しておきましょう。 確率については最大が1です。100%でも10割でもかまいません。 公式は $0 < P < 1$ Probability 試験のポイントは(少なくとも)余事象の理解です。余事象の場合、解答欄の選択肢は、必ず【1－分數】を選択することになります。とても大事なので1年後期でも学習します。ある日のホテルの宿泊客35名。内訳は男性は21名女性14名。翌朝2人がチェックアウトしました。①チェックアウトした二人が二人とも女性だった確率は? ②二人のうち少なくとも一人が女性だった確率は?				
11回	順列1 Permutation	順列の基本的な考えは難しくありません。小学校中学校の時に理解できていない学生もたくさんいます。もう一度じっくり考えてみると必ず理解できます。 公式は、 $nPr = \frac{n!}{(n-r)!}$ $P = \text{permutation} = \text{順列}$ n は全体の数字 r は n 個(人)の中から取り出して並べた時の数です。公式に当てはめるだけです絶対落とせません。 順列も1年後期でさらに難しい問題に挑戦します。 SPI・31になってから、重複順列・円順列も出題されています。数珠順列は出題されていません				
12回	組み合わせ1 Combination	順列が理解できないと組合せは理解できません。順列ではABC ACB BAC BCA CAB CBAはすべて別と考えます。つまり並び方が違うと別物と考えます。組合せは列(並び方)ではなく、中身・内容で考えるので、ABC～CBAまで全て同じと考えます。つまり組み合わせとしては、1個です。 公式 $nCr = \frac{n!}{r!(n-r)!}$ $C = \text{Combination}$ 公式の意味も理解しましょう。 組み合わせも1年後期でさらに難しい問題に挑戦します。				
13回	仕事算1	仕事算の意味はある人、ある機械が一日又は一時間一時間当たりどれだけの仕事をするかの問題 仕事算の基本問題・公式①一日(一時間)当たりの仕事量＝1÷かかった日数(時数分秒数) Aがホテルのある業務21日かけて完了した。Aの一日当たりの仕事量は21分の1 数学では全体を1とする場合がとて多い。この場合の1(いち)はoneではなく、allの意味です。日本語としても、いち=allの意味に使われています。詳しくは講義の中で。				
14回	仕事算2 暗号問題	仕事算の応用問題 A一人だと27日(27時間)、B一人だと33日(33時間)、C一人では40日(40時間)かかる仕事をABCの3人ですると何日(何時間)で終わるか? ABC3人で二日間仕事をしたが、Aが途中でサボった為BC二人で残りの仕事をした場合最初から数えて何日(何時間)に完了する? など 暗号問題は公務員採用試験には出題されていますが、従来SPI・2には出題、されていませんでした。SPI・3には暗号問題があります。知能検査みたいな問題で、センスがためされます。何問かチャレンジしましょう。頭の柔らかさとセンスがためされます。				
15回	前期学習の総まとめ	鶴亀算 速さ・時間・距離 食塩水の濃度 確率 順列 組み合わせ 玉手箱の計数処理 と 後期学習の最重要分野の推論について				

対象学年	1年	学期	通年	学科	鉄道科	
科目名	時刻表				クラス	N
担当講師(フルネーム)	花生義一				実務経験	有(鉄道業界勤務歴)
授業概要(内容)	JR時刻表をスムーズに使用し、お客さま案内に必要な知識を確実に取得する JR時刻表を使用して、旅行プランを計画する				授業形態	講義＆演習
到達目標	駅案内に必要な能力を身に付け、駅業務に必要な旅行プラン作成能力を身に付ける					
使用テキスト	JR時刻表、講師作成プリント					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション時刻表の基礎	1. 年間を通しての授業の進め方と評価方法を周知させ、授業に取り組む姿勢を学ぶ 2. 各ページの役割と内容を把握し、時刻表に対する興味を持たせる 3. 時刻表に記載している記号の把握を行い、より早く時刻表に慣れるようにする				
2回	時刻表の使い方基礎	1. 時刻表の便利な使い方を周知させ、項目による必要条件を覚える 2. 時刻の探し方・列車の種類と記号・注意点を学ぶことにより、時刻表の特性を身に付ける 3. 列車番号による種別(臨時列車、指定日運用列車等)の見分け方と条件を学ぶ				
3回	鉄道地図の見方	1. 鉄道地図の見方を周知し、各駅の検索作業を身に付ける 2. JRと私鉄・バス・航空・観光地等を索引から見つけ出す知識を身に付ける 3. 運賃、列車探索、線区別の必要条件を学ぶ				
4回	時刻表をひく①	1. 新幹線の索引知識を身に付け、目的地に合った列車を確認する 2. 新幹線と特急の索引方法で、違いを理解することにより、鉄道知識が高まる各特急列車の座席の種類を把握し プランニング作業に生かす				
5回	時刻表を引く②	1. 在来線の索引訓練を行い、プランに合った列車を見つけ出す 2. バス路線の索引方法を訓練し、バス旅行に必要な知識を身に付ける 3. バスの時刻確認方法、使用条件等を学ぶ				
6回	時刻表を引く③	1. 船旅行に必要な索引訓練を行い、必要条件を身に付ける 2. 旅客機を使用した旅行に対する索引訓練を行い、必要条件を身に付ける 3. 見積書作成時に必要な記号、適切な記入方説明				
7回	時刻表を引く④	1. 各旅客手段からの乗換条件を周知し、旅行プランニングに必要な条件を身に付ける 2. 各種、切符類の把握及びお得な条件等を学び、旅行プランニングの訓練を行う 3. 見積書記入訓練を行い、プランニングに必要な条件を身に付ける				
8回	プランニング訓練①	1. 時刻表を用いて、鉄道の課題に沿った訓練を行い、時刻表の使用条件を身に付ける 2. 九州各都市の目的地、関西各都市の目的地、中部各都市の目的地、関東各都市の目的地、東北各都市の目的地 北海道各都市の目的地に鉄道を利用して行く方法				
9回	プランニング訓練②	1. 時刻表を用いて、鉄道の課題に沿った訓練を行い、時刻表の使用条件を身に付ける 2. 九州各都市の目的地、関西各都市の目的地、中部各都市の目的地、関東各都市の目的地、東北各都市の目的地 北海道各都市の目的地に鉄道を利用して行く方法				
10回	プランニング訓練③	1. 時刻表を用いて、鉄道の課題に沿った訓練を行い、時刻表の使用条件を身に付ける 2. 九州各都市の目的地、関西各都市の目的地、中部各都市の目的地、関東各都市の目的地、東北各都市の目的地 北海道各都市の目的地に鉄道を利用して行く方法				
11回	JRの営業案内	1. 旅行業の窓口訓練を行い、必要条件を身に付け実践に役立たせる 2. 時刻表から学ぶ各鉄道会社の特徴を把握す 3. 習熟度確認を行い理解度を把握する				
12回	時刻表の早見法まとめ	1. 時刻表の便利な使い方を再周知する 2. 各ページの役割と内容再周知 3. 理解度調査による再認識を行い時刻表の見方を訓練する				
13回	便利な切符	1. 全国各社発売の各種切符を学び、特徴を把握する ・切符の取り扱いを把握する				
14回	プラン作成①	1.見積書作成時の注意点 ・各種記号の把握によりお客さまに対し確認しやすいものを作る ・その他、見積及び契約時の注意点把握(必要最低限に把握する事項等)				
15回	まとめ	1. 前期のまとめと期末試験対策 2. 駅員と時刻表の繋がり説明 3. 1日で行けるプランニング作業を行い、乗車距離の把握と条件を身に付ける				

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	鉄道科	
科目名	交通論				クラス	N
担当講師(フルネーム)	西 政明(マック24)				実務経験	有
授業概要(内容)	交通に関する基礎知識を習得するとともに、特に鉄道事業を中心に、業界の運営状況、経営課題等を学ぶ。				授業形態	講義
到達目標	鉄道及びその付帯事業等の従事員となるための基本的資質の養成・向上を図る。					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		シラバス、講義の進め方等の説明 交通論を学ぶ、意義・目的、基礎用語を学ぶ 交通関連トピックスの解説			
2回	交通基礎理論		交通の定義とは 交通関連トピックスの解説			
3回	〃		交通の意義とは 交通関連トピックスの解説			
4回	交通のビジネスモデル		交通と経済を学ぶ 機関別ビジネスモデルを学ぶ(鉄道) 交通関連トピックスの解説			
5回	〃		機関別ビジネスモデルを学ぶ(航空機) 交通関連トピックスの解説			
6回	〃		機関別ビジネスモデルを学ぶ(船、その他) 交通関連トピックスの解説			
7回	交通政策史(戦前)		鉄道関連の政策史を学ぶ 交通関連トピックスの解説			
8回	交通政策史(戦後)		鉄道及び陸運事業の政策史を学ぶ 交通関連トピックスの解説			
9回	〃		航空事業の政策史を学ぶ 交通関連トピックスの解説			
10回	〃		海運事業の政策史を学ぶ 交通関連トピックスの解説			
11回	現代鉄道の概要		日本の鉄道史を学ぶ 都市鉄道の経営戦略を学ぶ 交通関連トピックスの解説			
12回	〃		地方鉄道の現状と経営を学ぶ 交通関連トピックスの解説			
13回	〃		都市型交通システムを学ぶ 交通関連トピックスの解説			
14回	〃		九州の鉄道の現状と課題を学ぶ 交通関連トピックスの解説			
15回	まとめ		まとめ・振り返りと要点整理 期末試験対策			

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	鉄道科	
科目名	旅行管理者対策(法令)				クラス	N
担当講師(フルネーム)	佐藤大幸				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	旅行業実務シリーズ(JTB総合研究所 著)を読解・ポイント解説。				授業形態	講義
到達目標	「国内旅行業務取扱管理者」試験の合格					
使用テキスト	旅行業実務シリーズ(JTB総合研究所 著) 旅行業法・過去問・プリント					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	旅行業務取扱管理者 概要	・授業の進め方、授業中の注意点を伝達 ・国家試験の概要、学習方法を理解する ・業法/約款の法律用語等、条文の見方を理解する				
2回	総則	・旅行業の目的を理解する ・旅行業の定義(第1条～2条)を理解する				
3回	総則	・代理、媒介、取次、利用 の違いを理解する ・旅行業と旅行業代理業 との内容を理解する ・旅行の形態を理解する				
4回	旅行業等 I	・登録制度、旅行業の種類と業務の範囲(第3条～5条)を理解する ・旅行業法施行規則(第1～4条)を理解する				
5回	旅行業等 II	・登録の拒否を理解する ・有効期限、更新、変更(第6条2～4)を理解する ・旅行業法施行規則(第4条～5条)を理解する				
6回	予備日/小テスト	・知識定着の確認をする				
7回	営業保証金制度 I	・営業保証金の供託とその額(第7条～8条)を理解する				
8回	営業保証金制度 II	・営業保証金の追加供託、取戻し、保管替え等(第9条)を理解する ・取引額の報告(第10条)を理解する				
9回	旅行業務取扱管理者	・旅程管理(第12条10～11)を理解する ・取扱管理者の選任、証明書の提示等(第11条～12条5の2)を理解する ・取扱管理者の職務(施行規則第10条)を理解する				
10回	取扱料金、旅行業約款	・取扱料金の揭示(第12条)を理解する ・旅行業約款(第12条の2)、標準旅行業約款(第12条の5の2)を理解する ・取扱管理者の職務(施行規則第10条)を理解する				
11回	取引条件の説明 書面の交付	・取引条件の説明、書面の交付(第12条の4～5)を理解する ・共同規則(8条～9条)を理解する				
12回	予備日/小テスト	・知識定着の確認をする				
13回	広告 禁止行為	・受託契約(第14条の2) ・外務員証の携帯(第12条の6)を理解する ・企画旅行の広告(第12条の7)、誇大広告の禁止(第12条の8)、共同規則(12条～14条)を理解する ・禁止行為、名義利用の禁止(第13条～14条)を理解する				
14回	旅行業協会制度	・旅行業協会の法定業務を理解する ・弁済業務保証金制度(第22条の2～15)を理解する				
15回	予備日/小テスト	・知識定着の確認をする				

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	鉄道科	
科目名	旅行管理者対策(約款)				クラス	N
担当講師(フルネーム)	佐藤大幸				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	旅行業実務シリーズ(JTB総合研究所 著)を読解・ポイント解説。				授業形態	講義
到達目標	「国内旅行業務取扱管理者」試験の合格					
使用テキスト	旅行業実務シリーズ(JTB総合研究所 著) 旅行業約款/運送/宿泊約款・過去問・プリント					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	募集型企画旅行 I		・総則(定義、契約の内容)を理解する ・手配代行者を理解する ・契約の締結を理解する			
2回	募集型企画旅行 II		・契約の変更を理解する			
3回	募集型企画旅行 III		・契約の解除を理解する			
4回	募集型企画旅行 IV		・団体、グループ契約を理解する ・旅程管理を理解する ・責任を理解する			
5回	募集型企画旅行 V		・旅程保証を理解する ・変更補償金を理解する			
6回	特別補償規定 I		・補償均等の支払い(責任、定義)を理解する ・補償金を支払わない場合を理解する ・補償金等の種類および支払額を理解する			
7回	特別補償規定 II		・補償金等(身体の障害)と損害補償金(携帯品)を理解する ・携帯品損害補償金の支払いを理解する			
8回	受注型企画旅行		・募集型企画旅行との相違点を理解する ・総則(定義、契約の内容)・手配代行者・契約の締結を理解する ・契約の変更・契約の解除を理解する			
9回	手配旅行		・企画旅行契約との相違点を理解する ・総則・契約の成立・契約の変更および解除を理解する ・旅行代金・団体、グループ手配・責任を理解する			
10回	旅行相談契約 渡航手続き代行契約		・契約の内容を理解する ・責任を理解する			
11回	モデル宿泊約款		・モデル宿泊約款を理解する			
12回	国内航空運送約款		・国内航空運送約款を理解する			
13回	貸切バス約款 フェリー約款		・貸切バス約款を理解する ・フェリー約款を理解する			
14回	JR営業規則		・JR営業規則を理解する			
15回	予備日/小テスト		・知識定着の確認をする			

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	鉄道科	
科目名	旅行管理者対策(運賃料金)				クラス	Nクラス
担当講師(フルネーム)	友納真				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	旅行業務取扱管理者の国内実務の各種・運賃料金について講義				授業形態	講義
到達目標	旅行業務取扱管理者の合格を目指すとともに、JR・航空について知識を深める					
使用テキスト	国内運賃・料金／JR時刻表					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30%(小テスト含む) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	旅客鉄道会社(JR)①		旅客鉄道会社(JR)とは 旅客営業規則・JR6社・JR各社路線図 乗車券類販売の概要・年齢区分・運賃と料金の違い			
2回	旅客鉄道会社(JR)②		運賃① 運賃計算の原則・普通乗車券の種類			
3回	旅客鉄道会社(JR)③		運賃② 加算額・連絡運輸会社の取扱い・特例			
4回	旅客鉄道会社(JR)④		運賃③ 普通乗車券の効力 運賃の割引			
5回	旅客鉄道会社(JR)⑤		料金① 料金計算の種類と基本			
6回	旅客鉄道会社(JR)⑥		料金② 新幹線内乗継・乗継割引			
7回	旅客鉄道会社(JR)⑦		料金③ 山形新幹線と秋田新幹線の取扱い			
8回	旅客鉄道会社(JR)⑧		料金④ 新幹線の相互間を利用する場合の取扱い			
9回	旅客鉄道会社(JR)⑨		変更・取り消し・払い戻し			
10回	旅客鉄道会社(JR)⑩		普通回数乗車券の取扱い 団体乗車券の取扱い			
11回	旅客鉄道会社(JR)⑪		特別乗車券の取扱い			
12回	航空①		国内航空 航空券発売の概要(航空会社・空港コード・予約開始日／発売日・購入期限・有効期間 予約時の注意事項・運賃の種類)			
13回	航空②		運賃・料金 変更・取り消し・払い戻し			
14回	貸切バス・フェリー・宿泊		貸切バスの運賃・料金／フェリーの運賃・料金 宿泊料金・変更・取り消し・払い戻し			
15回	まとめ		前期授業のまとめ 期末試験・夏の強化セミナーにむけての対策			

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	鉄道科	
科目名	国内観光地理 I				クラス	Nクラス
担当講師(フルネーム)	山本真美				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	カテゴリー別に観光資源を学ぶ 各都道府県の観光資源(観光地、温泉、祭り、名産品など)を学ぶ				授業形態	講義
到達目標	国内観光資源全般の知識を増やす。国内・地理検定(中級)/ 国内旅行業務取扱管理者試験の合格を目指す					
使用テキスト	旅に出たくなる地図、国内観光資源、国内観光地理サブノート					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	旅行地理検定対策		1. 山岳 2. 峠・峡谷・渓谷 テキスト、プリントのキーワードをチェック			
2回	旅行地理検定対策		小テスト 7. 岬・半島 8. 海岸・砂丘 テキスト、プリントのキーワードをチェック			
3回	旅行地理検定対策		小テスト 11. 神社 12. 寺院 21. 城・城跡 テキスト、プリントのキーワードをチェック			
4回	旅行地理検定対策		小テスト 温泉(東日本) テキスト、プリントのキーワードをチェック			
5回	旅行地理検定対策		小テスト 23. 日本の世界遺産 25. 国立公園 テキスト、プリントのキーワードをチェック			
6回	過去問を解く		過去問題(45分) 自己採点、間違った箇所を覚える			
7回	過去問を解く		過去問題(45分) 自己採点、間違った箇所を覚える			
8回	東北①		青森、岩手 旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入			
9回	東北③		山形、福島 旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入			
10回	関東②		茨城、埼玉、千葉、東京、神奈川 旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入			
11回	中部②		静岡、新潟、山梨 旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入			
12回	関西①		大阪、兵庫、和歌山、三重 旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入			
13回	四国		徳島、香川、愛媛、高知 旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入			
14回	九州①		福岡、佐賀、長崎、熊本 旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入			
15回	九州②		大分、宮崎、鹿児島 旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入			

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	鉄道科	
科目名	国内観光地理Ⅱ				クラス	Nクラス
担当講師(フルネーム)	山本真美				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	カテゴリー別に観光資源を学ぶ 各都道府県の観光資源(観光地、温泉、祭り、名産品など)を学ぶ				授業形態	講義
到達目標	国内観光資源全般の知識を増やす。国内・地理検定(中級)/ 国内旅行業務取扱管理者試験の合格を目指す					
使用テキスト	旅に出たくなる地図、国内観光資源、国内観光地理サブノート					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		授業の進め方、評価方法の説明 地理検定の問題を解き、問題傾向を知る 今年、話題の観光地を考える			
2回	旅行地理検定対策		小テスト 3. 滝・鍾乳洞 4. 高原・湿原 5. 湖・沼・池 6. 河川 テキスト、プリントのキーワードをチェック			
3回	旅行地理検定対策		小テスト 9. 島 テキスト、プリントのキーワードをチェック			
4回	旅行地理検定対策		小テスト 13. 庭園・名園 15. 美術館・博物館 16. 文学館・記念館 18. テーマパーク 19. 祭り・年中行事など テキスト、プリントのキーワードをチェック			
5回	旅行地理検定対策		小テスト 8. 温泉(西日本) テキスト、プリントのキーワードをチェック			
6回	過去問を解く		過去問題(45分) 自己採点、間違った箇所を覚える			
7回	過去問を解く		過去問題(45分) 自己採点、間違った箇所を覚える			
8回	北海道		国内旅行業務取扱管理者試験対策 旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入			
9回	東北②		宮城、秋田 旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入			
10回	関東①		栃木、群馬 旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入			
11回	中部①		石川、福井、富山 旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入			
12回	中部③		長野、岐阜、愛知、三重 旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入			
13回	関西②		京都、滋賀、奈良 旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入			
14回	中国		岡山、広島、山口、鳥取、島根 旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ サブノートに記入			
15回	沖縄・前期のまとめ		沖縄 旧国名・温泉・名所・観光地・名産について学ぶ。サブノートに記入 前期のまとめ			

対象学年	2年	学期	通年	学科	鉄道科	
科目名	鉄道概論				クラス	M
担当講師(フルネーム)	花生義一				実務経験	有(鉄道業界勤務歴)
授業概要(内容)	乗務員の行路作成により、乗務員勤務に対する知識を植え付ける 車両運用手配を学び異常時に対する取扱いを身につける				授業形態	講義&演習
到達目標	鉄道の安全に対する知識と概要を身に着ける					
使用テキスト	わかりやすい鉄道技術(1、2、3)、講師作成プリント					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	1.カリキュラムの説明を行う 2.ダイヤグラムから乗務員の行路を各自作成する説明を行う ・行路作成について入力説明を行う				
2回	ダイヤグラム作成作業	1.作業用記号を行路ごと列車に記入する 2.乗務員の動きを把握するための説明を行い、各自が乗務員の作業を把握する				
3回	ダイヤグラム作成作業	1.ダイヤグラムから乗務員の行路を各自作成準備を行う 2.ダイヤグラムと乗務員時刻表及び行路表の照合を行い、よりダイヤに詳しく説明を行う 3.乗務員の作業を把握することにより知識を深める				
4回	ダイヤグラム作成作業	1.ダイヤグラムから乗務員の行路を各自作成準備を行う 2.ダイヤグラムと乗務員時刻表及び行路表の照合を行い、よりダイヤに詳しく説明を行う 3.乗務員の作業を把握することにより知識を深める				
5回	乗務員行路表作成作業①	1.ダイヤグラムから乗務員の行路を各自作成準備を行う ・乗務員の作業を書き込み、1日の動きを把握することにより乗務員の仕事を把握できる ・行路作成時の注意点を周知する				
6回	乗務員行路表作成作業②	1.ダイヤグラムから乗務員の行路を各自作成準備を行う ・乗務員の作業を書き込み、1日の動きを把握することにより乗務員の仕事を把握できる ・行路作成時の注意点を周知する				
7回	乗務員行路表作成作業③	1.各自作成した乗務員行路を発表する 2.グループ割を行い、作成した行路表と乗務員時刻表を照合して間違いを正す ・注意点の確認を班ごとに行い発表準備を行う				
8回	乗務員勤務①	1.各班ごと乗務員行路表の発表を行う ・班ごとの解説を行うことで乗務員の勤務に対する知識が認識できる ・行路作成上の注意点を学ぶことによりより深い知識を得られる				
9回	乗務員勤務②	1.各班ごと行路内容計算を行い乗務員勤務を把握する ・行路内容により、班ごとに振分を行い全員が力を合わせ勤務形態を決める ・乗務員職場の雰囲気を感じ、乗務員に対する意識を実感させる				
10回	運用手配実践①	1.各班ごと行路を決め、乗務員手配及び車両手配の応用を学ぶ ・気象異常時に対する乗務員手配を各班ごとに考え発表を行うことにより、各作業内容を把握する				
11回	運用手配実践②	1.各班ごと行路を決め、乗務員手配及び車両手配の応用を学ぶ ・列車遅延に対する乗務員手配と車両手配を考え発表を行				
12回	運用手配実践③	1.各班ごと行路を決め、乗務員手配及び車両手配の応用を学ぶ ・車両故障に対する乗務員手配と車両手配を考え発表を行う				
13回	運用手配実践④	1.各班ごと行路を決め、乗務員手配及び車両手配の応用を学ぶ ・乗務員疾病に対する乗務員手配を考え発表を行 2.期末試験対策(習熟度調査)				
14回	運用手配実践⑤	1.各班ごと行路を決め、乗務員手配及び車両手配の応用を行う ・イベント等による車両増結に伴う乗務員手配及び車両手配を考え発表を行う				
15回	前期のまとめ	1.総まとめ、全体質疑 2.期末試験対策				

対象学年	2年	学期	通年	学科	鉄道科	
科目名	鉄道実務				クラス	M
担当講師(フルネーム)	花生義一				実務経験	有(鉄道業界勤務歴)
授業概要(内容)	鉄道運行に伴う、各職種別の異常時取扱いを学びます 異常時対応能力及びお客さま対応能力向上を目指します				授業形態	講義&演習
到達目標	鉄道員が持つべき知識を習得し、実際に近い行動力を身に付ける					
使用テキスト	わかりやすい鉄道技術(1、2、3)、講師作成プリント					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	鉄道用語説明	1.鉄道運行に必要な用語を学び異常時対応能力を養う 2.用語の役目(必用に応じた使用方説明) 3.防救連に対する重要性の説明を行い対応の基礎を学ぶ				
2回	異常時	1.異常時に対する各役割 ・鉄道係員各職種における異常事対応の説明を行い理解度を深める 2.異常時の対応を実際に仮説を行い各自役柄設定により対応を行うことにより行動能力を植え付ける				
3回	列車遅延	1.列車遅延に対する各職種の対応方 ・各職種別ごとのお客さまに対する異常時対応の実践を行うことにより、お客さま対応能力の習得を行う				
4回	車両故障①	1.各職種の対応方(電車編) ・運転士は、電気配線図を用いて故障原因を解明し異常時対応能力を身に付ける ・運転士以外の職種においてもお客さま対応能力を身に付ける				
5回	車両故障②	1.各職種の対応方(気動車編) ・運転士は、電気配線図を用いて故障原因を解明し異常時対応能力を身に付ける ・運転士以外の職種においてもお客さま対応能力を身に付ける				
6回	保安装置故障①	1.各職種の対応方(出発信号機及び場内信号機) ・運転士及び車掌の対応及び輸送指令員との手続き対応を行い実践に迫った体験を行う ・乗務員以外の職種においてのお客さま対応能力を身に付け、異常時能力向上を目的とする				
7回	保安装置故障②	1.各職種の対応方(転てつ器及びATS) ・運転士及び車掌の対応及び輸送指令員との手続き対応を行い実践に迫った体験を行う ・お客さま対応能力及び保安装置について再周知を行う				
8回	急病人対応	1.各職種の対応方(車内にて急病人発生) ・運転士及び車掌の対応及び輸送指令員との手続き対応を行い実践に迫った体験を行う 2. 習熟度確認				
9回	踏切及び人身事故①	1.各職種の対応方を説明(鉄道人身傷害事故・踏切障害事故) ・運転士及び車掌の対応及び輸送指令員との手続き対応を行い実践に迫った体験を行う ・運転士以外の職種においてのお客さま対応能力を身に付ける				
10回	踏切及び人身事故②	1.鉄道障害事故時の現場責任者の取扱を学ぶ ・各職別対応の復習とまとめを行い注意すべき点を把握させる 2. 人身事故発生時のモックアップを使用した取扱いの実施				
11回	異常時対応全般説明	1.異常時対応能力確認 ・対応能力の判定及び習熟度確認を行う 2.鉄道実務の再周知を行い、より理解を深める				
12回	異常時発生時の車両運用手配	1. 車両運用の条件を学び運行にあった車両手配を学ぶ 2. 運用変更手配表の説明 3. 運用手配表に沿った車両運用手配を行う				
13回	異常時発生時の乗務員運用手配	1. 乗務員運用の条件を学び迅速な運用手配を学ぶ 2. 運用変更手配表の説明 3. 運用手配表に沿った乗務員運用手配を行う				
14回	運用手配の活用	1. 車両運用と乗務員運用を条件に合わせ手配する 2. 車両運用に沿った乗務員運用の染め込み 3. 習熟度確認				
15回	前期のまとめ	1.総まとめ、全体質疑 2.前期授業の学習を振り返り、鉄道に対する意識を深める 3.期末試験対策				

対象学年	2年	学期	通年	学科	鉄道 科	
科目名	コンピュータ				クラス	M
担当講師(フルネーム)	乙咩清美				実務経験	有
授業概要(内容)	タイピング、ビジネスレター(文書、メール等)を繰り返し練習する。 ビジネス文書のルール、ファイル管理を練習する。				授業形態	講義 & 演習
到達目標	Microsoft Wordの基礎知識を学び、タイピングスキルと、就活や社会人として必要なITスキルを身につける					
使用テキスト	実教出版 30時間でマスターOffice2019					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	IT基礎	OAルームの使用について 授業の進め方・その他の確認、ファイルとフォルダの操作・クラウドについて ウィンドウズについて、タイピングスキルチェック、自己紹介カードの入力				
2回	Word基礎	キーボード操作(様々な入力方法やショートカットキーの活用) ビジネス文書作成(社内文書) ※ページ設定、文字書式、文字のコピー・削除・移動など、ファイル保存について				
3回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(社内文書) ※表作成、ビジネス文書の基本など				
4回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(社内文書) ※画像の挿入、図形描画など				
5回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(ビジネスレター、ビジネスメール) ※ビジネスメールの基本、書き方				
6回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(ビジネスレター、ビジネスメール) ※ビジネスメールの基本、書き方				
7回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(社外文書) ※ビジネス文書の基本、箇条書きなど				
8回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(社外文書) ※送付状やお礼状の練習				
9回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(チラシ・ポスター作成) ※画像の挿入、図形描画・ワードアートなど				
10回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(チラシ・ポスター作成) ※画像の挿入、図形描画・ワードアートなど				
11回	前期期末試験	前期期末試験実施				
12回	Excel基礎	Excel2019について、画面構成、文字・数値の入力と編集、テンキーレッスン 四則演算式と関数				
13回	Excel基礎	表作成 関数(SUM・AVERAGE・COUNT・MAX・MINなど)				
14回	Excel基礎	表作成 相対参照と絶対参照、比率・割合を求める				
15回	Excel基礎	表作成 グラフ作成(基本的な縦棒・横棒・折れ線・円グラフ) 期末小テスト実施				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	鉄道科	
科目名	就職筆記試験対策 I				クラス	M
担当講師(フルネーム)	山本真美				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	就職筆記試験に受かるために苦手分野を克服して得意分野を伸ばす				授業形態	講義
到達目標	WEBテスト、適性検査、時事問題にも対応できるように実力をつける					
使用テキスト	朝日キーワード就職2021最新時事問題&一般常識					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	必ず復習する		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 毎回テストを実施し解答と解説をします。間違った問題はノートに書いて復習します 残りの時間は、時事問題用語解説、新聞コラムに取り組みます			
2回	漢検二級レベル		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 就職試験にかかわらず、漢字は私たちの生活に欠かせません。漢検二級レベルを目指しましょう			
3回	最新のニュース		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 試験当日は特に最新のニュースチェックを忘れずに 日頃から時事問題に精通するには、まず新聞を読むこと。各新聞社のサイトを活用しましょう			
4回	情報を分析する		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 先輩たちの受験報告書を活用していますか？各企業の試験問題の傾向がわかります			
5回	はじめてにあわてない		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 適性検査で見慣れない問題が出る場合があります。例題を参考にして冷静な判断を			
6回	範囲を絞る		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 範囲を絞って、その分野をマスターする。達成感の積み重ねが大事			
7回	時間配分を考える		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 解答時間は足りていますか？紙の試験問題の場合、解く前に試験問題の量のチェックも忘れずに			
8回	今日から始める		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 内定はスタート！『知ること』を常に心がけましょう			
9回	みんながデキル問題		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 正答率の高い問題は受験者のほとんどができています。みんながデキル問題は間違えない			
10回	過去を振り返る		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 過去を振り返り、修正も大事			
11回	ニュースを気にする		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 業界のニュースは気にかけていますか？情報集めは怠りなく			
12回	ニュースを読む		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 じっくりとニュースの「なぜ？」を考える			
13回	自分の意見を考える		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 ニュースの「なぜ？」から自分の意見を考える			
14回	目標を持つ		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 今の目標はなにですか？			
15回	ゴールはスタート		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 SPI対策はこの回で終わりです。これからも社会の動きに敏感になって時代の流れを見ていきましょう			

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	鉄道科	
科目名	就職筆記試験対策Ⅱ				クラス	M
担当講師(フルネーム)	北村正雄				実務経験	無
授業概要(内容)	数学の授業は週に1回なので鉄道系各会社の過去問を中心に問題が予想される問題をできるだけわかりやすく講義します。この科目は予習よりも復習に力を入れてください。SPI検査試験に合格しないと面接に進めません。検査試験合格に向けて一緒に頑張りましょう。				授業形態	講義
到達目標	鉄道系の各会社のSPI非言語能力検査試験に合格するのに必要な学力の修得					
使用テキスト	1年次のテキストを継続使用					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	表の読み取り	統計資料（日本の輸入商品の増減割合 ある地域における電車・バス・マイカー通勤者の年度別割合） 運賃・料金・使用料金の計算(片道運賃・往復運賃・団体割引運賃、英会話、美術館入場料等を表を見て計算する)				
2回	表の読み取り	統計資料 集合(鉄道、航空機自動車などの利用者の人数をベン図を用いてそれぞれの領域を求める。集合理論特有の日本語の意味 少なくともとの意味) 損益算(原価・定価・売価・利益率を求める公式)				
3回	テストセンター 推論	推論 分割払い(仕事算と同様全体を1と考えるのがポイント 頭金・残金・ボーナス払い・分割回数等分数問題) $\sqrt{\quad}$ 計算と平方根(ルート2, 3, 5, 6などと分数計算 $\sqrt{\quad}$ と分数の混ざった数字の中から大小を比較する問題)				
4回	テストセンター 推論	推論(表を使った電車やバスの速度算ほか)1年次の速度算の応用・速度・距離・時間の関係 時速から分速・秒速を求める。速、秒速・分速から時速を求める。追いかけ算の公式など 表を短時間に読み取ることがポイント				
5回	テストセンター 推論	推論 分割払い(仕事算と同様全体を1と考えるのがポイント 頭金・残金・ボーナス払い・分割回数等分数問題) $\sqrt{\quad}$ 計算と平方根(ルート2, 3, 5, 6などと分数計算 $\sqrt{\quad}$ と分数の混ざった数字の中から大小を比較する問題)				
6回	構造的把握力検査	最新SPIテストセンターの傾向 構造的把握力検査 この問題はテストセンターのみの出題分野 受験生の感想として問題自体の意味が理解できず、難しい。 問題を解く考え方が似ているもの アイウエオの中から一組を選択する。 SPI全体の問題を理解しているかを問う問題 順列組合せ 損益算 推論 確率ほか				
7回	テストセンター 推論	推論(表を使った電車やバスの速度算ほか)1年次の速度算の応用(西鉄、JRには最重要問題) 速度・距離・時間の関係 時速から分速・秒速を求める。速、秒速・分速から時速を求める。追いかけ算の公式など 表を短時間に読み取ることがポイント				
8回	推論 WEBテスト 玉手箱 推論	推論 確率(確率の意味と公式 確率は最少は0と同じか、0より大きい。最大は1と同じか1より小さい 確率P=求める場合の数÷全体の場合の数 合成確率 少なくとも=余事象の問題がポイント) 順列と組合せ				
9回	推論 WEBテスト 玉手箱 推論	この問題はペーパーとテストセンター双方の頻出問題 推論 大小・包含の関係(以下の推論で明らかに誤りか、与えられた条件だけでは断定できないものを選択 ハヤブサはキジより高い・キジはツバメより高い・カモメはキジより高い・ツバメは一番安い?カモメは何番目に高い)				
10回	推論 WEBテスト 玉手箱 推論	推論(発言の真偽 ABCDE5人の以下の発言のうち一人だけ嘘をついている。嘘つきは誰?A(Bの発言は本当?)B(Cの発言は嘘?)C(Dの発言は嘘?)D(Eの発言は本当?)E(Aの発言は嘘ではない?))				
11回	推論 WEBテスト 玉手箱 推論	推論 速度算 QRSTU各駅間の到着時刻と出発時刻を表から読み取り各駅間の平均時速を計算する。この問題は非常に有名な問題で、航空会社旅行会社やホテルにも出題可能性が高い。 LMNOPQの6人の到着の前後運送者の数を推論する問題 STU3人のじゃんけんの拳の種類と勝敗を推論する問題 ものすごく時間がかかる。割り切って選択肢からしぼりこむしかない。				
12回	推論 WEBテスト	WEBテストはPC環境さえあれば、学校でも、自宅でもいつでも受検(能力検査試験なので受験ではなく、受検の字になります。)できます。計算機の使用が可能。とにかく短時間で多くの問題を解いていくので、電卓に慣れていなければ、問題をこなせない。問題によっては、暗算のほうが早い。方程式 推論 組み合わせなど 時間は非言語20分 言語12分 性格検査23分				
13回	推論 Web玉手箱 命題 平均算	論理命題 チューリップ パラ 7階建ての建物の位置関係(休憩所 奇数階と偶数階) VWXYZ5チームのレースの結果 PQRSの4つ支社の在庫量 KLMNの4人が100点満点の国語と算数の試験を受けた結果、平均算からの各自の得点を推理				
14回	推論 WEB 玉手箱 Aが正しいければ、BまたはCも必ず正しい	赤いカード3枚青いカード4枚 緑のカード4枚 カードは少なくとも9枚 赤 青 緑のカードが少なくとも3枚ずつはいっているとき、以下の条件の下での推論 サイコロを3回ふった時の出目の条件 Kら50				
15回	1年次2年次総復習	連立方程式 集合 確率 順列(円順列) 組み合わせ(重複組み合わせ) 食塩水などの公式の復習				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	鉄道科	
科目名	鉄道車両 I (電車)				クラス	M
担当講師(フルネーム)	花生義一				実務経験	有(鉄道業界勤務歴)
授業概要(内容)	鉄道車両の基本的な仕組みを理解し、運転理論・車両技術等の専門知識を身につける 電気車の最新技術の応用と、制御システムの基礎知識・技術習得を目的とする				授業形態	講義&演習
到達目標	鉄道車両の安全性・信頼性を図ったシステムと、フェールセーフ技術の必要性を身につける					
使用テキスト	わかりやすい鉄道技術(1、2、3)、講師作成プリント					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション (ブレーキ装置の概要)	1.カリキュラムの説明を行う 2.鉄道車両のブレーキ装置、及びブレーキシステムの基礎知識を身につける 3.ブレーキ装置の種類・構造、及びその機能についての知識・技術を学ぶ				
2回	鉄道車両ブレーキ装置概要	1.鉄道車両に関する技術上の基準を定める法令についての知識を習得する (常用ブレーキ装置 留置ブレーキ装置 保安ブレーキ装置 その他) 2.使用用途に応じた各機器の働きを学ぶ				
3回	空気ブレーキ方式と保安ブレーキ	1.空気ブレーキ方式による空気指令式と電気指令式の特徴と機能について学ぶ 2.ブレーキ種類別による機器構成・機能、ブレーキ作用までの仕組みを身につける 3.車輪の空転・滑走のメカニズムと、車両に与える影響について学ぶ				
4回	ブレーキ力と粘着力	1.鉄道車両のブレーキ力を左右する粘着係数粘着力についての知識を身につける 2.ブレーキ力と粘着力のとの相互関係を身につける 3.車輪の空転・滑走のメカニズムと、車両に与える影響について学ぶ				
5回	補助電源装置の用途と回路構成	1.鉄道車両の補助電源装置の種類と、出力電源使用用途について学ぶ 2.MG電動発電機・SIV静止型変換装置の出力変換システムの知識を身につける 3.高い効率と信頼性を図ったSIV(静止型変換装置)待機系回路構成を学ぶ				
6回	電源回路の方式とその特徴	1.補助電源装置の運転方式による構造、機能、制御方式を学ぶ 2.運転方式の種類、回路構成・特徴、及び信頼性向上についての知識を学ぶ (独立運転方式 待機二重方式 並列同期運転方式)				
7回	鉄道車両に設置すべき設備 ①	1.鉄道車両に関する信号保安・保安通信設備の基礎知識を身につける 2.鉄道車両に関する車上に設置すべき設備、装置について知識を習得する ATS(自動列車停止装置) ATC(自動列車制御装置) ATO(自動列車運転装置)				
8回	鉄道車両に設置すべき設備 ②	1.鉄道車両に於いて車上に設置すべき設備・装置・機能など基礎知識を身につける 2.列車無線 デッドマン装置/EB装置のシステムについて学ぶ 3. 習熟度確認				
9回	保安装置のシステム	1.鉄道車両の保安装置システム・機能・役割等の基礎知識を習得する 2.フェールセーフ性設計の必要性について学ぶ 3.車両の運転状況、保安装置の動作機能についての知識を身につける				
10回	運転理論の基礎知識と計算式の応用	1.車両の運転、車両技術に必要な運転理論等の基礎知識を習得する 2.出発抵抗 走行抵抗 空気抵抗 勾配抵抗 曲線抵抗の理論について学ぶ 3.鉄道車両運転理論に関する法則・計算式等の基礎知識を身につける				
11回	電気車の付属装置	1.各機器説明 2.車両搭載の各付属装置の役割・機能・用途について基礎知識を習得する 3.標識及び警報装置・通風装置・計器類・戸閉め装置・行先表示装置・放送装置等の機能・動作を学ぶ				
12回	車両メンテナンス	1.車両検査内容説明 2.車両機器と装置間の情報送受信との伝送システムの仕組みを学ぶ 3.車両情報伝送システムを活用し、車両状態記録機能、試験機能について学ぶ技術を学ぶ				
13回	車両情報伝送システムと乗務員支援	1.車両情報伝送システムによる運転支援機能についての仕組みを身につける 2. 車両乗務員(運転士・車掌) への運転支援項目・内容についてを学ぶ 3.運転士用モニター画面 車掌用モニター画面表示の見方について学ぶ				
14回	主要機器・装置の役割と機能	1.鉄道車両において各装置別の役割・機能について学ぶ (車体・走行装置・集電装置・動力発生装置・動力伝達装置・ブレーキ装置・補助回路装置・連結装置・附属装置・運転保安装置)				
15回	前期のまとめ	1.期末試験対策 2.前期授業の学習を振り返り、電車に対する意識を深める				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	鉄道科	
科目名	鉄道車両Ⅱ（気動車）				クラス	M
担当講師（フルネーム）	花生義一				実務経験	有（鉄道業界勤務歴）
授業概要（内容）	気動車のしくみ（電気配線図を使用して気動車の概要を学ぶ） 気動車の電気配線図により各機器名及び役割を学ぶ				授業形態	講義＆演習
到達目標	電気配線に対する理解力を向上させる					
使用テキスト	わかりやすい鉄道技術（1、2、3）、講師作成プリント					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	1.カリキュラムの説明を行う 2.電車と気動車の相違点を知り、気動車の利点を学ぶ 3.気動車が安全運行するための重要機器を学ぶ				
2回	電気配線図概要	1.電気配線図の基本を知り、見方を学ぶ 2.電気回路概要を学び気動車の中身を知る 3.使用用途に応じた各機器の働きを学ぶ				
3回	主電源	1.バッテリー投入からの電源の流れ方を学ぶ 2.ノーヒューズブレーカーとヒューズの役割を学ぶ 3.車両を正常に操作できる条件と目的を学ぶ				
4回	エンジン起動回路①	1.エンジンを正常に起動する条件を知る ・各スイッチの定位置及び各機器の定位を学び、起動条件を知る 2.エンジンを起動するための、操作する機器及び電気の流れを学ぶ				
5回	エンジン起動回路②	1.予熱位置の重要性と電気の流れを学ぶ ・電気の流れによる動作する各機器及び計器類の働きを学ぶ 2.個人的なヒヤリングを行い習熟度を確認する				
6回	エンジン起動回路③	1.起動位置の重要性と電気の流れを学ぶ ・電気の流れによる動作する各機器及び計器類の働きを学ぶ 2.個人的なヒヤリングを行い習熟度を確認する				
7回	エンジン増速運転	1.主幹制御器の主ハンドル位置に応じた電気の流れを学ぶ ・電気の流れによる動作する各機器及び計器類の働きを学ぶ（1N～5N） 2.個人的なヒヤリングを行い習熟度を確認する				
8回	逆転機回路①	1.主幹制御器の逆転機ハンドル位置に応じた電気の流れを学ぶ ・電気の流れによる動作する各機器及び計器類の働きを学ぶ（前進） 2.逆転機機能と合わせて学ぶことにより一層の理解を得る				
9回	逆転機回路②	1.主幹制御器の逆転機ハンドル位置に応じた電気の流れを学ぶ ・電気の流れによる動作する各機器及び計器類の働きを学ぶ（後進） 2.習熟度確認（結果によって個人的なヒヤリングを行い習熟度を確認する）				
10回	変速回路①	1.主幹制御器の変速ハンドル「変速」位置に応じた電気の流れを学ぶ ・電気の流れによる動作する各機器及び計器類の働きを学ぶ 2.液体変速機及び各機器の動作も合わせて学ぶ				
11回	変速回路②	1.主幹制御器の変速ハンドル「変速」位置に応じた電気の流れを学ぶ ・「変」不調時の各機器動作 2.個人的なヒヤリングを行い習熟度を確認する				
12回	直結回路①	1.主幹制御器の変速ハンドル「直結」位置に応じた電気の流れを学ぶ ・電気の流れによる動作する各機器及び計器類の働きを学ぶ 2.液体変速機及び各機器の動作も合わせて学ぶ				
13回	直結回路②	1.主幹制御器の変速ハンドル「直結」位置に応じた電気の流れを学ぶ ・「直」不調時の各機器動作 2.個人的なヒヤリングを行い習熟度を確認及び期末試験対策を行う				
14回	戸ジメ回路	1.戸ジメ回路を学びドア閉扉・開扉時の電気の流れを学ぶ 2.戸ジメ回路と力行回路のつながりを学び安全に対する回路構成を知る 3.戸ジメ機器と各付属品とのつながりを学ぶ				
15回	前期のまとめ	1.期末試験対策 2.前期授業の学習を振り返り、気動車に対する意識を深める				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	鉄道科	
科目名	鉄道業界研究				クラス	M
担当講師(フルネーム)	三石佳代子				実務経験	有(鉄道業界勤務歴)
授業概要(内容)	志望企業のトピックス・企業理念等を理解し、エントリーシート・面接対策を行う。 授業テーマと並行して、求人企業の企業研究を並行して行う。				授業形態	講義
到達目標	鉄道業界の業務内容を理解し、志望企業でやりたい仕事を考え、志望理由に活かし、内定を獲得する。					
使用テキスト	講師作成プリント					
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点＋小テストで50%、期末テストで50%				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	一年生の振り返り 前期説明 確認テスト				
2回	鉄道業界最新事情①	鉄道業界の最新のトピックスを知り、面接での応答内容に旬の話題を活かす ICカード、クレジットカードなど 鉄道会社アプリ、鉄道会社が持つ旅行会社				
3回	鉄道業界最新事情②	鉄道業界の最新のトピックスを知り、面接での応答内容に旬の話題を活かす 新幹線、注目観光列車、お客様獲得のための営業施策など				
4回	鉄道業界最新事情③	今年に入ってからからの鉄道トピックスの新聞報道を紹介する				
5回	地方鉄道研究	地方鉄道の取り組みを学び、 面接での応答内容に旬の話題を活かす				
6回	鉄道システム	近年導入されている鉄道システムについて学ぶ				
7回	鉄道会社の 財務諸表・IRを学ぶ	鉄道会社の財務諸表を分析し、応募会社のどの部門に強みがあるのかを理解する				
8回	鉄道会社の 企業理念・CSRを学ぶ	鉄道会社の企業理念を理解し、鉄道従事者となる心構えをする また、CSR(企業の社会的責任)やCSV(共通価値の創造)を学ぶことで、志望動機に反映させる				
9回	鉄道業界最新事情④	今年に入ってからからの鉄道トピックスの新聞報道を紹介する				
10回	先輩の声 (運転士・車掌)	鉄道業界に入社した先輩の業務内容、就活方法を知り、 自身の就職活動に活かす 求人企業、企業研究				
11回	先輩の声 (駅員)	鉄道業界に入社した先輩の業務内容、就活方法を知り、 自身の就職活動に活かす 求人企業、企業研究				
12回	鉄道業界の安全対策	鉄道業界で最も大切な「安全」やヒヤリハットを学び エントリーシートや面接で表現できるようにする				
13回	グループディスカッション 事例研究	実際にあったお客さまの声から、鉄道従事者としてあるべき姿をディスカッションする				
14回	自然災害・安全施策	避けることのできない自然災害が鉄道にもたらす影響を知り、 鉄道員として取り組むことを学ぶ				
15回	前期のまとめ	前期のまとめ テスト対策				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	鉄道科	
科目名	国内観光地理				クラス	Mクラス
担当講師(フルネーム)	山本真美				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	国内観光の名勝、観光地、温泉・祭り等の観光資源を覚える				授業形態	講義
到達目標	国内観光資源全般の知識を増やす。国内旅行業務取扱管理者試験の合格を目指す					
使用テキスト	旅に出たくなる地図、国内観光資源、国内観光地理サブノート(すべて1年次に使用のもの)					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	九州①		授業の進め方、評価方法の説明 旧国名・温泉・名所・観光地・名産についてのプリント JR九州を利用して訪れる観光地①			
2回	九州②		旧国名・温泉・名所・観光地・名産についてのプリント JR九州を利用して訪れる観光地②			
3回	沖縄		九州 小テスト 名所・観光地・名産についてのプリント			
4回	中国		沖縄 小テスト 旧国名・温泉・名所・観光地・名産についてのプリント JR西日本を利用して訪れる観光地			
5回	四国		旧国名・温泉・名所・観光地・名産についてのプリント 列車を利用して訪れる観光地			
6回	関西①		中国・四国 小テスト 旧国名・温泉・名所・観光地・名産についてのプリント			
7回	関西②		旧国名・温泉・名所・観光地・名産についてのプリント 列車を利用して訪れる観光地			
8回	中部①		関西 小テスト 旧国名・温泉・名所・観光地・名産についてのプリント			
9回	中部②		旧国名・温泉・名所・観光地・名産についてのプリント 列車を利用して訪れる観光地			
10回	関東①		中部 小テスト 旧国名・温泉・名所・観光地・名産についてのプリント			
11回	関東②		旧国名・温泉・名所・観光地・名産についてのプリント 列車を利用して訪れる観光地			
12回	東北①		関東 小テスト 旧国名・温泉・名所・観光地・名産についてのプリント			
13回	東北②/北海道①		旧国名・温泉・名所・観光地・名産についてのプリント JR東日本を利用して訪れる観光地			
14回	北海道②		東北 小テスト 旧国名・温泉・名所・観光地・名産についてのプリント			
15回	クルーズトレイン		北海道 小テスト クルーズトレインと地域観光			

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	鉄道科	
科目名	就職活動講座				クラス	M
担当講師(フルネーム)	三石佳代子				実務経験	有(鉄道業界勤務歴)
授業概要(内容)	専門学校に在学し、鉄道を学んでいるという特異性を理解し、 鉄道業界に特化した就職活動を行える力を養成する。				授業形態	講義
到達目標	鉄道業界に絡めた自己分析をし自己PRと志望動機等を作成、鉄道業界から確実に内定を得ることを目指す。					
使用テキスト	就職ノート・専門学校生のための就職内定基本テキスト					
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 提出物・忘れ物・授業態度・就職活動に対する熱意・小テストにより総合的に評価を行う				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		一年生の振り返り、前期説明 一般常識、就活マナーテスト			
2回	受験対策		実習経験を活かした志望動機や自己PRの作り方 文章作成の基本(三段構成法、PREP法など)			
3回	受験対策		最終模擬面接の振り返り 適性検査、一般常識、小論文			
4回	受験対策		就活方法の再確認及び反省 PDCAサイクル			
5回	受験対策		座右の銘を知り、自身の価値観を分析する			
6回	受験対策		キャリアアンカーを学び、自身の価値観と 志望企業の企業理念がマッチしているか確認する			
7回	受験対策		全就活生の就活進行状態を知る 若年者の就職率 就活で落ち込んだ時のためのセルフコーチング			
8回	受験対策		他己分析を行い、組織・グループ内での立場を認識する			
9回	受験対策		先輩の声を活かした志望動機の作成			
10回	受験対策		鉄道業界最新事情を知り、小論文を作成する			
11回	受験対策		過去に試験で出た質問に対してどう答えるか考える 内定者は入社後の働き方をイメージするためのワークを行う			
12回	受験対策		過去に試験で出た質問に対してどう答えるか考える 内定者は入社後の働き方をイメージするためのワークを行う			
13回	受験対策		過去に試験で出た質問に対してどう答えるか考える 内定者は入社後の働き方をイメージするためのワークを行う			
14回	受験対策		過去に試験で出た質問に対してどう答えるか考える 内定者は入社後の働き方をイメージするためのワークを行う			
15回	これまでの就職活動の振り返り		未内定者の振り返りと、今後の対策、方向性の確認 内定者は企業研究と就業準備の検討と対策 早期就業者に対する心構え			

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	鉄道科	
科目名	面接対策				クラス	M
担当講師(フルネーム)	橋本美智子				実務経験	無
授業概要(内容)	就職活動において、選ばれる人物になるよう内面と外面の表現について実践を通して考え、体得する				授業形態	講義
到達目標	適材適所の好印象を考え、その表現力を身につける					
使用テキスト	プリント					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	就職面接について	一年時の面接対策のまとめ 就職面接の流れ 目標を掲げる				
2回	集団面接演習	面接実技 第一印象の重要性/話し方				
3回	集団面接演習	面接実技 第一印象の重要性/話し方と表情				
4回	集団面接演習	面接実技 第一印象の重要性/話し方と行動				
5回	振り返り	第1回～第4回までの振り返りを行い、課題を明確にする				
6回	集団討議演習	テーマ1 (就職面接で実際に使用されたテーマを使用)				
7回	集団討議演習	テーマ2 (就職面接で実際に使用されたテーマを使用)				
8回	集団討議演習	テーマ3 (就職面接で実際に使用されたテーマを使用)				
9回	集団面接演習	面接実技				
10回	集団面接演習	面接実技				
11回	個人面接	面接実技				
12回	個人面接	面接実技				
13回	個人面接	面接実技				
14回	個人面接	面接実技				
15回	まとめ	社会人としての考え方				

エアライン

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	エアライン科	
科目名	航空業界研究				クラス	W
担当講師(フルネーム)	吉原正彦				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	航空業界の知識、業種、空港の施設・設備、航空機、等について講義 エアポートビジネスが支える航空運送事業について講義				授業形態	講義
到達目標	航空業界では、どのような業務が行われているか理解し、就職活動に役立つ知識を習得する					
使用テキスト	エアポート ビジネス入門・必要に応じプリント配布					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	授業の目的について具体的に説明する 授業の進め方、成績評価方法について具体的に説明する 航空業界に対するイメージについて意見交換を行う				
2回	エアポートビジネス	航空会社の業務と、それを取り巻く関連会社の業務について学ぶ 空港で従事する官公庁(航空局・CIQ等)について学ぶ 空港の旅客、貨物の取り扱い能力について学ぶ				
3回	航空輸送事業の歴史	航空輸送事業の歴史(主要航空会社の歩み)について学ぶ 航空憲法(45・47体制)の廃止と規制緩和について学ぶ 航空会社の新規参入と格安航空会社(LCC)の台頭について学ぶ				
4回	航空業界、近年の動向	共同運航便(コードシェア)の就航について学ぶ 航空会社グループ化(アライアンス)の進展について学ぶ 燃油特別付加運賃(オイルサーチャージ)の導入、その後の影響について学ぶ				
5回	日本の空港	空港の種類(拠点空港・地方管理空港・共用空港・その他の空港)について学ぶ 空港の機能、施設及び空港整備計画の現状について学ぶ 小テスト(採点と解答説明)				
6回	空港業務の概要	空港ビル会社・空港事務所・CIQ関連業務について学ぶ 航空会社及び関連会社の業務項目について学ぶ 警備会社・旅客サービス業・航空貨物代理店・フォワーダー・通関業者について学ぶ				
7回	航空機の特性	交通機関としての特性について学ぶ 商品としての特性について学ぶ 航空機の歴史、現在活躍中の航空機及び将来の航空機について学ぶ				
8回	航空会社の仕事	JALグループ航空会社と関連会社の組織と業務内容について学ぶ ANAグループ航空会社と関連会社の組織と業務内容について学ぶ 日本における中堅航空会社と格安航空会社の組織と業務内容について学ぶ				
9回	航空会社の仕事	出発時における旅客業務の一般的な流れについて学ぶ 到着時における旅客業務の一般的な流れについて学ぶ 空港における旅客業務のポイントを学ぶ				
10回	航空会社の仕事	運航管理業務(ディスパッチ業務)、ロードコントロール業務について学ぶ 運航支援業務(グランドハンドリング業務)について学ぶ 整備業務・ケータリング業務・旅客送迎サービス業務について学ぶ				
11回	航空会社の仕事	航空貨物の輸送実績推移と航空貨物輸送の特徴について学ぶ 輸出入貨物の一般的な流れ、取り扱い業者について学ぶ 航空貨物の搭載方法と荷役機器の取り扱いについて学ぶ				
12回	航空保安	保安対策基準の脅威レベル(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)について学ぶ 搭乗旅客および機内持ち込み手荷物に関わる保安対策基準について学ぶ 受託手荷物に関わる保安対策基準について学ぶ				
13回	航空業界用語	航空機・運航・整備・空港施設・取り扱い関係用語について学ぶ 飛行機の座席・構造に関する用語、航空一般用語について学ぶ 航空業界用語の確認テストを行い理解する				
14回	航空管制	飛行機が航行する空域と飛行ルートについて学ぶ 運航に影響する気象現象について学ぶ 小テスト(採点と解答説明)				
15回	まとめ	航空業界の今後の動向について学ぶ 授業全体を振り返って復習する まとめ				

対象学年	1年	学期	通年	学科	エアライン科	
科目名	ブラッシュアップ講座				クラス	W
担当講師(フルネーム)	脇山奈津美				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	就職試験までに必要な準備物、準備の仕方を学ぶ スピーチを通して人前で話すことに慣れる				授業形態	講義
到達目標	人前で魅力的に、自身のプレゼンテーションができる					
使用テキスト	なし(オリジナルテキスト使用)					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	☐ 就活必需品 ☐ 自己管理の徹底について 就活に必要なもの(準備するもの) ☐ 目標設定 証明写真/スナップ写真、写真館について ☐ 試験内容について				
2回	航空業界理解	☐ CAの仕事理解 ☐ 業界で働く覚悟と必要な資質を知る				
3回	航空業界理解	☐ 地上支援の仕事理解 ・GS、GHとの関わり方				
4回	航空業界理解	☐ CA業界用語 ☐ 日本の地理				
5回	採用試験準備	☐ スピーチについて ・話すときのポイント				
6回	採用試験準備	☐ スピーチ				
7回	前半確認試験 (筆記)	☐ 理解度確認テスト ☐ 課題作成(自己PR、経験の棚卸しなど)				
8回	前半確認試験 (FB)	☐ スピーチ ☐ テスト返却/面談				
9回	CA仕事理解	☐ スピーチ ☐ キャビンサービス(ドリンク)				
10回	採用試験準備	☐ スピーチ ☐ プレゼンリハーサル/準備				
11回	採用試験準備	☐ スピーチ ☐ WEB面接/WEBインターンについて				
12回	採用試験準備	☐ スピーチ ☐ 面接練習				
13回	前期試験 (実技)	☐ 理解度確認テスト 自分自身のプレゼンテーション				
14回	採用試験準備	☐ スピーチ ☐ グループワーク				
15回	採用試験準備	☐ スピーチ ☐ グループワーク				

対象学年	1年	学期	通年	学科	エアライン科	
科目名	アマデウスアルテア				クラス	QW
担当講師(フルネーム)	横瀬敦子				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	航空・旅行業界では必須のGDS(予約発券端末)の存在を理解し、まずは基本操作を習得して、業界で使用する専門用語も学ぶ。				授業形態	実技
到達目標	予約操作の基本をマスターする(各種コード検索や空席照会からの予約とPNR作成まで)。					
使用テキスト	amadeus ユーザーガイド予約 早見表					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	GDSの基本	GDSとは、何か(どういう場面で使用しているのか)? amadeusとは、何かを学ぶ(成り立ちを学ぶ) amadeus起動と初期画面の確認を行う(パスワード入力とメインメニュー、コマンドページ)				
2回	国際線基礎知識Ⅰ	各種コードを学ぶ 2レター(航空会社コード)と3レター(都市コード)の検索方法を理解する 表示された画面確認も行う				
3回	国際線基礎知識Ⅱ	各種コードを学ぶ その他のコード検索(国コード・州コード・機材コードなど)を学び、入力をする 専門用語を学ぶ				
4回	タイムスケジュール	タイムスケジュール検索 TN入力を学ぶ フライトインフォメーション検索 DO入力を学ぶ スケジュール検索 SN入力を学ぶ				
5回	空席照会Ⅰ	空席照会操作の基本を学び、画面表示内容を理解する よく使用する、空席照会のオプション入力を学ぶ 空席照会後の、2次入力を学ぶ				
6回	空席照会Ⅱ	2区間の空席照会(往復分の空席照会) 空席照会の入力練習(練習問題にて)を行う				
7回	空席照会からの予約Ⅰ	空席照会からの直行便・乗継予約を行う アラック・オープンセグメント・キャンセル待ち予約を行う RT(画面整理)とIG(中断)				
8回	空席照会からの予約Ⅱ	2区間予約(往復予約)を行う スピードマスターとは何か? 空席照会からのスピードマスタ予約を行う ページアップ機能 履歴ページの活用方法を学ぶ				
9回	PNR作成Ⅰ	PNRとは何か(PNR作成における必須5項目)? PNRを完成させる(ERとIR入力) 予約後のステータスコードの流れを学ぶ(完了前と完了後のステータスコードの違い)				
10回	PNR作成Ⅱ	PNR完了後の画面構成を学ぶ PNR抽出を行う(PNRの一部表示方法含む) 練習問題にて基本的なPNR作成を行う				
11回	アクセスレベルについて	アクセスレベルの意味を理解する(テキストで概要を理解して実際の操作で学ぶ)				
12回	ダイレクトアクセス空席照会	アクセスレベルとダイレクトアクセス空席照会の関係性を学び、入力方法と画面表示を理解する				
13回	変更 訂正	旅客データ訂正(名前のアップデート方法や電話番号・発券期限の訂正)を行う 予約変更を行う				
14回	前期・総復習	PNR作成と添削 期末試験対策				
15回	前期・期末試験	期末試験のポイント 期末試験(筆記と実技)				

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	エアライン科	
科目名	日本語表現				クラス	Q・Wクラス
担当講師(フルネーム)	久保田博子				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	敬語・文法・語彙・言葉の意味・漢字・表記を学び、美しい日本語を理解する 毎時間小テストを行う				授業形態	講義
到達目標	基礎言語力を伸ばし、日本語表現をブラッシュアップする					
使用テキスト	『ステップアップ日本語講座 ― 上級』 東京書籍					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		授業の目的・意味と進め方、成績評価方法について 学生の自己紹介 「適切な日本語」とはどのようなものか考える			
2回	敬語①		敬語について/敬語の種類 尊敬語、謙譲語Ⅰ、謙譲語Ⅱ、丁寧語、美化語を理解する			
3回	敬語②		適切な敬語、敬語の使い分け 練習問題			
4回	敬語③		注意すべき敬語、誤った敬語の使い方 状況に合わせた敬語の使い分け			
5回	敬語④		さまざまな敬意表現 電話や手紙での敬語			
6回	敬語⑤		マニュアル敬語、配慮を示す言葉 敬語のまとめ 練習問題			
7回	敬語⑥		就職活動の敬語			
8回	文法①		品詞・活用の種類 主語と述語、連体修飾と連用修飾			
9回	文法②		文の成分、文のねじれ 練習問題			
10回	文法③		用言の活用形 可能表現、受け身と使役の表現			
11回	文法④		文法のまとめ 練習問題			
12回	語彙・言葉の意味 漢字・表記		語彙とは、語種、二語の関係、類義語と対義語、言葉の意味とは、慣用句 日本語の中の漢字、四字熟語			
13回	日本語検定過去問題①		過去問題(令和元年第2回)解答 間違った問題を見直し、正しく理解し直す			
14回	日本語検定過去問題②		過去問題(令和2年第2回)解答 間違った問題を見直し、正しく理解し直す			
15回	総合問題 まとめ		総合問題 前期のまとめ			

対象学年	1年	学期	通年	学科	エアライン科	
科目名	エアラインマナー				クラス	W
担当講師(フルネーム)	脇山奈津美				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	社会人と学生の違いを学ぶ ルールとマナーの違いを学ぶ				授業形態	講義
到達目標	日頃から意識して実践することでスキルを自ら磨く					
使用テキスト	なし(オリジナルテキスト使用)					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	☐ 受験への心構え: 日頃から意識すること(挨拶・時間・準備の意味) ☐ 校内外の合同企業説明会(会社説明会)へ参加する際のマナー、参加する時期 ☐ スーツ				
2回	ビジネスマナー	☐ 敬語/改まり語 ☐ クッション言葉 ☐ 話を聴くときの態度/共感				
3回	ビジネスマナー	☐ 第一印象の重要性について① 挨拶、お辞儀、言葉遣い、声の出し方				
4回	ビジネスマナー	☐ 第一印象の重要性について② 歩き方、表情の作り方 ☐ ルールとマナーの違い/「身だしなみ」と「おしゃれ」の違い				
5回	ビジネスマナー	☐ 上座と下座 ☐ コート/ジャケットの持ち方、置き方				
6回	ビジネスマナー	☐ おもてなしとは何か				
7回	ビジネスマナー	☐ ビジネス文書 ・作成時の注意事項				
8回	ビジネスマナー	☐ 電話対応 ・受信する時の注意事項/掛ける時のマナー				
9回	前半確認テスト(筆記)	☐ 理解度確認テスト ☐ 課題作成(自己PR、経験の棚卸しなど)				
10回	前半確認試験(FB)	☐ スピーチ ☐ テスト返却/面談				
11回	採用試験準備	☐ スピーチ ☐ 身だしなみ確認/スーツ着用時の注意点				
12回	採用試験準備	☐ スピーチ ☐ 面接練習				
13回	前期試験(実技)	☐ スピーチ ☐ 面接練習				
14回	採用試験準備	☐ スピーチ ☐ グループワーク				
15回	採用試験準備	☐ スピーチ ☐ 面接準備 ☐ 後期授業について				

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	エアライン科	
科目名	観光地理				クラス	W
担当講師(フルネーム)	金森和彦				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	世界遺産検公式問題集を中心に解説し試験概要を理解する。 画像を利用し、世界遺産の景観を理解。				授業形態	講義
到達目標	世界遺産検定合格を目指し、主要世界遺産について解説。					
使用テキスト	世界遺産検定 公式過去問題集					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	オリエンテーション 授業の進め方などシラバスをもとに説明 教科書の使用方法解説				
2回	世界遺産の基礎について	世界遺産とは ユネスコ 世界遺産と日本				
3回	世界遺産の基礎について	無形文化遺産 グラフと数字目見る世界遺産 世界遺産の基準				
4回	日本の世界遺産	西日本の世界遺産 文化遺産について 自然遺産について				
5回	日本の世界遺産	東日本の世界遺産 文化遺産について 自然遺産について				
6回	海外の世界遺産	ヨーロッパ周辺地区 世界遺産の観光概要や最寄りの交通機関について 画像、地図から世界遺産の魅力について説明 ヒースロー、シャルルドゴール空港など主要空港からの利便性について				
7回	海外の世界遺産	アメリカ地区 世界遺産の観光概要や最寄りの交通機関について 画像、地図から世界遺産の魅力について説明 JFKケネディーなど空港など主要空港からの利便性について				
8回	海外の世界遺産	アジア周辺地区 世界遺産の観光概要や最寄りの交通機関について 画像、地図から世界遺産の魅力について説明 主要空港からの利便性について				
9回	海外の世界遺産	オセアニア周辺地区 世界遺産の観光概要や最寄りの交通機関について 画像、地図から世界遺産の魅力について説明 主要空港からの利便性について				
10回	海外の世界遺産	その他周辺地区 世界遺産の観光概要や最寄りの交通機関について 画像、地図から世界遺産の魅力について説明 主要空港からの利便性について				
11回	問題集を解く、解説	世界遺産検定 試験対策(過去問題を解く、解説) 主要国おさらい(ヨーロッパ方面) 地図をもとに場所確認				
12回	問題集を解く、解説	世界遺産検定 試験対策(過去問題を解く、解説) 主要国おさらい(北アメリカ方面) 地図をもとに場所確認				
13回	問題集を解く、解説	世界遺産検定 試験対策(過去問題を解く、解説) 主要国おさらい(南アメリカ方面) 地図をもとに場所確認				
14回	問題集を解く、解説	世界遺産検定 試験対策(過去問題を解く、解説) 主要国おさらい(その他地区) 地図をもとに場所確認				
15回	まとめ	試験問題対策、期末試験について説明 主要国おさらい				

対象学年	1年	学期	通年	学科	エアライン	
科目名	CA受験対策				クラス	W
担当講師(フルネーム)	脇山奈津美				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	自己分析(経験の書き出し)				授業形態	講義
到達目標	就職試験に必要な情報収集のやり方を知り、自分で準備できるようになる					
使用テキスト	なし(オリジナルテキスト使用)					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	☐ 授業の進め方: 課題(気になるニュースの作り方)、スピーチ(6回目から) ☐ 採用試験の流れと就職活動の流れ(開始～内定獲得まで) ☐ 業界の採用試験の現状を理解する				
2回	アビアランス指導	☐ 自分に似合う髪型の作り方				
3回	自己理解①	☐ 就活の軸の探し方				
4回	自己分析① (自分を知る)	☐ 自己分析の必要性和分析の仕方 文章構成を学ぶ				
5回	自己分析② (自分を言語化する)	☐ 自己PR作成(結論と理由) ☐ 経験の棚卸し				
6回	自己理解②	☐ 質問(面接官)の意図を理解する 例えばシリーズ: 野菜、動物、色、電化製品など				
7回	自己分析③ (エピソードの整理)	☐ スピーチ ☐ 自己PR作成(エピソード、学び)				
8回	自己分析	☐ スピーチ ☐ 自己PR添削				
9回	前半確認テスト (実技)	☐ 理解度確認テスト				
10回	採用試験準備	☐ スピーチ ☐ 入退室・着席・姿勢 ・ドアの開閉、着席の仕方、荷物の置き方				
11回	採用試験準備	☐ スピーチ ☐ 選考フロー ☐ 面接の心構えとポイント				
12回	採用試験準備	☐ スピーチ ☐ 課題添削(自己PR、就活の軸、例えばシリーズ) ☐ 面接練習				
13回	採用試験準備	☐ スピーチ ☐ 課題添削(自己PR、就活の軸、例えばシリーズ) ☐ 面接練習				
14回	前期試験 (筆記)	☐ 理解度確認テスト ☐ 感情の書き出し				
15回	採用試験準備	☐ スピーチ ☐ 面接練習 ☐ 夏休みの課題・共有事項				

対象学年	1年	学期	通年	学科	エアライン科	
科目名	TOEIC I & II				クラス	W
担当講師(フルネーム)	日高郁子				実務経験	無
授業概要(内容)	TOEICに特化した文法を基礎から復習。語彙力を高め、音読、シャドウイングなどでリスニング力を強化してスコアアップにつなげる。 ※レベルに合わせるためシラバス通りに進まない場合があります。				授業形態	講義
到達目標	各自の目標スコアを達成する。					
使用テキスト	TOEIC L&R戦略的トレーニング:レベル500 / TOEIC L&R TEST 出る単特急 銀のフレーズ					
成績評価方法	・期末試験50% 単語熟語テスト30% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	4
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	授業の進め方について TOEICとは? TOEICミニテスト 単語テストの進め方				
2回	品詞問題&Part1	品詞(名詞、形容詞、副詞)の見分け方 品詞問題の解き方 Part5 単語テスト				
3回	時制&Part2	時制の総復習 Part2解き方 Part5 単語テスト				
4回	自動詞&他動詞Part3	自動詞・他動詞の見分け方 自動詞、他動詞を見分けて問題を解く Part3 Part5 単語テスト				
5回	不定詞&Part3	不定詞 Part3 Part5 単語練習				
6回	動名詞&Part4	動名詞 Part4 Part5 単語練習				
7回	分詞の形容詞的用法 Part4	分詞の形容詞的用法 Part4 Part5 単語練習				
8回	Part7	Part7(長文の解き方) Part5 単語練習				
9回	名詞・冠詞 part6	名詞・冠詞 Part6 Part5 単語練習				
10回	接続詞 Part1&2	接続詞 Part1&2 Part5 単語練習				
11回	関係代名詞 Part3	関係代名詞 Part3 Part5 単語練習				
12回	模擬テスト (リーディング)	模擬テスト 解答				
13回	仮定法	仮定法 Part6 Part5 単語テスト				
14回	比較級	比較級 Part7 Part5 単語テスト				
15回	文法総復習	前期復習 Part5 単語テスト				

対象学年	1年	学期	通年	学科	エアライン科		
科目名	SPI言語				クラス	QWクラス	
担当講師(フルネーム)	前田恭子				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	就職試験における筆記試験分野・言語系の対策授業				授業形態	講義	
到達目標	筆記試験の点数を確実に取るために基礎学力の向上を目指す						
使用テキスト	・一般常識 & SPI						
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施						
	テーマ		授業内容				
1回	目指せ『漢検二級』		授業の進め方、評価方法の確認 漢字検定 / 模擬試験 (合格している級より上の級の問題を解く) (校内で実施される漢字検定に向けての準備 / 任意受検)				
2回	都道府県を極める		日本の白地図を使用して都道府県を確認する うろ覚えの知識を確かな知識に変える一歩				
3回	世界地図を見る①		白地図で主要な国の位置と首都を把握しよう				
4回	世界地図を見る②		世界で注目されている国々の場所を確認し、時事問題に対応できる基礎固めをします				
5回	グローバル社会の住人①		世界の『今』を知るために、国際連合とその諸機関を学びます 中学・高校で学んだILOやWHOの登場です				
6回	グローバル社会の住人②		程よい付き合いは、人によっても国にとっても重要 国同士の『付き合い』を地域協定(EU、ASEANなど)を通して考えます				
7回	グローバル社会の住人③		『summit』の意味は『頂上』。時事用語の『サミット』は？ G7サミットはアメリカ合衆国で6月開催予定。G20サミットはサウジアラビアで11月開催予定				
8回	あなたの『1票』の重さ		政治① 国会議員の人数・任期を知るとともに国会の仕組みについて				
9回	霞ヶ関		政治② 内閣と1府12省庁と関連機関を確認します				
10回	地方公共団体		政治③ 地方政治				
11回	裁判員制度		裁判所や裁判員制度の仕組みについて				
12回	循環する『お金』		銀行に預けたお金はどこに行く？お金の流れを考え『経済』をもっと身近に				
13回	『お札』は技術の結晶		『お札』から、『電子決済』まで、世界の今、日本の今を考えます				
14回	経済用語を覚える		CEO、COO、CFO、代表取締役社長、さまざまな呼び方があります。あわせて覚えましょう				
15回	前期の総復習 & 課題		前期の復習と夏休みの課題説明				

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	エアライン科	
科目名	SPI非言語対策				クラス	QW
担当講師(フルネーム)	榎木田裕夫				実務経験	無
授業概要(内容)	SPIは企業がおこなう就職試験です、授業では非言語(数学系)の得点差がつきやすい計算問題や様々な論理問題を解きます。				授業形態	講義
到達目標	SPI、玉手箱、SCOAなどの採用試験が解ける計算力や論理的思考能力を身につける。					
使用テキスト	SPI基本問題集(大和書房)					
成績評価方法	・期末試験80% 平常20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験						
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		SPIの説明、計算演習			
2回	四則計算1		小数、分数から一次方程式までの計算演習			
3回	四則計算2		計算演習の応用			
4回	割合の問題		百分率や比を使った問題を解く			
5回	金銭の問題1		清算を求める問題			
6回	金銭の問題2		損益を求める問題を解く①			
7回	金銭の問題3		損益を求める問題を解く②			
8回	速度算1		速さを求める基本計算を確認する 単位を変えた時の計算を正確に行う			
9回	速度算2		速度算の標準的な問題を解く 求める時間の単位に変えて計算できる力をつける			
10回	速度算3		速度算の応用問題を解く 単位に合わせて式を立てる			
11回	代入法の問題		表中のA、B、C、D、Eにあたる数を代入して式の答えを求める			
12回	濃度算1		食塩水の濃度の基本問題を解く 公式を理解する			
13回	濃度算2		濃度算の標準的な問題を解く			
14回	濃度算3		濃度算の応用問題を解く			
15回	前期のまとめ		前期のまとめ、復習して知識の定着を目指す			

対象学年	1年	学期	通年	学科	エアライン科	
科目名	コミュニケーションイングリッシュ				クラス	Q・Wクラス
担当講師(フルネーム)	久保田博子				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	日常生活および空港・航空機内で使う語彙や会話表現を学び オンラインレッスンで実践する				授業形態	講義&演習
到達目標	学んだ英語をエアライン業界での接客に活かせるようにする					
使用テキスト	予習・復習プリント					
成績評価方法	・オンラインレッスン評価60% 小テスト20% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	絵で見てパッと英会話		初対面①			
2回	絵で見てパッと英会話		初対面②			
3回	おもてなし英語		空港:チェックイン①			
4回	絵で見てパッと英会話		自己紹介・質問①			
5回	絵で見てパッと英会話		自己紹介・質問②			
6回	おもてなし英語		空港:チェックイン②			
7回	絵で見てパッと英会話		日常のあいさつ①			
8回	絵で見てパッと英会話		日常のあいさつ②			
9回	おもてなし英語		空港:預け入れ荷物の受託①			
10回	絵で見てパッと英会話		聞き返し・つなぎ①			
11回	絵で見てパッと英会話		英語について			
12回	おもてなし英語		空港:預け入れ荷物の受託②			
13回	絵で見てパッと英会話		あいづち			
14回	絵で見てパッと英会話		お礼			
15回	おもてなし英語		空港:施設案内			

対象学年	1年	学期	通年	学科	エアライン 科	
科目名	航空業界研究				クラス	Q
担当講師(フルネーム)	吉原正彦				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	航空業界の知識、業種、空港、航空機等について講義 エアポートビジネスが支える航空運送事業について講義				授業形態	講義
到達目標	航空業界では、どのような業務が行われているか理解し、就職活動に役立つ知識を習得する。					
使用テキスト	エアポート ビジネス入門・必要に応じプリント配布					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		授業の目的について説明する 前期授業内容の進め方、成績評価方法について説明する 航空業界に対するイメージについて意見交換を行わせ理解度を確認する			
2回	エアポートビジネス		航空会社の業務とそれを取り巻く関連会社の業務について学ぶ 空港で従事する官公庁(航空局・CIQ等)について学ぶ 空港の旅客、貨物の取り扱い能力について学ぶ			
3回	航空輸送事業の歴史		航空輸送事業の歴史について学ぶ 航空憲法(45・47体制)の廃棄と規制緩和について学ぶ 航空会社の新規参入と格安航空会社(LCC)の台頭について学ぶ			
4回	航空業界、近年の動向		共同運航便(コードシェア)の就航について学ぶ 航空会社グループ化(アライアンス)の進展について学ぶ 給油特別付加運賃(オイル・サーチャージ)の導入、その後の影響について学ぶ			
5回	日本の空港		空港の種類(拠点空港・地方管理空港・共用空港・その他の空港)について学ぶ 空港の機能、施設及び空港整備計画の現状について学ぶ 小テスト(採点と解答説明)			
6回	空港業務の概要		空港ビル会社・空港事務所・CIQ関連業務について学ぶ 航空会社及び関連会社の業務内容について学ぶ 警備会社・旅客サービス業・航空貨物代理店・フォアオーダー・通関業者について学ぶ			
7回	航空機の特性		交通機関としての特性について学ぶ 商品としての特性について学ぶ 航空機の歴史、現在活躍中の航空機及び将来の航空機について学ぶ			
8回	航空会社の仕事		JALグループ航空会社と関連会社の組織と業務内容について学ぶ ANAグループ航空会社と関連会社の組織と業務内容について学ぶ			
9回	航空会社の仕事		日本における中堅航空会社と関連会社の組織と業務内容について学ぶ 日本の格安航空会社と日本に就航している外資系格安航空会社について学ぶ			
10回	航空会社の仕事		出発時における旅客業務の一般的な流れについて学ぶ 到着時における旅客業務の一般的な流れについて学ぶ 空港における旅客業務のポイントを学ぶ			
11回	航空会社の仕事		運航管理業務(ディスパッチ)、ステーション・コーディネーション業務について学ぶ 運航支援業務(グランドハンドリング業務)について学ぶ			
12回	航空会社の仕事		整備業務、ケータリング業務について学ぶ 旅客送迎サービス業務(出発・到着)について学ぶ			
13回	航空会社の仕事		航空貨物の輸送実績推移と航空貨物輸送の特徴について学ぶ 輸出入貨物の一般的な流れについて学ぶ 航空貨物の搭載方法及び荷役機器の取扱いについて学ぶ			
14回	航空保安		保安対策基準の脅威レベル(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)について学ぶ 搭乗旅客および機内持ち込み手荷物に関わる保安対策基準について学ぶ 受託手荷物に関わる保安対策基準について学ぶ			
15回	航空業界、今後の動向		航空業界の今後の動向について学ぶ 小テスト(採点と解答説明)			

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	エアライン科	
科目名	エアカーゴ概論				クラス	Q
担当講師(フルネーム)	秦隆益				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	①国内・国際貨物、郵便取扱い業務およびロードコントロール業務を経験 ②航空貨物取扱い全般に加えてその他付随する他業務について講義				授業形態	講義&演習
到達目標	航空貨物取扱いについての基礎知識を学ぶことにより、航空業務への視野を広げる					
使用テキスト	エアカーゴマニュアル 資料プリント配布					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	・年間コースの説明 ・空港での仕事と役割 ・航空業界認識度調査(どのような職種の人々が働いているのか/ディスカッション・質問形式) ・航空機には何が搭載されているか(グループディスカッション形式)				
2回	航空機概要	・航空機の種類(WIDE/NARROW BODYの違い) ・内航機と外航機について ・各機種貨物室の説明				
3回		・ULDの種類について ・搬送器材・搭載器材・その他の補助器材 ・理解度クイズ				
4回	各種コード/用語説明	・空港コード(IATA/ICAOの違い) ・航空会社コード(PREFIX) ・国コード ・代理店コード ・用語説明 ・理解度クイズ				
5回	航空貨物概要	・航空輸送の役割 ・貨物の種類 ・国内・国際貨物の違い				
6回	国内貨物輸送	・国内貨物の流れ ・国内貨物代理店について ・運送状の役割 ・国内貨物受託要件 ・航空保安				
7回		・混載貨物・小口貨物の違い ・貨物受託から引渡しまで ・継越/相次運送 ・運送における優先順位				
8回		・運送約款/運送責任 ・貨物セールの役割 ・理解度クイズ				
9回	郵便の輸送	・国内郵便物の種類 ・コンテナ郵便 ・外国郵便物 ・郵便物の受託から引渡しまで ・米国軍事郵便物				
10回	国際貨物輸送	・国際貨物の流れ ・税関手続きについて				
11回		・運送状の説明 ・国際貨物代理店について ・各種手続き済み貨物について(READY FOR CARRIADGE) ・国際貨物の受託から引渡しまで ・保税運送について				
12回	各種法令	・航空法について ・関税法について ・各種検疫について				
13回	特殊貨物	・PER/WET貨物 ・動物 ・遺体/遺骨 ・危険物 ・貴重品				
14回	運賃計算	・国内運賃および料金の種類/適用・計算 ・国際貨物運賃について ・理解度クイズ				
15回	前期のまとめ	・前期授業の振り返り ・期末試験対策				

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	エアライン科	
科目名	ホスピタリティ学				クラス	Qクラス
担当講師(フルネーム)	小杉恵美子 益田和恵				実務経験	無
授業概要(内容)	空港におけるホスピタリティについて実践例を交えながら、気づきの感度を高める				授業形態	講義 & 演習
到達目標	ホスピタリティマインドを身に付ける					
使用テキスト	適宜書籍からの抜粋					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	自己紹介で自分をアピールする	一人ひとりに自己紹介してもらい、良い点、改善点をアドバイスする。 これからの就職活動において、重要である好印象の自己紹介、また、人前で話すことに慣れる				
2回	仕事の意義を考える	自分の選んだ仕事在社会においてどのような意義があるのか、考える DVD視聴後、その人の働き方について考え、グループディスカッションする				
3回	これまでに自分が受けた感動のサービスについて	課題として考えてきた、過去に自分が受けた感動のサービスについて発表する 他の人の発表について質疑応答(なぜ感動したのかポイントを追求する)				
4回	ホスピタリティとサービスの違いを理解する①	具体的な事例を基にホスピタリティとサービスの違いについて理解を深める 無上意のサービスを紹介し、その内容について考える				
5回	ホスピタリティとサービスの違いを理解する②	具体的な事例を基にホスピタリティとサービスの違いについて理解を深める 無上意のサービスを紹介し、その内容について考える				
6回	気づきの感度を高める①	書籍の中のエピソードから、ホスピタリティについて考える 一人で考えをまとめて、他の人とディスカッションし、それを発表する				
7回	気づきの感度を高める②	書籍の中のエピソードから、ホスピタリティについて考える 一人で考えをまとめて、他の人とディスカッションし、それを発表する				
8回	空港で働く先輩の話	ランプで働く先輩、空港で旅客担当の先輩の話聞き、その後質疑応答 車座で先輩との意見交換の時間を設ける				
9回	お手伝いが必要なお客様①	バリアフリーとは何かについて考えよう 車いすをご利用のお客様への対応について学ぶ				
10回	お手伝いが必要なお客様②	耳が不自由なお客様、目が不自由なお客様への対応について学ぶ				
11回	航空業界について	航空業界の現状について、西鉄エアサービス株式会社 木津社長から講話				
12回	気づきを体験する①	実際に自分がお店でサービスを体験する 実体験から、ホスピタリティについて考え、発表する				
13回	気づきを体験する②	実際に自分がお店でサービスを体験する 実体験から、ホスピタリティについて考え、発表する				
14回	制服を着て働くということ	空港で制服を着て働くということについて考え、理解する 制服を着こなすことに必要なことについて				
15回	決意表明	これまで受けた授業で学んだことを今後どのように活かしていくか これからどのように頑張っていくのか、みんなの前で決意表明する				

対象学年	1年	学期	通年	学科	エアライン 科	
科目名	就職活動講座				クラス	Q
担当講師(フルネーム)	小林俊也				実務経験	無
授業概要(内容)	自己分析・企業研究を進め、就職試験のための具体的な活動を習得する。				授業形態	講義
到達目標	就職活動の重要性を認識し、自己PR・志望動機を文章にする。					
使用テキスト	専門学校生のための就職内定基本テキスト・就職ノート・プリント					
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 提出物・授業態度・身だしなみ・出席率により評価				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション①		授業の進め方、評価方法について 学生の自己紹介(志望職種、希望勤務地、志望のきっかけ、強み) 「仕事」を考える(就職とは何か、なぜ働くのか)			
2回	オリエンテーション②		学生の自己紹介(志望職種、希望勤務地、志望のきっかけ、強み) 「仕事」を考える(就職とは何か、なぜ働くのか)			
3回	就職活動の心得 就職活動の流れ①		就職活動の心得 学生と社会人の違いを考える 企業で求められる人材とは			
4回	就職活動の流れ② 自己分析①		就職活動の流れを知ろう スケジュール管理をしよう→就職ノートを作ろう 就職活動は自己分析から始まる			
5回	自己分析②		ライフラインチャートを作ろう 「これまでに何をしてきたか」を考えよう			
6回	自己分析③		「今、何をしているか」を考えよう 「これから何をしたいか」を考えよう			
7回	自己分析④		「努力したこと」を考えよう			
8回	自己分析⑤		「自分の性格」を考えよう 「長所・短所」を考えよう			
9回	自己分析⑥		「好きなこと」「できること」「得意なこと」を考えよう 「資格」の活かし方を考えよう			
10回	企業研究①		企業研究の進め方 就職室を活用しよう			
11回	企業研究②		企業研究をしよう 求人票をチェックしよう			
12回	企業研究③		就職室を活用し、企業研究をする			
13回	企業研究④		就職室を活用し、企業研究をする			
14回	企業研究⑤		就職室を活用し、企業研究をする			
15回	企業研究⑥ まとめ		入社後の自分をイメージしよう 夏季休暇中の課題「自己PR」と「志望動機」作成			

対象学年	1年	学期	通年	学科	エアライン科	
科目名	空港実務				クラス	Q①
担当講師(フルネーム)	原田歩				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	国内の空港や航空会社の特徴、国内線におけるお客さまの流れを学ぶ チェックイン業務、ゲート業務、アナウンス業務など実技を交えながら学ぶ				授業形態	講義
到達目標	国内線の基礎知識を習得する					
使用テキスト	ANAグランドスタッフ入門					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	授業の目的、進め方、成績評価方法について 航空業界について GSに求められる人材について考える				
2回	日本の空港	各空港の特徴を学ぶ 空港の3レターを覚える				
3回	日本の航空会社	各航空会社の特徴を学ぶ 航空会社の3レター・3レターを覚える				
4回	サービス	FSCとLCCについて学ぶ 良いサービスとは何か考える				
5回	GSの業務と役割①	旅客ハンドリング担当会社について学ぶ GSの業務形態を学ぶ				
6回	GSの業務と役割②	GSの業務内容を学ぶ チェックイン業務 アナウンス業務				
7回	GSの業務と役割③	GSの業務内容を学ぶ チェックイン業務 アナウンス業務				
8回	GSの業務と役割④	GSの業務内容を学ぶ ゲート業務 アナウンス業務				
9回	GSの業務と役割⑤	GSの業務内容を学ぶ ゲート業務 アナウンス業務				
10回	Webサイト	各社Webサイトを比較する 空席照会 各種サービス				
11回	手荷物①	受託・持込み手荷物のルールを学ぶ 手荷物タグについて学ぶ 収納ケースについて学ぶ				
12回	手荷物②	危険物について学ぶ BAGトラブルについて学ぶ				
13回	国内線運賃	各種運賃とルールを学ぶ 各社運賃を比較する 搭乗方法について学ぶ				
14回	イレギュラー	欠航、遅延について学ぶ イレギュラー時のハンドリングについて学ぶ				
15回	まとめ	復習				

対象学年	1年	学期	通年	学科	エアライン科	
科目名	グランドハンドリング				クラス	Q
担当講師(フルネーム)	松下良朗				実務経験	有
授業概要(内容)	日々進歩している航空機地上業務・航空輸送業務に対応する知識を習得する 航空会社が求めるグランドハンドリング業務全般を理解する				授業形態	講義
到達目標	グランドハンドリング業務(地上支援業務)に必要な関連知識の習得を目的とする					
使用テキスト	航空機のグランドハンドリング(日本航空技術協会)・パワーポイント					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	・授業の進め方・授業内容の理解・自己紹介(講師・生徒) ・日本の空港・航空行政・空港の機能・今日の空港・空港で働くということをディスカッションしその意義を学ぶ ・社会情勢が航空輸送に与える影響・航空輸送力・航空会社の役割と使命を知りグランドハンドリングの概要を掴む				
2回	グランドハンドリング概要	・到着から出発までの流れと各作業の内容を知る・グランドハンドリング歴史と意義を学ぶ ・各業務と時間の関連を知る 業務紹介 ・航空保安 保安要員 制限区域/保安区域 LOAD FACTOR 定時制 DGT DLYの影響を学ぶ				
3回	搭載関連業務	・専門用語と業務の関連性を学ぶ ・空港コード IATA CODE/ICAO CODEについて学ぶ ・グランドハンドリングのSKD DGT 人員計画について知る				
4回	搭載関連業務	・小テスト ・TIE DOWN 固縛の実践 固縛用具 ・運航SKD/飛行時間/就航都市/PAYLOAD /時差				
5回	トローイング	・航空機トローイング操作(通常トローイング・ハンガー-IN/OUTについて学ぶ ・コンパス/スイングトローイング・アンダー・ハートローイング方法について学ぶ ・トローイングマン養成についてエアライン各社の養成を見る 将来に向けた機材開発とニーズに向けた養成				
6回	ブレーキマン	・ブレーキマンの作業手順を学ぶ ・ブレーキマンの養成について知る ・航空機の地上移動(緊急時の対応及びその役割について)を学ぶ				
7回	ウォッチマン	・ウォッチマンの仕事役割について学ぶ(翼端監視とは) ・監視業務における安全確保について学ぶ ・航空機のSIZEを把握する				
8回	搭載関連業務	・搭載計画(LOAD PLAN)作成業務の概要を学ぶ ・貨物室カテゴリーについて学ぶ 等級貨物室 ・ウェイト&バランス業務 航空機の重量 PAYLOADについて学ぶ ※小テスト				
9回	航空機貨物室	・機種別貨物室について学ぶ ULD方式/BULK方式 VOLについて ・貨物室カテゴリーについて学ぶ 等級貨物室 ・ULD DIM 設備 機能 等				
10回	搭載取り出し作業	・搭載取り出し作業の概要を知る 基本的な作業の流れを理解する ・特殊搭載物の取り扱いを学ぶ O/H OSC/OHC/HUM/AVI/DG等の搭載を学ぶ ・税関について 指定地外交通 手荷物お取り扱い 郵便物について学ぶ				
11回	航空機へのULD搭載	・UNIT LOAD DIVICE 種類 CLMから学ぶ ・SIZE PLT/CONT 実際のサイズを体験する ・ULD NBRから学ぶ BULK作業について学ぶ VOLについて 貨物室での搭載方法				
12回	搬出/搬入作業	・機種別ULD台数と搬出台数を理解する ・物量情報と搬出のタイミング 機側作業との連携 ・NBR照合と引き渡し 接点業務について知る ※小テスト				
13回	航空危険物の基礎	・航空危険物 危険物の定義 ・危険物輸送 分類/区分 国内法令 IATA DGR ICAOTI オレンジブック ・マーキング ラベリング 危険物の搭載作業全般を学び理解する				
14回	空港規定	・制限区域安全管理規定を知る ・ABL ERA 滑走路 誘導路 航空援助装置等について学ぶ				
15回	授業まとめ	・前期 授業の振り返り ・期末試験準備				

対象学年	1年	学期	通年	学科	エアライン科		
科目名	貿易実務				クラス	Qクラス(選択)	
担当講師(フルネーム)	中村秀茂				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	国際物流業界での通関実務、営業、企画経験あり。 貿易実務の基本を講義。貿易実務英語は毎回の講義の中で触れる。				授業形態	講義	
到達目標	貿易実務検定C級合格						
使用テキスト	最新貿易実務ベーシックマニュアル改訂4版(MHJ出版), 貿易実務検定C級試験問題集第9版(MHJ出版)						
成績評価方法	・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施						
	テーマ		授業内容				
1回	貿易に関するガイドライン		① 貿易とは (貿易と聞いて各自が持たれているイメージは?) ② 日本における貿易の歴史 ③ 貿易と生活の関わり合い				
2回	貿易と環境		① ワシントン条約 ② モントリオール議定書に関するオゾン層を破壊する物質 ③ バーゼル条約に関する特定有害廃棄物				
3回	貿易経済知識		① GATTとWTO ② 日本の貿易の現状				
4回	貿易経済知識		③ 貿易摩擦と規制緩和 ④ 経済圏の構築(EU, NAFTAなど) ⑤ AEO制度				
5回	貿易取引の全体像の理解		① 貿易取引と国内取引の相違点 ② 様々な貿易取引 ③ 貿易取引の流れ、貿易取引と関係機関				
6回	市場調査から契約の成立まで		① 市場調査と取引先の発見 ② 取引交渉、信用調査 ③ 契約書の基礎知識				
7回	信用状の基礎知識		① 信用状の基礎知識 ② 輸入信用状、輸出信用状の実務 ③ 信用状の条件の変更と不一致				
8回	品質条件・数量条件等		① 品質条件 ④ 価格条件 ② 数量条件 ③ 貨物受け渡し条件				
9回	インコタームズの基礎知識		① インコタームズとは? ② インコタームズによる貿易条件 ③ 輸送方法とインコタームズ				
10回	貿易運送		① 輸送形態の種類 ② 海上輸送				
11回	貿易運送		③ 航空輸送 ④ 国際複合一貫輸送				
12回	1回～6回までの復習		貿易と環境、貿易経済知識、貿易取引の全体像の理解、市場調査から契約の成立まで のおさらいとポイント				
13回	7回～11回までの復習		信用状の基礎知識、品質条件・数量条件等、インコタームズの基礎知識、貿易運送 のおさらいとポイント				
14回	過去問		貿易実務検定C級の過去問を解いてみる。答え合わせの中で理解を深める。				
15回	前期のまとめと期末試験		① 全体の振り返りとまとめ ② 期末試験				

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	エアライン科	
科目名	空港英語				クラス	Q
担当講師(フルネーム)	高木美希				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	エアライン業界で接客業務経験。空港での接客英語を講義。				授業形態	講義
到達目標	空港で使われる英会話や語彙を理解する。英語での接客・アナウンスが出来るようになる。					
使用テキスト	プリント					
成績評価方法	・小テスト80%平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	1
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		講師自己紹介と学生自己紹介 シラバスを使用し、講義概要、到達目標、成績評価方法の説明 飛行機に搭乗するまでの流れを把握する。			
2回	チェックイン業務		国内線での搭乗手続きの手順と注意事項を理解する。 接客英会話を学習後、実際にロールプレイを行い、英語での接客に慣れる。			
3回	チェックイン業務		小テスト① お手伝いが必要なお客様への接客英会話を理解する。			
4回	チェックイン業務		小テスト② マイレージについて、及び経由便の搭乗手続き等についての接客英会話を理解する。			
5回	チェックイン業務		小テスト③ 手荷物の種類と取り扱う際の注意事項を理解する。 持ち込みに制限のある荷物について理解する。			
6回	ゲート業務		小テスト④ 英語アナウンスの種類と、アナウンス実施時の注意点について学ぶ。 実際にアナウンスを経験する。			
7回	ゲート業務		小テスト⑤ 英語アナウンスのリスニングを行う。 様々な種類の英語アナウンスを聞き、理解を深める。			
8回	まとめ		前期で学んだ内容の振り返りと、航空業界で使用する専門用語について学ぶ。			

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	エアライン科	
科目名	ビューティーレッスン				クラス	QRW
担当講師(フルネーム)	山口ゆみこ				実務経験	無
授業概要(内容)	顔の役割、好感の持たれる笑顔が映える顔作り スキンケア、日頃のお手入れを学ぶ。立ち居振る舞いの美しい女性になろう。				授業形態	講義&演習
到達目標	30分以内に好感の持たれるメイクアップができるようになる。					
使用テキスト	プリント配布					
成績評価方法	日頃の授業に意欲的に取り組んでいるか。 最終試験で30分以内にフルメイクができるようになる。				単位数	1
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	『顔』の役割		顔の役割 笑顔の大切さ 人相心理学による顔分析 立ち居振る舞い			
2回	スキンケア		肌のメカニズム 日頃の肌のお手入れ方法 クレンジングの仕方・化粧水コットンパック			
3回	ベースメイクアップ		中高く立体的な骨格に見えるファンデーションの塗り方 骨格修正 血色を良く見せるニュアンスカラー			
4回	アイメイク・アイブロウ		目元に立体感を与えるアイメイク方法 理想的な眉のガイドライン 顔を立体的に見せる眉の書き方			
5回	リップ・チーク・ハイライト		自分の肌色に合うリップカラーを知る 自分に似合うチークカラーと入れ方 ハイライトで顔を立体的に見せる入れ方			
6回	フルメイク1		責任感があり、好感を持たれるメイク 自分一人でフルメイクを行う 30分以内で行う			
7回	最終試験		責任感があり、好感を持たれるメイク 30分以内に行う			

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	エアライン科	
科目名	危険物取扱者対策(選択)				クラス	Q
担当講師(フルネーム)	池内 勝				実務経験	有(鉄道業界勤務歴)
授業概要(内容)	国家試験 危険物取扱者乙種4類の免許取得及び危険物取扱全般				授業形態	講義
到達目標	国家試験 危険物取扱者乙種4類の免許取得					
使用テキスト	危険物取扱必携法令編及び実務編					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	国家資格内容	授業内容の説明及びスケジュールについて 授業の目的及び目標について 危険物の種類について				
2回	危険物に関する法令	危険物の定義及び分類について 指定数量について 製造所等の区分、申請等の手続きについて				
3回	危険物に関する法令	危険物取扱者の責務について 危険物保安監督者の責務について 危険物保安統括管理者の責務について				
4回	危険物に関する法令	危険物施設保安員の業務内容について 予防規定について 製造所等の規制について				
5回	危険物に関する法令	製造所等の規制について				
6回	危険物に関する法令	製造所等の規制について				
7回	燃焼及び消化	物理及び化学の基礎について				
8回	燃焼及び消化	燃焼の定義、消化の原理について 消火方法、消火設備について				
9回	過去問題	過去問題を解く 問題解説				
10回	過去問題	過去問題を解く 問題解説				
11回	試験の復習	試験の復習及び今後の対策について				
12回	試験の復習	試験の復習及び今後の対策について				
13回	試験の復習	試験の復習及び今後の対策について				
14回	危険物のまとめ	前期のまとめ及び後期に向けての対策について				
15回	期末試験対策	期末試験対策について				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	エアライン 科	
科目名	フライトオペレーション				クラス	O・P
担当講師(フルネーム)	吉原正彦				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	航空機、航空業界の歴史や仕組み、航空管制の知識、空港の構造、運航管理業務等、について講義				授業形態	講義
到達目標	航空機運航の流れ、運航業務の役割・目的を理解し、業務に役立つ知識を習得する					
使用テキスト	航空知識のABC・必要に応じプリント配布					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	授業の目的について説明する 授業内容の進め方、成績評価方法について説明する 「安全で快適な空の旅」について意見交換を行う				
2回	航空機の開発史	飛行機の誕生から旅客機としての運航までを学ぶ 世界で繰り広げられた開発競争について学ぶ 大型化・高速化から、効率や環境性能が重視される旅客機について学ぶ				
3回	旅客機の区分	機体の大きさによる区分について学ぶ 旅客機の性能・能力による区分について学ぶ エンジンの種類による区分について学ぶ				
4回	航空機運航	航空機と飛行機の違いについて学ぶ 飛行方式・飛行条件について学ぶ 安全に飛ばすための計器や操縦システムについて学ぶ				
5回	空港施設	空港の基本構造について学ぶ 滑走路の長さや向きの決め方について学ぶ 誘導路とエプロンの違いについて学ぶ				
6回	空港施設	滑走路面に書いてある数字やラインの意味について学ぶ 航空法・空港整備法による空港の種類・役割とターミナル施設について学ぶ たくさんある空港灯火の種類について学ぶ				
7回	航空局の業務	航空局の歴史・役割について学ぶ 航空機運航と、その役割について学ぶ 小テスト(採点と解答説明)				
8回	通信・航法装置	旅客機が地上との連絡を行う装置類、位置や方向を知るための機器について学ぶ 運航に不可欠な通信・航法装置について学ぶ				
9回	航空管制業務	航空交通管制の役割について学ぶ 航空管制業務の種類について学ぶ 管制空域と航空路について学ぶ				
10回	航空管制業務	航空保安無線施設の種類について学ぶ VFR(有視界飛行方式)とIFR(計器飛行方式)について学ぶ フライトプランの作成と航空管制の流れについて学ぶ				
11回	航空管制業務	航空管制シミュレーション①離陸まで、について学ぶ 航空管制シミュレーション②上昇から巡航まで、について学ぶ 航空管制シミュレーション③下降から着陸まで、について学ぶ				
12回	運航管理	運行管理者の資格、業務概要と飛行計画書(フライトプラン)の目的・内容について学ぶ ATCフライトプランとカンパニー・フライトプランの違いについて学ぶ フライトプラン作成に欠かせない航空情報について学ぶ				
13回	運航管理用語	航空用語について学ぶ オペレーション用語とその意味について学ぶ				
14回	管制業務用語	航空無線基本用語とフォネティックコード(欧文通話表)について学ぶ 管制用語とその意味について学ぶ 小テスト(採点と解答説明)				
15回	まとめ	授業全体のまとめ、および補足				

対象学年	2年	学期	通年	学科	エアライン科	
科目名	観光地理				クラス	OPV
担当講師(フルネーム)	友納真				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	地域毎のおもな都市・都市コード・観光地を白地図に記入 有名観光地の映像を見る				授業形態	講義
到達目標	日本・海外の地域の特性、主な都市・有名観光地を覚える					
使用テキスト	国内観光地理サブノート／海外観光地理サブノート					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30%(小テスト・サブノートチェック・提出物等含む) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	・授業の進め方、評価方法 ・日本の地域の分け方と地域の中心都市 ・JR6社と新幹線・在来線／高速道路				
2回	九州①	福岡県・佐賀県 ・空港・交通・宿泊地・郷土料理・行事・土産等を学ぶ				
3回	九州②	長崎県・大分県 ・空港・交通・宿泊地・郷土料理・行事・土産等を学ぶ				
4回	九州③	熊本県・宮崎県・鹿児島県 ・空港・交通・宿泊地・郷土料理・行事・土産等を学ぶ				
5回	北海道	北海道 ・道内の区分・交通・気候 ・空港・交通・宿泊地・郷土料理・行事・土産等を学ぶ				
6回	沖縄	沖縄県 ・県内の区分・交通・気候 ・空港・交通・宿泊地・郷土料理・行事・土産等を学ぶ				
7回	関東	東京都・神奈川県 ・空港・交通・宿泊地・郷土料理・行事・土産等を学ぶ				
8回	関西	大阪府・京都府 ・空港・交通・宿泊地・郷土料理・行事・土産等を学ぶ				
9回	海外旅行の基礎知識	・海外旅行の基礎知識 ・時差・言語・宗教・文化の違いを学ぶ ・海外の地勢を学ぶ				
10回	韓国	韓国 ・日本からのアクセス・交通・主要都市・観光地・郷土料理等を学ぶ				
11回	中国①	中国・香港・マカオ・台湾 ・日本からのアクセス・交通・主要都市・観光地・郷土料理等を学ぶ				
12回	中国②	シルクロード・チベット ・日本からのアクセス・交通・主要都市・観光地・郷土料理等を学ぶ				
13回	東南アジア①	ベトナム・ラオス・カンボジア・ミャンマー・タイ ・日本からのアクセス・交通・主要都市・観光地・郷土料理等を学ぶ				
14回	東南アジア②	マレーシア・シンガポール・インドネシア・フィリピン ・日本からのアクセス・交通・主要都市・観光地・郷土料理等を学ぶ				
15回	オセアニア	・オーストラリア・ニュージーランド ・日本からのアクセス・交通・主要都市・観光地・郷土料理等を学ぶ				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	エアライン科	
科目名	コミュニケーションイングリッシュ				クラス	O・P・Vクラス
担当講師(フルネーム)	久保田博子				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	日常生活および空港・航空機内で使う語彙や会話表現を学び オンラインレッスンで実践する				授業形態	講義&演習
到達目標	学んだ英語をエアライン業界での接客に活かせるようにする					
使用テキスト	『絵で見てパッと英会話トレーニング』 予習・復習プリント					
成績評価方法	・オンラインレッスン評価60% 小テスト20% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	絵で見てパッと英会話		空港で迎える①			
2回	絵で見てパッと英会話		空港で迎える②			
3回	おもてなし英語		食事・飲み物の提供			
4回	絵で見てパッと英会話		観光の計画①			
5回	絵で見てパッと英会話		観光の計画②			
6回	おもてなし英語		免税品販売			
7回	絵で見てパッと英会話		日本を案内する①			
8回	絵で見てパッと英会話		日本を案内する②			
9回	おもてなし英語		イレギュラー対応①			
10回	絵で見てパッと英会話		日本を案内する③			
11回	絵で見てパッと英会話		日本を案内する④			
12回	おもてなし英語		イレギュラー対応②			
13回	絵で見てパッと英会話		家を訪ねる①			
14回	絵で見てパッと英会話		家を訪ねる②			
15回	おもてなし英語		よく聞かれる質問			

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	エアライン科	
科目名	TOEIC I				クラス	V
担当講師(フルネーム)	日高 郁子				実務経験	有
授業概要(内容)	語彙力を高め、音読、シャドウイングなどでリスニング力を強化してスコアアップにつなげる。問題を数多く解き、トレーニングする。 ※レベルに合わせるためシラバス通りに進まない場合があります。				授業形態	講義
到達目標	各自の目標スコアを達成する。					
使用テキスト	TOEIC L&R戦略的トレーニング:レベル600 / TOEIC L&R TEST 出る単特急 銀のフレーズ					
成績評価方法	・期末試験50% 単語熟語テスト30% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	Part1&Part5		1年次の復習 Part1 Part5			
2回	Part2&Part5&7		能動態、受動態 Part2 Part5,7 単語テスト			
3回	Part3&Part6		分詞 Part3 Part6 単語テスト			
4回	Part4&Part5		時制 Part4 Part5 単語テスト			
5回	Part3&Part7		前置詞、接続詞 Part3 Part7 単語テスト			
6回	Part5&6		代名詞、関係代名詞 Part5 Part6 (長文穴埋め問題の基本戦略) 単語テスト			
7回	Part7		Part7(長文の解き方) Part5 単語テスト			
8回	Part1,2&Part6		リスニング Part6 単語テスト			
9回	Part3,4&Part5		リスニング Part3,4&Part5 単語テスト			
10回	Part7		広告、チャット問題の攻略 Part7 単語テスト			
11回	模擬テスト (リスニング)		模擬テスト リスニング 解答 単語練習			
12回	模擬テスト (リーディング)		模擬テスト リーディング 解答 単語練習			
13回	模擬テスト復習		模擬テスト復習 解説 単語テスト			
14回	文法総復習		これまでの文法の総復習 Part7 単語テスト			
15回	期末対策		期末対策			

対象学年	2年	学期	通年	学科	エアライン科	
科目名	エアラインゼミ				クラス	V
担当講師(フルネーム)	脇山奈津美				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	企業分析・企業研究				授業形態	講義
到達目標	企業の魅力と軸をリンクさせ志望意欲の高い人材としてアピールできる					
使用テキスト	なし(オリジナルテキスト使用)					
成績評価方法	・課題レポート70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	☐ 授業の進め方 ☐ CA採用の現状について ☐ 面接練習				
2回	企業研究	☐ スピーチ ☐ 4社の企業研究(春休みの課題より) ☐ 面接練習				
3回	企業研究	☐ スピーチ ☐ 4社の企業研究(春休みの課題より) ☐ 面接練習				
4回	企業研究(ORG)	☐ スピーチ ☐ 業界人に聴く ☐ 面接練習				
5回	他職種理解	☐ スピーチ ☐ GSの仕事理解、魅力の確認 ☐ 面接練習				
6回	採用試験準備	☐ スピーチ ☐ 面接練習				
7回	企業研究(FDA)	☐ スピーチ ☐ 業界人に聴く ☐ 面接練習				
8回	採用試験準備	☐ スピーチ ☐ 面接練習				
9回	採用試験準備	☐ スピーチ ☐ 面接練習				
10回	企業研究(外資系エアライン)	☐ スピーチ ☐ 業界人に聴く ☐ 面接練習				
11回	採用試験準備	☐ スピーチ ☐ 面接練習				
12回	採用試験準備	☐ スピーチ ☐ 面接練習				
13回	企業研究(AMX)	☐ スピーチ ☐ 業界人に聴く ☐ 面接練習				
14回	採用試験準備	☐ スピーチ ☐ 面接練習				
15回	採用試験準備	☐ スピーチ ☐ 面接練習				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	エアライン科	
科目名	中国語				クラス	OPV
担当講師(フルネーム)	青山祐子				実務経験	無
授業概要(内容)	習得した中国語の音読、語彙の使い方、文の表現についての解説				授業形態	講義
到達目標	習得した中国語の表現を生かしながら、業務上で使うリスニング能力と会話能力をさらに高めることを目標とする。					
使用テキスト	中国語1年め（白水社）					
成績評価方法	・期末試験50% 平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	発音の復習	中国語の発音”声調” ”母音””子音”				
2回	第 1 課 中国人留学生と知り合	1. 人称代名詞 2. 動詞”是”の文 3. ”吗”の疑問文 □ 姓名の言い方				
3回	トレーニング1 第 2 課 携帯の写真を見て	1. 動詞が述語になる文 2. 指示代名詞 3. 疑問詞疑問文 4. ”的”				
4回	トレーニング2 第 3 課 いっしょに勉強しよう！	1. 形容詞が述語になる文 2. 副詞”也”と”都” 3. 所有を表わす”有” 4. 時を表わす語の位置				
5回	トレーニング3 第 4 課 ファストフード店で	1. 場所を表わす代名詞 2. 存在を表わす”有” 3. 省略疑問文”呢” 4. 反復疑問文				
6回	トレーニング4 第 5 課 Tシャツを買う	1. 数 詞 2. 量 詞 3. ”几”と”多少” 4. 所在を表わす動詞”在				
7回	トレーニング5 第 6 課 いっしょに遊びに出か	1. 日付・曜日の言い方 2. 時刻の言い方 3. 助動詞(1)”想”・”要” 4. 語気助詞の”吧”				
8回	トレーニング6 第 7 課 花火は何時から？	1. 前置詞(1)”在”・”从”・”离” 2. 動作の完了を表わす”了” 3. 動詞の重ね型				
9回	トレーニング7 第 8 課 学園祭	1. 助動詞(2)”会”・”能”・”可以” 2. 経験を表わす”过” 3. 動作の回数・時間の長さの表わし方 □時間の長さの言い				
10回	トレーニング8 第 9 課 カラオケに行く	1. 状態補語 2. 前置詞(2)”给”・”跟” 3. 連動文				
11回	トレーニング9 第 10 課 中国の映画を見る	1. 結果補語 2. 動作の進行を表わす”在” 3. 主述述語文				
12回	トレーニング10 第 11 課 帰国を前にして	1. 方向補語 2. 比較の言い方 3. 選択疑問文の”还是”				
13回	トレーニング11 第 12 課 空港で	1. 可能補語 2. ”是～的”の文 3. 2つの目的語をとる動詞				
14回	トレーニング12 よく使われるその他の	□ 時を表わす語 □ 時間の長さの尋ね方 □ 方向を表わす語 □ お金の数え方 □ 注意する100以上の数の数え方				
15回	期末テスト対策	今まで勉強した内容についてのおさらい				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	エアライン科	
科目名	航空業界受験対策				クラス	V
担当講師(フルネーム)	脇山奈津美				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	エントリーシート作成 各選考段階のポイントを理解した面接練習				授業形態	講義
到達目標	内定獲得に必要なスキルを高める					
使用テキスト	なし(オリジナルテキスト使用)					
成績評価方法	平常点100%(出席・課題・授業態度含む) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		☐ スピーチ ☐ 春休み課題の確認 ☐ 採用試験までの準備について ☐ 授業の進め方について			
2回	ビジネスマナー		☐ 業界人、社会人としての言動と考え方			
3回	採用試験準備		☐ スピーチ ☐ WSB受験対策 ☐ 面接練習			
4回	採用試験準備		☐ スピーチ ☐ WSB受験対策 ☐ 面接練習			
5回	採用試験準備		☐ スピーチ ☐ 意図分析(前年度のESと面接質問) ☐ 面接練習			
6回	採用試験準備		☐ スピーチ ☐ エントリーシート作成と添削／前年度ESの確認(経験の当てはめ) ☐ 面接練習			
7回	採用試験準備		☐ スピーチ ☐ エントリーシート作成と添削／前年度ESの確認(経験の当てはめ) ☐ 面接練習			
8回	採用試験準備		☐ スピーチ ☐ エントリーシート作成と添削 ☐ 面接練習			
9回	採用試験準備		☐ スピーチ ☐ エントリーシート作成と添削 ☐ 面接練習			
10回	採用試験準備		☐ スピーチ ☐ エントリーシート作成と添削 ☐ 面接練習			
11回	採用試験準備		☐ スピーチ ☐ エントリーシート作成と添削 ☐ 面接練習			
12回	採用試験準備		☐ スピーチ ☐ エントリーシート作成と添削 ☐ 面接練習			
13回	採用試験準備		☐ スピーチ ☐ エントリーシート作成と添削 ☐ 面接練習			
14回	採用試験準備		☐ スピーチ ☐ エントリーシート作成と添削 ☐ 面接練習			
15回	採用試験準備		☐ スピーチ ☐ エントリーシート作成と添削 ☐ 面接練習			

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	エアライン科	
科目名	CA受験対策 I				クラス	V
担当講師(フルネーム)	脇山奈津美				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	質問の意図を考え、理解する 各選考段階のポイントを理解した面接練習				授業形態	講義
到達目標	内定獲得に必要なスキルを高める					
使用テキスト	なし(オリジナルテキスト使用)					
成績評価方法	平常点100%(出席・課題・授業態度含む) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		☐ 授業の進め方 ☐ 自己理解 ☐ 質問の種類 ☐ 各選考のポイント			
2回	採用試験準備		☐ スピーチ ☐ 軸の見直しと企業とのリンク(添削と作成) ☐ 面接練習			
3回	採用試験準備		☐ スピーチ ☐ 学テカ、キャリアプラン(添削と作成) ☐ 面接練習			
4回	採用試験準備		☐ スピーチ ☐ 志望動機、自己PR(添削と作成) ☐ 面接練習			
5回	採用試験準備		☐ スピーチ ☐ エントリーシート作成と添削 ☐ 面接練習			
6回	採用試験準備		☐ スピーチ ☐ エントリーシート作成と添削 ☐ 面接練習			
7回	採用試験準備		☐ スピーチ ☐ エントリーシート作成と添削 ☐ 面接練習			
8回	採用試験準備		☐ スピーチ ☐ 面接練習			
9回	前半確認テスト (実技)		☐ プレ模擬面接			
10回	採用試験準備		☐ プレ模擬面接FB ・課題の確認と対策			
11回	採用試験準備		☐ スピーチ ☐ 面接練習			
12回	採用試験準備		☐ スピーチ ☐ 面接練習			
13回	後半確認テスト (実技)		☐ 模擬面接			
14回	採用試験準備		☐ 模擬面接FB ・プレ模擬面接との比較			
15回	採用試験準備		☐ スピーチ ☐ エントリーシート作成と添削 ☐ 面接練習			

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	エアライン	
科目名	CA受験対策Ⅱ				クラス	V
担当講師(フルネーム)	脇山奈津美				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	面接対策 本番を想定した面接練習				授業形態	講義
到達目標	様々な質問に、臆することなく自信をもって自己をアピールをすることができる					
使用テキスト	なし(オリジナルテキスト使用)					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	☐ 授業の進め方 ☐ 自己理解 ☐ オンラインでの注意点				
2回	採用試験準備	☐ 面接練習／ES作成				
3回	採用試験準備	☐ 面接練習／ES作成				
4回	採用試験準備	☐ 面接練習／ES作成				
5回	採用試験準備	☐ 面接練習／ES作成				
6回	採用試験準備	☐ 面接練習／ES作成				
7回	採用試験準備	☐ 面接練習／ES作成				
8回	採用試験準備	☐ 面接練習／ES作成				
9回	前半確認テスト (実技)	☐ プレ模擬面接				
10回	採用試験準備	☐ 面接練習／ES作成				
11回	採用試験準備	☐ 面接練習／ES作成				
12回	採用試験準備	☐ 面接練習／ES作成				
13回	後半確認テスト (実技)	☐ 模擬面接				
14回	採用試験準備	☐ 面接練習／ES作成				
15回	採用試験準備	☐ 面接練習／ES作成				

対象学年	2年	学期	通年	学科	エアライン科	
科目名	就職活動講座				クラス	O・P
担当講師(フルネーム)	小林俊也／吉原正彦				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	就職内定に向けて模擬面接を中心に面接対策を行う。 尚、内定取得者に対しては、社会人としての心構え等指導する。				授業形態	講義
到達目標	全員内定できる面接レベルを目標とする					
使用テキスト	適宜プリント配布					
成績評価方法	・提出物・授業態度・身だしなみ・出席率により評価 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	・業界求人動向と1年次後期の面接対策の振り返り ・現在の志望状況と就職活動状況確認				
2回	模擬面接①	・グループ面接(基本パターンの確認) ・フィードバック				
3回	模擬面接②	・グループ面接(基本パターンの確認) ・フィードバック				
4回	模擬面接③	・グループ面接(基本パターンの確認) ・フィードバック				
5回	模擬面接④	・グループ面接(応用) ・フィードバック				
6回	就職活動報告会	・就職活動報告と今後のスケジュール				
7回	模擬面接⑥	・グループ面接(応用) ・フィードバック				
8回	内定者報告会	・面接シチュエーション及び内容の共有				
9回	模擬面接⑦	・グループ面接(応用) ※内定者については、入社に向けての課題・準備				
10回	未内定者対策	・グループ(個人)面接 ※内定者については、入社に向けての課題・準備				
11回	未内定者対策	・グループ(個人)面接 ※内定者については、入社に向けての課題・準備				
12回	未内定者対策	・グループ(個人)面接 ※内定者については、入社に向けての課題・準備				
13回	未内定者対策	・グループ(個人)面接 ※内定者については、入社に向けての課題・準備				
14回	未内定者対策	・グループ(個人)面接 ※内定者については、入社に向けての課題・準備				
15回	新社会人に向けて	・新社会人に向けての決意発表 ・入社までの学校生活の送り方				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	エアライン科	
科目名	航空業界受験対策GS				クラス	OP
担当講師(フルネーム)	原田歩				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	GSのみならず就職試験に向け、対策を行う				授業形態	講義
到達目標	内定を目指し、働く覚悟を持つ					
使用テキスト	就職活動ノート(各自使用しているもの)、プリント					
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 課題、小テスト、授業態度にて評価する				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	授業の目的、進め方、成績評価方法について 各々の現状確認、春休みの振り返り 各社選考方法について				
2回	自己紹介	面接での自己紹介 動画での自己紹介 面接練習・ES添削				
3回	自己紹介	面接での自己紹介 動画での自己紹介 面接練習・ES添削				
4回	自己分析	自己分析を見直す 面接練習・ES添削				
5回	自己PR	面接での自己PR 動画での自己PR 面接練習・ES添削				
6回	自己PR	面接での自己紹介PR 動画での自己PR 面接練習・ES添削				
7回	求められる人物像	GSの業務、役割を復習する GSおよび目指す職種に求められる能力を考える 面接練習・ES添削				
8回	目指す人物像	キャリアプランを考え、3年後、5年後、10年後の姿を明確にする 人生プランを考える 面接練習・ES添削				
9回	志望動機	志望動機を見直す 面接練習・ES添削				
10回	志望動機	志望動機を見直す 面接練習・ES添削				
11回	サービス	サービスについて考える 面接練習・ES添削				
12回	クレーム	クレームについて考える 面接練習・ES添削				
13回	試験対策	面接練習・ES添削				
14回	試験対策	面接練習・ES添削				
15回	試験対策	面接練習・ES添削				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	エアライン 科	
科目名	航空業界受験対策(GH)				クラス	O・P選択
担当講師(フルネーム)	吉原正彦				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	就職活動の基本的な流れについて講義及び面接練習を行う。 内定が決まった学生は自己啓発に取り組ませる。				授業形態	講義
到達目標	採用試験に向けて具体的な方法を習得させ、目標に向け取り組ませ内定を勝ち取る。					
使用テキスト	専門学校生のための就職内定基本テキスト・就職ノート・プリント					
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 提出物、授業態度を基に評価する。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	授業の進め方、評価方法について説明する 就職活動(学校の規則・手続き等)について学ぶ 個々と面談(方向性の確認)				
2回	受験準備	就職活動(情報収集・航空業界の現状・企業研究・受験対策)について学ぶ 求人企業の採用状況について確認する 書類の作成(志望動機、等)				
3回	受験対策	就職活動(情報収集・航空業界の現状・企業研究・受験対策)について学ぶ 求人企業の採用状況について確認する 書類の作成(志望動機、等)				
4回	受験対策	就職活動(情報収集・航空業界の現状・企業研究・受験対策)について学ぶ 求人企業の採用状況について確認する 書類の作成(志望動機、等)				
5回	受験対策	就職活動(情報収集・航空業界の現状・企業研究・受験対策)について学ぶ 求人企業の採用状況について確認する 面接練習				
6回	受験対策	就職活動(情報収集・航空業界の現状・企業研究・受験対策)について学ぶ 求人企業の採用状況について確認する 面接練習				
7回	受験対策	就職活動(情報収集・航空業界の現状・企業研究・受験対策)について学ぶ 求人企業の採用状況について確認する 面接練習				
8回	受験対策	就職活動(情報収集・航空業界の現状・企業研究・受験対策)について学ぶ 求人企業の採用状況について確認する 面接練習				
9回	受験対策	就職活動(情報収集・航空業界の現状・企業研究・受験対策)について学ぶ 求人企業の採用状況について確認する 内定者は就業に向けての準備を行う				
10回	受験対策	就職活動(情報収集・航空業界の現状・企業研究・受験対策)について学ぶ 求人企業の採用状況について確認する 内定者は就業に向けての準備を行う				
11回	受験対策	就職活動(情報収集・航空業界の現状・企業研究・受験対策)について学ぶ 求人企業の採用状況について確認する 内定者は就業に向けての準備を行う				
12回	受験対策	就職活動(情報収集・航空業界の現状・企業研究・受験対策)について学ぶ 求人企業の採用状況について確認する 内定者は就業に向けての準備を行う				
13回	受験対策	就職活動(情報収集・航空業界の現状・企業研究・受験対策)について学ぶ 求人企業の採用状況について確認する 内定者は就業に向けての準備を行う				
14回	受験対策	就職活動(情報収集・航空業界の現状・企業研究・受験対策)について学ぶ 求人企業の採用状況について確認する 内定者は就業に向けての準備を行う				
15回	まとめ	企業別、雇用形態の違いについて学ぶ 社会人としての自覚を持たせる 個々と面談				

対象学年	2年	学期	通年	学科	エアライン科	
科目名	ペン字				クラス	OPVクラス
担当講師(フルネーム)	安藤清子				実務経験	無
授業概要(内容)	様々な実用書の書式とバランスを指導				授業形態	講義&演習
到達目標	見栄えのよい実用書					
使用テキスト	オリジナルテキスト・下敷き・ペン2種類・筆ペン					
成績評価方法	提出物70%、小テスト、授業態度 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験						
	テーマ	授業内容				
1回	文字の基本(復習)	文字のバランスと書式 横書きの書式とバランス 縦書きの書式とバランス ～ 活字と書き文字を学ぶ～ 書写理論 復習と確認				
2回	❖実用書を学ぶ①	実用書に大切な文字の書き取り練習 字形の整え方を学ぶ 書写理論 復習と確認				
3回	❖実用書を学ぶ②	はがきの表書き はがきの表書きの書式とバランス 書写理論 復習と確認				
4回	❖実用書を学ぶ③	封筒の書き方と書式 お礼状を入れる封筒(和封筒長形4号)表書き・裏書き ～個人宛・企業宛の書き方と書式～				
5回	❖実用書を学ぶ④	封筒の書き方と書式 大切な書類を入れる封筒(長形3号)表書き・裏書き ～個人宛・企業宛の書き方と書式～				
6回	❖実用書を学ぶ⑤	封筒の書き方と書式 履歴書が入るサイズの封筒(角形2号)表書き・裏書き ～個人宛・企業宛の書き方と書式～				
7回	❖実用書を学ぶ⑥	封筒まとめ 小テスト 色んな封筒の書き分けと共通点 書写理論 まとめ				
8回	❖実用書を学ぶ⑦	お礼状の書き方 手紙文を学ぶ ～お礼状によく出る漢字の書き取り練習～ お礼状を便箋に書く				
9回	✍実用書を学ぶ①	✍筆ペンの特徴と書き方 筆ペンで自分の名前を練習(楷書・行書) ～行書の特徴と書き方～ 芳名帳の書き方 ～住所と名前の書式とバランス～				
10回	✍実用書を学ぶ②	✍慶事の書き方と書式 「御祝」「寿」の文字の練習と熨斗袋の収め方 水引と熨斗～由来とマナー～				
11回	✍実用書を学ぶ③	✍弔事の書き方と書式 「御仏前」「御霊前」の文字の練習と熨斗袋の収め方 水引と熨斗～由来とマナー～				
12回	✍実用書を学ぶ④	✍命名書の書き方と書式 自分の好きな名前で命名書を書く ～ 由来と書式を学ぶ～				
13回	✍実用書を学ぶ⑤	✍ポスターの書き方と書式 レイアウトを参考にして活字からポスターを書く ～文字大小と文字の並べ方の確認～				
14回	✍実用書を学ぶ⑥	✍暑中見舞いの書き方と書式 担任の先生に送る暑中見舞いを書く 表書き(復習)・裏書きのまとめ方				
15回	✍実用書を学ぶ⑦	✍暑中見舞いの書き方と書式 まとめ～1枚の仕上げる～ ❖レポート課題「実用書を学んで」				

国際ホテルマネジメント科 観光ビジネス進学科

* 共通する科目は、国際ホテルマネジメント科にあります。

対象学年	1年	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	ホテル総論				クラス	T
担当講師(フルネーム)	松本範子				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	ホテルの基礎を学び、ホスピタリティ業界に必要なことを身に着ける				授業形態	講義
到達目標	ホテルマンになるための基礎知識、心構えを習得する					
使用テキスト	基礎から学ぶ ホテルの概論					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	ホテルとは何か		ホテルの定義 ホテルと旅館の違い			
2回	ホテルの分類		機能・グレード・経営別分類			
3回	ホテルの歴史①		宿泊施設の始まり ヨーロッパのホテル			
4回	ホテルの歴史②		アメリカのホテル			
5回	日本のホテルの歴史①		日本の宿泊施設の始まり ホテルの始まり			
6回	日本のホテルの歴史②		海外ホテルチェーンの進出			
7回	ホテル産業の特徴		ホテルの商品 3つの要素			
8回	ホテル内の職種①		宿泊部			
9回	ホテル内の職種②		料飲部			
10回	ホテル内の職種③		管理部			
11回	客室の知識		客室のタイプ 用途別客室			
12回	ホテルマンの仕事①		予約からチェックアウトまで			
13回	ホテルマンの仕事② 期末テスト対策		予約からチェックアウトまで 続き			
14回	期末テスト サービスとは					
15回	テスト振り返り・まとめ		テスト解説 前期のまとめ			

対象学年	1年	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	フロントサービス				クラス	T
担当講師(フルネーム)	小西翼				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	宿泊部門(ドアマン、ベルマン)業務の習得。また、それに関連する他部署の業務についての知識を学ぶ。				授業形態	講義&演習
到達目標	宿泊部門(ドアマン、ベルマン)と関連部署についての業務内容の理解と技術の習得。					
使用テキスト	ホテルテキスト 宿泊Ⅱ フロント・サービス編					
成績評価方法	・期末試験50% 実技テスト20% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	自己紹介 成績評価と授業スケジュールの説明 ホテルとは…				
2回	宿泊部とは	ホテルでは何をすることができる？ ⇒ 宿泊部の役割とは なぜホテルを利用する？				
3回	宿泊部とは	宿泊部の組織と業務内容				
4回	ドアマンの業務	ドアマンの日常業務 身だしなみ・心構え お客様の送迎				
5回	ドアマンの業務	玄関周辺での業務 バレーサービス 案内業務				
6回	ドアマンの業務	お客様の送迎(実技)				
7回	ベルマンの業務	ベルマンとは ベルマンの日常業務 身だしなみ・心構え				
8回	ベルマンの業務	チェックイン・チェックアウト				
9回	ベルマンの業務	団体客への対応 ページング・ルームチェンジ				
10回	ベルマンの業務	待機中の要点 ロビー周辺の整理・整頓・チェック ロビー管理				
11回	ベルマンの業務	デリバリー・バゲッジイン 新聞の配達と発注 ドアオープン タクシー、ハイヤー、リムジンバス 宅配便の取り扱い 旗の取り扱い(掲揚・降納)				
12回	クローク係の業務	クローク係とは クロークルームの整理と準備 クローク業務の作業手順				
13回	クローク係の業務	実技テストの課題発表・反復練習				
14回	実技テスト	実技テスト(クローク業務)を行う。				
15回	前期まとめ	前期の学習内容についてのまとめ、振り返り				

対象学年	1年	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント 科	
科目名	レストランオペレーション				クラス	T
担当講師(フルネーム)	長野美穂				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	料飲サービスにおける基本動作、知識を学ぶ 企業実習を意識した講義と実践を行う				授業形態	講義&演習
到達目標	企業実習にむけて日本の料飲サービスの基礎を身に付ける					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	授業の目的と進め方、評価方法について説明する 身だしなみと歩き方のチェック 姿勢改善トレーニング				
2回	料飲部門の概要	レストランの種類について学ぶ FB部門の特徴を知る テーブルクロスの取り扱い方を実践、チェアサービス				
3回	フランス料理①	シルバーウェアの基礎知識と取り扱い方を学ぶ テーブルクロスの取り扱い方の復習と実践				
4回	フランス料理②	シルバーウェアの基礎知識と取り扱い方を学ぶ フルコースの流れを学ぶ テーブルセッティングを行う				
5回	フランス料理③	グラスウェアの基礎知識と取り扱い方を学ぶ ウォーターピッチャーのサービス				
6回	フランス料理④	レストラン用語を学ぶ トーションの扱い方を学ぶ トレーサービス実践				
7回	その他の西洋料理	イタリア料理を知る トレーサービス復習				
8回	ドリンク①	コーヒーについて学ぶ ナプキンの折り方実践				
9回	ドリンク②	ティーについて学ぶ ナプキンの折り方実践				
10回	ドリンク③	アンフュージョンについて学ぶ 皿サービス実践				
11回	日本料理①	会席料理について学ぶ 和室での立居振舞い実践				
12回	日本料理②	箸について手の知識を学ぶ 箸の持ち方実践 お鮎子の扱い方				
13回	アルコールについて	日本酒・焼酎について サーバー(ウェスタン)サービス				
14回	期末試験課題発表	期末試験の課題を発表 練習				
15回	期末試験	実技試験(スーツ着用) 制限時間内に課題ロールプレイングを行う				

対象学年	1・2年共通	学期	前期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科		
科目名	日本語能力試験対策 I（語彙）				クラス	S留T留①	
担当講師（フルネーム）	永吉美知子				実務経験	無	
授業概要（内容）	難度高い語彙を習得しなければ合格はできないので 自宅学習が必須 反復学習は必要なので予習・復習は欠かさずやるように				授業形態	講義	
到達目標	N1合格						
使用テキスト	完全マスターN1 語彙・随時プリントを配布・20日で合格						
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施						
	テーマ	授業内容					
1回	検定語彙 1	1章 1課 家族					
2回	検定語彙 2	1章 2課 人間関係 1課 復習テスト					
3回	検定語彙 3	2章 1課 日常生活 復習テスト					
4回	検定語彙 4	2章 2課 健康 復習テスト					
5回	検定語彙 5	3章 芸術 スポーツ 復習テスト					
6回	検定語彙 6	4章 教育 復習テスト					
7回	検定語彙 7	5章 仕事 復習テスト					
8回	検定語彙 8	6章 メディア 復習テスト					
9回	検定語彙 9	7章 1課 経済と産業 復習テスト					
10回	検定語彙 10	模擬テストとFB					
11回	検定語彙 11	模擬テストとFB					
12回	検定語彙 12	7章 2課 政治 法律 歴史 復習テスト					
13回	検定語彙 13	7章 3課 社会問題					
14回	検定語彙 14	学期末試験対策					
15回	検定語彙 15	8章 1課 自然・地形					

対象学年	1・2年共通	学期	前期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本語能力試験対策 I N2 語彙				クラス	ST②
担当講師(フルネーム)	中村千春				実務経験	有
授業概要(内容)	日本語能力試験N2語彙対策				授業形態	講義
到達目標	日本語能力試験N2合格または同等レベルの日本語能力をつける					
使用テキスト	新完全マスター語彙 日本語能力試験N2					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	1章 人間	L.1 親類・友人・知人 L.2 人の性格・特長				
2回	1章 人間	L.3 人に対する感情・行動 小テスト Dic.				
3回	2章 生活	L.1 食生活 L.2 家事				
4回	2章 生活	L.3 健康 小テスト Dic.				
5回	3章 趣味・娯楽 4章 旅行	3章 趣味・娯楽 4章 L.1 旅行・交通				
6回	4章 旅行	L.2 自然 小テスト Dic.				
7回	5章 教育と仕事 JLPT 模擬試験	L.1 学校 JLPT 模擬試験①				
8回	5章 教育と仕事 JLPT 直前対策	L.2 仕事 JLPT 直前対策①				
9回	6章 メディア JLPT 直前対策	L.1 報道・広告 JLPT 直前対策②				
10回	6章 メディア JLPT 模擬試験	L.2 コンピューター JLPT 模擬試験②				
11回	7章 社会 JLPT 直前対策	L.1 行事 JLPT 直前対策③				
12回	7章 社会	L.2 事件・事故・災害 L.3 経済・産業				
13回	7章 社会 期末試験対策①	L.4 政治・法律・歴史 小テスト 期末試験対策①				
14回	8章 科学 期末試験対策①	L.1 自然 L.2 科学・技術 期末試験対策②				
15回	9章 抽象概念	L.1 数量を表す言葉 L.2 時間・空間の言葉				

対象学年	1・2年共通	学期	前期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本語能力試験対策Ⅱ（聴解・漢字）				クラス	ST①
担当講師（フルネーム）	中村千春				実務経験	有
授業概要（内容）	日本語能力試験N1聴解対策 日本語能力試験N1漢字対策				授業形態	講義
到達目標	日本語能力試験N1合格または同等レベルの日本語能力をつける					
使用テキスト	新完全マスター聴解 日本語能力試験N1／プリント対応：新完全マスター漢字N1・にほんご単語ドリル慣用句					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	聴解：問題紹介 漢字：訓読み	聴解：問題紹介・音声の特徴になれる 漢字：第1部 第1回 動詞Aレベル（1）～（3） ※新完全マスター漢字N1より				
2回	聴解：即時応答 漢字：訓読み	聴解：「即時応答」のスキルを学ぶ① 漢字：第1部 第2回 動詞Aレベル（4）～（7） ※新完全マスター漢字N1より				
3回	聴解：即時応答 漢字：訓読み	聴解：「即時応答」のスキルを学ぶ② 漢字：第1部 第3回 動詞Bレベル（1）～（3） ※新完全マスター漢字N1より				
4回	聴解：課題理解 漢字：訓読み	聴解：「課題理解」のスキルを学ぶ① 漢字：第1部 第4回 動詞Bレベル（4）～（6） ※新完全マスター漢字N1より				
5回	聴解：課題理解 漢字：訓読み	聴解：「課題理解」のスキルを学ぶ② 漢字：第1部 第5回 動詞Cレベル（1）～（3） ※新完全マスター漢字N1より				
6回	聴解：ポイント理解 漢字：訓読み	聴解：「ポイント理解」のスキルを学ぶ① 漢字：第1部 第6回 動詞Cレベル（4）～（6） ※新完全マスター漢字N1より				
7回	聴解：JLPT 模擬試験① 漢字：訓読み	聴解：模擬試験① 漢字：第1部 第7回 い形容詞（1）・（2） ※新完全マスター漢字N1より				
8回	聴解：ポイント理解 & JLPT直前対策① 漢字：訓読み	聴解：「ポイント理解」のスキルを学ぶ② 聴解：JLPT直前対策① 漢字：第1部 第8回 な形容詞 副詞・その他 ※新完全マスター漢字N1より				
9回	聴解：概要理解 & JLPT直前対策② 漢字：訓読み	聴解：「概要理解」のスキルを学ぶ① 聴解：JLPT直前対策② 漢字：第1部 第9回 名詞（1）道具（2）人・衣服（3）身体・感情 ※新完全マスター漢字N1より				
10回	聴解：JLPT 模擬試験② 漢字：訓読み	聴解：模擬試験② 漢字：第1部 第10回 名詞（4）自然（5）植物・食物（6）建造物・形状 ※新完全マスター漢字N1より				
11回	聴解：JLPT直前対策③ 漢字：訓読み	聴解：直前対策③ 漢字：第1部 第11回 名詞（7）野生・生活（8）経済・生活（9）時・空間 +『言葉の構成』 ※新完全マスター漢字N1より				
12回	聴解：概要理解 漢字：音読み・特別な読み方	聴解：「概要理解」のスキルを学ぶ② 漢字：第2部 第12回 「する」がつく名詞（1）／第13回 多くの言葉を作る漢字 ※新完全マスター漢字N1より				
13回	聴解：統合理解 漢字：音読み・特別な読み方	聴解：「概要理解」のスキルを学ぶ③ 漢字：第2部 『音の変化』／第14回 「する」がつく名詞（2） ※新完全マスター漢字N1より				
14回	聴解：統合理解 漢字：音読み・特別な読み方	聴解：「統合理解」のスキルを学ぶ① 漢字：第2部 第15回 「する」がつく名詞（3）／第16回 「する」がつく名詞（4） ※新完全マスター漢字N1より				
15回	聴解：統合理解 漢字：音読み・特別な読み方	聴解：「統合理解」のスキルを学ぶ② 漢字：第2部 第17回 な形容詞（1） +『形成文字』 ※新完全マスター漢字N1より				

対象学年	1・2年共通	学期	前期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科		
科目名	日本語能力試験対策Ⅱ（聴解・漢字）				クラス	S留T留②	
担当講師（フルネーム）	永吉美知子				実務経験	無	
授業概要（内容）	高得点源になる聴解は N1、N2の問題を使用する 漢字は 試験対策教材を使用 随時読解も導入				授業形態	講義	
到達目標	N2合格						
使用テキスト	ドリル＆ドリルN2聴解・スピードマスター聴解・20日で合格など						
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施						
	テーマ	授業内容					
1回	聴解・漢字 1	N2 聴解 20日で合格 3日					
2回	聴解・漢字 2	N2 聴解 復習テスト 20日で合格 3日					
3回	聴解・漢字 3	N2 聴解 20日で合格 4日					
4回	聴解・漢字 4	ドリル＆ドリル 聴解 復習プリント 20日で合格 4日					
5回	聴解・漢字 5	ドリル＆ドリル 聴解 20日で合格 5日					
6回	聴解・漢字 6	ドリル＆ドリル 聴解 復習プリント 20日で合格 5日					
7回	聴解・漢字 7	ドリル＆ドリル 聴解 復習プリント 20日で合格 4～5日					
8回	聴解・漢字 8	ドリル＆ドリル 聴解 20日で合格 6日					
9回	聴解・漢字 9	ドリル＆ドリル 聴解 復習プリント 20日で合格 6日					
10回	模擬テスト	過去問とFB					
11回	模擬テスト	過去問とFB					
12回	聴解・漢字 10	ドリル＆ドリル 聴解 復習プリント 20日で合格 7日					
13回	聴解・漢字 11	ドリル＆ドリル 聴解 復習プリント 20日で合格 7日					
14回	聴解・漢字 12	ドリル＆ドリル 聴解 復習プリント 20日で合格 8日					
15回	聴解・漢字 13	試験対策問題 20日で合格 8日					

対象学年	1・2年共通	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本語能力試験対策 Ⅲ(文法)				クラス	ST①
担当講師(フルネーム)	藤瀬葵				実務経験	無
授業概要(内容)	日本語能力試験対策N1 N1文法練習問題、模擬試験と解答解説				授業形態	講義
到達目標	日本語能力試験N1合格					
使用テキスト	N1文法総まとめ、問題集(三修社) N1合格模試(アスク出版) パワードリルN1文法 ドリル&ドリル					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	レベルチェック(N1模試)	・N1合格模試第1回文法のみ(問題5.6.7)&フィードバック ・問題を解き、解説 ・小テスト				
2回	N1文法 練習問題	・N1文法問題集 UNIT1 TEST1 P10.11(宿題) ・問題を解き、解説 ドリル&ドリル 第1回 ・小テスト				
3回	N1文法 練習問題	・N1文法問題集 UNIT2 TEST1 P18.19(宿題) ・問題を解き、解説 ドリル&ドリル 第2回 ・小テスト				
4回	N1文法 練習問題	・N1文法問題集 UNIT3 TEST1 P26.27(宿題) ・問題を解き、解説 ドリル&ドリル 第3回 ・小テスト				
5回	N1文法 練習問題	・N1文法問題集 UNIT4 TEST1 P34.35(宿題) ・問題を解き、解説 ドリル&ドリル 第4回 ・小テスト				
6回	N1文法 練習問題	・N1文法問題集 UNIT5 TEST1 P42.43(宿題) ・問題を解き、解説 ドリル&ドリル 第5回 ・小テスト				
7回	N1文法 練習問題	・N1文法問題集 UNIT6 TEST1 P50.51(宿題) ・問題を解き、解説 ドリル&ドリル 第6回 ・小テスト				
8回	N1文法 練習問題	・N1文法問題集 UNIT7 TEST1 P58.59(宿題) ・問題を解き、解説 ドリル&ドリル 第7回 ・小テスト				
9回	N1文法 練習問題	・N1文法問題集 UNIT8 TEST1 P66.67(宿題) ・問題を解き、解説 ドリル&ドリル 第8回 ・小テスト				
10回	N1文法 練習問題	・N1文法問題集 UNIT9 TEST1 P74.75(宿題) ・問題を解き、解説 ドリル&ドリル 第9回 ・小テスト				
11回	N1文法 練習問題	・問題を解き、解説 ドリル&ドリル 第10回 ・小テスト				
12回	N1文法 練習問題	N1文法問題集 模擬テスト I & フィードバック ・小テスト				
13回	N1文法 練習問題	文法総復習 ・小テスト				
14回	期末試験	・期末試験				
15回	期末試験&FB	・期末試験返却及びフィードバック				

対象学年	1・2年共通	学期	前期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科		
科目名	日本語能力試験対策Ⅳ(読解)				クラス	S留T留②	
担当講師(フルネーム)	永吉美知子				実務経験	無	
授業概要(内容)	読解の出来で 検定の合格・不合格を決まると言っても過言ではありません 高得点を取るための読解の解き方の徹底指導を行います				授業形態	講義	
到達目標	N2合格						
使用テキスト	完全マスターN2読解・スピードマスター読解・模試と対策・過去問など						
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施						
	テーマ	授業内容					
1回	読解 1	完マス読解 短文 中文 パワードリル 文字・語彙					
2回	読解 2	完マス読解 短文 中文 パワードリル 文字・語彙					
3回	読解 3	完マス読解 短文 中文 パワードリル 文字・語彙					
4回	読解 4	読解教材N 2 短文 長文 復習プリント パワードリル 文字・語彙					
5回	読解 5	読解教材N2 長文 完全マスターN2 文字 語彙 1課					
6回	読解 6	読解教材 N2 統合理解 長文 完全マスター 語彙 1課					
7回	読解 7	読解教材N2 情報検索 完全マスター 語彙 2課					
8回	読解 8	能力試験対策					
9回	読解 9	能力試験対策					
10回	読解 1 0	スーパー模試 1 完全マスター 語彙 2課					
11回	読解 1 1	スーパー模試 1 完全マスター 語彙 3課					
12回	読解 1 2	スーパー模試 2 完全マスター 語彙 3課					
13回	読解 1 3	スーパー模試 2 完全マスターN2 語彙 4課					
14回	読解 1 4	スーパー模試 2 完全マスターN2 語彙 5課					
15回	読解 1 5	期末試験とFB					

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本地理				クラス	T
担当講師(フルネーム)	山本真美				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	日本の気候、地勢、および47都道府県と地方区分を学ぶ				授業形態	講義
到達目標	日本の気候、地勢、および47都道府県と地方区分を知識として習得する					
使用テキスト	プリント					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		・授業の進め方、評価方法、提出物の出し方などの注意事項 ・日本の三大都市とその場所 ・季節を楽しむ①桜前線			
2回	都道府県		・日本の地方区分と都道府県① 都道府県と県庁所在地			
3回	地方区分		・日本の地方区分と都道府県② 全国を地方区分に分ける ・季節を楽しむ②ゴールデンウィーク			
4回	日本の交通機関①		・小テスト 県庁所在地 ・日本の鉄道(JRと私鉄) ・日本の航空会社			
5回	日本の交通機関②		・小テスト 新幹線の路線名 ・高速道路と高速バス			
6回	日本の気候		・日本の気候 日本海側、太平洋側の気候、盆地の気候を知る ・季節を楽しむ③風薫る			
7回	日本の地形①		・小テスト 日本の気候 ・東日本の地形(山、川、半島、平野)			
8回	日本の地形②		・西日本の地形(山、川、半島、平野)			
9回	日本の地形③		・特殊な地形 ・季節を楽しむ④梅雨前線			
10回	地方の特色①		・九州・沖縄地方 気候と農産物、主な都市			
11回	地方の特色②		中国・四国地方 気候と農産物、主な都市			
12回	地方の特色③		・関西(近畿)地方 気候と農産物、主な都市			
13回	地方の特色④		・中部地方 気候と農産物、主な都市			
14回	地方の特色⑤		・関東地方 気候と農産物、主な都市 ・季節を楽しむ⑤梅雨明け			
15回	地方の特色⑥		・東北・北海道地方 気候と農産物、主な都市			

対象学年	1年	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	現代国語				クラス	T
担当講師(フルネーム)	前田恭子				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	日本語で書かれた作品を楽しく、たくさん読むことで、日本語の読解に対するモチベーションを高めます				授業形態	講義
到達目標	日本語で書かれた文をすらすらと読めるようになって、本が好きにな리ましょう。					
使用テキスト	プリント使用					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		自己紹介 授業の進め方、評価方法についての説明 授業中のルールを決めましょう			
2回	かんたんな文から始める		名作文学をリズムカルに、楽しく読みましょう 簡単(かんたん)な文章(ぶんしょう)から始めましょう			
3回	少しずつ読む		名作文学をリズムカルに、楽しく読みましょう 自分のペースで少しずつ読みましょう			
4回	長く続ける		名作文学をリズムカルに、楽しく読みましょう 毎日続けることがじょうずになる近道です			
5回	知らない言葉も気にしない		名作文学をリズムカルに、楽しく読みましょう 知らない言葉があってもだいじょうぶ。どんどん読みましょう			
6回	話を楽しむ		名作文学をリズムカルに、楽しく読みましょう 文法よりも話を楽しむのが大切です			
7回	イントネーションに気をつけて読む		名作文学をリズムカルに、楽しく読みましょう すらすら話すにはイントネーションが大切です			
8回	間(ま)に気を付けて読む		名作文学をリズムカルに、楽しく読みましょう 相手が聞きやすい間(ま)があります。間(ま)に気を付けてみましょう			
9回	言葉をたくさんおぼえる		名作文学をリズムカルに、楽しく読みましょう わからない言葉をしらべてみることも大切です			
10回	漢字をおぼえる		名作文学をリズムカルに、楽しく読みましょう 知っている漢字をふやしましょう			
11回	聞き取りができるようになる①		名作文学をリズムカルに、楽しく読みましょう 聞いた文を文字で書けるようになります			
12回	聞き取りができるようになる②		名作文学をリズムカルに、楽しく読みましょう 句読点(くとうてん)をつけて文を書きましょう			
13回	聞き取りができるようになる③		名作文学をリズムカルに、楽しく読みましょう 聞いた話をまとめられるようになります			
14回	前期まとめ		期末テストにむけて、前期の授業の復習(ふくしゅう)をします テストのためにしっかり勉強しましょう			
15回	期末テスト		期末テスト 夏休みの宿題(しゅくだい)について説明します			

対象学年	1年	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント 科	
科目名	コンピュータ				クラス	T
担当講師(フルネーム)	乙咩清美				実務経験	無
授業概要(内容)	タイピング、ビジネスレター(文書、メール等)を繰り返し練習する。 ビジネス文書のルール、ファイル管理を練習する。				授業形態	講義&演習
到達目標	Microsoft Wordの基礎知識を学び、タイピングスキルと、就活や社会人として必要なITスキルを身につける					
使用テキスト	実教出版 30時間でマスターOffice2019					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	IT基礎	OAルームの使用について 授業の進め方・その他の確認、ファイルとフォルダの操作・クラウドについて ウィンドウズについて、タイピングスキルチェック、自己紹介カードの入力				
2回	Word基礎	キーボード操作(様々な入力方法やショートカットキーの活用) ビジネス文書作成(社内文書) ※ページ設定、文字書式、文字のコピー・削除・移動など、ファイル保存について				
3回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(社内文書) ※表作成、ビジネス文書の基本など				
4回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(社内文書) ※画像の挿入、図形描画など				
5回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(ビジネスレター、ビジネスメール) ※ビジネスメールの基本、書き方				
6回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(ビジネスレター、ビジネスメール) ※ビジネスメールの基本、書き方				
7回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(社外文書) ※ビジネス文書の基本、箇条書きなど				
8回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(社外文書) ※送付状やお礼状の練習				
9回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(チラシ・ポスター作成) ※画像の挿入、図形描画・ワードアートなど				
10回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(チラシ・ポスター作成) ※画像の挿入、図形描画・ワードアートなど				
11回	前期期末試験	前期期末試験実施				
12回	Excel基礎	Excel2019について、画面構成、文字・数値の入力と編集、テンキーレッスン 四則演算式と関数				
13回	Excel基礎	表作成 関数(SUM・AVERAGE・COUNT・MAX・MINなど)				
14回	Excel基礎	表作成 相対参照と絶対参照、比率・割合を求める				
15回	Excel基礎	表作成 グラフ作成(基本的な縦棒・横棒・折れ線・円グラフ) 期末小テスト実施				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	バンケット(日本の宴会・結婚式)				クラス	S
担当講師(フルネーム)	小西翼				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	バンケット業務とブライダルについての基礎知識を身につける。				授業形態	講義&演習
到達目標	ホテルの配属先で即戦力となれるよう、備品の名前を覚え、課題実技を習得する。					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・筆記試験55% 実技試験15% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション 宴会の種類		自己紹介 後期の授業の進め方、評価方法の説明 ホテルで行われる『宴会』とは(催し物の種類)			
2回	宴会形式		宴会形式の種類とサービス方法 テーブルプラン			
3回	宴会サービスの基本		サービス方法 トレイサービス・プレートサービス・プラッターサービス			
4回	宴会クローク 会場設営		宴会クロークの業務内容を解説・実践 催し物に合わせた会場を設営する			
5回	宴会サービスの手順		会場設営から後片付けまで テーブルセッティング どんでんについて			
6回	実技試験に向けて		課題を発表 反復練習を行う			
7回	実技試験		実技試験を行う			
8回	ブライダルの基礎知識		ブライダルの定義 挙式・披露宴の種類と形態 宗教によるスタイル			
9回	婚約について		みなさんの結婚観について 近年増加してきた、ある男女の出会いのきっかけと背景 婚約＝プロポーズ			
10回	日本における ブライダルのしきたり		六輝・結納 招待状が届いたら… 「博多祝いめでた」とは…			
11回	ブライダルアイテム		ドレス・タキシード 和装 ヘッドドレス・アクセサリ			
12回	挙式について		挙式の流れと演出について			
13回	披露宴について		披露宴の流れと演出について			
14回	後期授業のまとめ		後期授業の復習を行う			
15回	筆記試験		筆記試験を行う			

対象学年	2・3年共通	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	フロントオフィス				クラス	Tクラス
担当講師(フルネーム)	松本範子				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	フロントオフィスの様々な業務・役割を学び理解する。また、PMS(ホテルシステム)を実際に使用しながら理解を深める。				授業形態	講義 & 演習
到達目標	フロントオフィス業務についての基本知識を学ぶとともにホテル全体の流れを理解する					
使用テキスト	ホテルテキスト宿泊 I フロント・オフィス編					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	成績評価、授業スケジュールについて説明				
	第1章 フロント・オフィスとは	フロントオフィスとは				
2回	第1章 フロント・オフィスとは	意義と役割 ・ 組織と業務				
3回	第2章 客室のタイプと料金	客室タイプ 料金システム				
4回	第3章 リザーベーション業務	リザーベーションクラークの心得				
5回	第3章 リザーベーション業務	客室予約の種類 宿泊予約システム概要				
6回	第3章 リザーベーション業務	予約受付の流れ				
7回	第3章 リザーベーション業務	電話予約 予約のキャンセル及び変更 リザーベーションその他の業務				
8回	第3章 リザーベーション業務	ロールプレイ 予約のまとめ				
9回	第4章 レセプション業務	レセプションクラークとは レセプションの業務 ルームキーの取り扱い方				
10回	第4章 レセプション業務	ルームアサインメント				
11回	第4章 レセプション業務	チェックイン業務 予約のない客のチェックイン				
12回	第4章 レセプション業務	団体客のチェックイン 予約内容の変更 VIPのチェックイン				
13回	第4章 レセプション業務	宿泊中の宿泊条件の変更 チェックアウト業務 期末テスト対策				
14回	期末テスト 第4章 レセプション業務	前期期末テスト ナイト業務				
15回	まとめ	期末テスト解説 前期のまとめ				

対象学年	2年	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	SPI対策(言語/非言語)				クラス	Sクラス
担当講師(フルネーム)	山本真美				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	就職試験における筆記試験分野の対策授業				授業形態	講義
到達目標	筆記試験の点数を確実に取るために基礎学力の向上を目指す					
使用テキスト	・SPI3言語能力検査 ・一般常識&時事 一問一答					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	今の实力を知る		授業の進め方、評価方法の確認 SPI非言語 確認テスト SPI言語 練習問題 同意語①読む、覚える			
2回	都道府県を極める		日本の白地図を使用して都道府県を確認し、県庁所在地を覚える SPI言語 練習問題 同意語②読む、覚える SPI非言語 基礎①			
3回	世界地図を見る①		白地図で主要な国の位置と首都を把握しよう SPI言語 練習問題 同意語③読む、覚える SPI非言語 基礎②			
4回	世界地図を見る②		世界で注目されている国々の場所を確認し、時事問題に対応できる基礎固めをします SPI言語 練習問題 反意語①読む、覚える SPI非言語 基礎③			
5回	グローバル社会の住人①		世界の『今』を知るために、国際連合とその諸機関を学びます SPI言語 練習問題 反意語②読む、覚える SPI非言語 基礎④			
6回	グローバル社会の住人②		国同士の『付き合い』を地域協定(EU、ASEANなど)を通して考えます SPI言語 練習問題 反意語③読む、覚える SPI言語 基礎⑤			
7回	グローバル社会の住人③		『summit』の意味は『頂上』。時事用語の『サミット』は？ G7サミットはイギリスで6月開催予定。G20サミットはイタリアで10月開催予定 SPI言語 練習問題 慣用句①意味を理解する			
8回	あなたの『1票』の重さ		政治① 国会議員の人数・任期を知るとともに国会の仕組みについて SPI言語 練習問題 慣用句②意味を理解する SPI非言語 基礎⑥			
9回	霞ヶ関		政治② 内閣と1府12省庁と関連機関を確認します SPI言語 練習問題 慣用句③意味を理解する SPI非言語 基礎⑦			
10回	地方公共団体		政治③ 地方政治 SPI言語 練習問題 ことわざ①意味を理解する SPI非言語 基礎⑧			
11回	裁判員制度		裁判所や裁判員制度の仕組みについて SPI言語 練習問題 ことわざ②意味を理解する SPI非言語 基礎⑨			
12回	循環する『お金』		銀行に預けたお金はどこに行く？お金の流れを考え『経済』をもっと身近に SPI言語 練習問題 ことわざ③意味を理解する SPI非言語 基礎⑩			
13回	『お札』は技術の結晶		『お札』から、『電子決済』まで、世界の今、日本の今を考えます SPI言語 練習問題 四字熟語①読む、覚える SPI非言語 推論			
14回	経済用語を覚える		CEO、COO、CFO、代表取締役社長、さまざまな呼び方があります。あわせて覚えましょう SPI言語 練習問題 四字熟語②読む、覚える SPI非言語 確率			
15回	前期の総復習&課題		前期の復習と夏休みの課題説明 SPI言語 練習問題 四字熟語③読む、覚える SPI非言語 場合の数			

対象学年	1・2年共通	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本語能力試験対策Ⅲ(文法)				クラス	ST②
担当講師(フルネーム)	上中真由美				実務経験	無
授業概要(内容)	日本語能力試験N2対策 文法を確認し練習問題を解き、N2レベルの力をつける				授業形態	講義
到達目標	日本語能力試験N2 合格					
使用テキスト	耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN2					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	N2文法	授業の進め方・評価方法について N3文法テスト				
2回	N2文法	テキストUnit7				
3回	N2文法	小テスト テキストUnit7				
4回	N2文法	小テスト テキストUnit7				
5回	N2文法	小テスト テキストUnit8				
6回	N2文法	小テスト テキストUnit8				
7回	N2文法	小テスト テキストUnit8				
8回	N2文法	小テスト テキストUnit9				
9回	N2文法	小テスト テキストUnit9				
10回	N2文法	N2模擬テスト + FB				
11回	N2文法	N2模擬テスト + FB				
12回	N2文法	テキストUnit9				
13回	N2文法	復習問題				
14回	N2文法	復習問題				
15回	N2文法	期末テスト+FB				

対象学年	1・2年共通	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本語能力試験対策Ⅳ〈読解〉				クラス	ST①
担当講師(フルネーム)	上中真由美				実務経験	無
授業概要(内容)	日本語能力試験N1対策 N1読解問題を読み読解力をつける				授業形態	講義
到達目標	日本語能力試験N1合格					
使用テキスト	プリント配布					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	N1読解	授業の進め方・評価方法について 読解問題を解き、全体で解答を確認する N1漢字の読み				
2回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する N1漢字の読み				
3回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する N1漢字の読み				
4回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する N1漢字の読み				
5回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する N1漢字の読み				
6回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する N1漢字の読み				
7回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する N1漢字の読み				
8回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する N1漢字の読み				
9回	N1読解	N1模擬テスト+FB				
10回	N1読解	N1模擬テスト+FB				
11回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する N1・N2漢字の読み				
12回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する N1漢字の読み				
13回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する N1漢字の読み				
14回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する N1漢字の読み				
15回	N1読解	期末テスト+FB				

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本語ビジネス会話				クラス	S 留学生クラス
担当講師(フルネーム)	恵良 恭子				実務経験	無
授業概要(内容)	各課の機能表現を含んだ会話。ロールプレイによる実際のビジネス場面に近い活動。会話を作ってペアワークで発表。				授業形態	講義
到達目標	ビジネス現場で役に立つ敬語を含む会話表現の習得。					
使用テキスト	『ビジネスのための日本語(中上級)』『日本語で働く! ビジネス日本語30時間』『敬語を中心とした対人関係一待遇表現』					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	第1課 紹介(1)	はじめに——会社で使う言葉・敬語表(練習) ①新語と基本文型 ②STAGE 1——談話(社内)／ロールプレイ 口頭練習				
2回	第1課 紹介(2)	③STAGE 2——会話聴解で(状況・場面・語彙の説明)・ディクテーション ④STAGE 3——1. 新しい職場で自己紹介 2. 訪問先の受付で自己紹介 3. 社外の人に自己紹介 4. ペアワークで発表(小テスト)				
3回	第2課 あいさつ(1)	1課 言葉テスト 敬語練習問題 ①新語と基本文型 ②STAGE 1——談話(社内・社外)／ロールプレイ 口頭練習				
4回	第2課 あいさつ(2)	③STAGE 2——会話聴解で(状況・場面・語彙の説明)・ディクテーション ④STAGE 3——1. 出社時に時に同僚とあいさつ 2. 退社時に同僚とあいさつ 3. 訪問客とあいさつ 4. ペアワークで発表(小テスト)				
5回	第3課 許可(1)	2課 言葉テスト 敬語練習問題 ①新語と基本文型 ②STAGE 1——談話(社内・社外)／ロールプレイ 口頭練習				
6回	第3課 許可(2)	③STAGE 2——会話聴解で(状況・場面・語彙の説明)・ディクテーション ④STAGE 3——1. 早退の許可を求める 2. 物を借りる許可を求める 3. 訪問の許可を求める 4. ペアワークで発表(小テスト)				
7回	第4課 依頼(1)	3課 言葉テスト 敬語練習問題 ①新語と基本文型 ②STAGE 1——談話(社内・社外)／ロールプレイ 口頭練習				
8回	第4課 依頼(2)	③STAGE 2——聴解で(状況・場面・語彙の説明)・ディクテーション ④STAGE 3——1. 提出期限の延期 2. データ整理の手伝い 3. 値引きの依頼 4. ペアワークで発表(小テスト)				
9回		第1課～第4課 まとめ・復習テスト 敬語・待遇表現テスト 4課 言葉テスト その他副教材使用				
10回	第5課 誘い(1)	①新語と基本文型 敬語練習問題 ②STAGE 1——談話(社内・社外)／ロールプレイ 口頭練習 ③STAGE 2——聴解で(状況・場面・語彙の説明)・ディクテーション				
11回	第5課 誘い(2)	④STAGE 3——1. 部長をテニスに誘う 2. 同僚を飲み会に誘う 3. 同業者を勉強会に誘う 4. ペアワークで発表(小テスト) 『日本語で働くビジネス日本語』——4. 注意をする／注意を受ける				
12回	第6課 電話(1)	5課 言葉テスト ①新語と基本文型 敬語練習問題 ②STAGE 1——談話(社内・社外)／ロールプレイ 口頭練習				
13回	第6課 電話(2)	③STAGE 2——聴解で(状況・場面・語彙の説明)・ディクテーション ④STAGE 3——1. 他の部からの電話 2. 同僚からの電話 3. 他社からの電話 4. ペアワークで発表(小テスト)				
14回	第6課 電話(3)	『日本語で働くビジネス日本語』——3. 電話をかける・受ける				
15回	まとめ	第1課～第6課 会話テスト				

対象学年	2年	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント 科	
科目名	コンピュータ				クラス	S
担当講師(フルネーム)	乙咩清美				実務経験	有
授業概要(内容)	タイピング、ビジネスレター(文書、メール等)を繰り返し練習する。 Excelを使って、データの集計や報告書などの練習をする。				授業形態	講義 & 演習
到達目標	1年で学習したExcel基礎内容を再確認しながら、自分のスキルとして定着させる。					
使用テキスト	実教出版 30時間でマスターOffice2019					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	Word基礎・応用	タイピング練習 ビジネス文書の復習 ※送付状・お礼状の作成				
2回	Word基礎・応用	タイピング練習 ビジネス文書作成(ビジネスレター、ビジネスメール) ※ビジネスメールの基本、書き方				
3回	Word基礎・応用	タイピング練習 文書作成(チラシ・ポスター作成) ※画像の挿入、図形描画・ワードアートなど				
4回	Word基礎・応用	タイピング練習 文書作成(チラシ・ポスター作成) ※画像の挿入、図形描画・ワードアートなど				
5回	Excel基礎	Excel基礎の復習① 表作成、計算式、関数の挿入 グラフ作成、オートフィル活用				
6回	Excel基礎	Excel基礎の復習② 表作成、計算式、関数の挿入 グラフ作成				
7回	Excel基礎	Excel基礎の復習③ 表作成、計算式、関数の挿入 グラフ作成				
8回	Excel応用	関数の練習 IF関数・RANK関数				
9回	Excel応用	関数の練習 IF関数・RANK関数				
10回	Excel応用	関数の練習 VLOOKUP関数・COUNTIF・SUM関数				
11回	Excel応用	関数の練習 VLOOKUP関数・COUNTIF・SUM関数				
12回	Excel応用	Excelのデータベース機能 並べ替え・抽出・集計機能を学び、データベースを処理する				
13回	Excel応用	Excelのデータベース機能 並べ替え・抽出・集計機能を学び、データベースを処理する				
14回	Excel活用	WordとExcelを組み合わせ、報告書作成				
15回	期末試験	前期期末試験実施				

対象学年	2・3年共通	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	TOEIC I				クラス	S, U, 日本人
担当講師(フルネーム)	志岐美佳				実務経験	有
授業概要(内容)	TOEIC Iの語彙、文法知識を高める TOEIC 試験形式に慣れ聴解力を高める				授業形態	講義
到達目標	TOEIC テストの理解と受験準備をする					
使用テキスト	TOEIC Listening & reading 問題集5					
成績評価方法	・期末試験50% 小テスト、平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	授業内容、評価方法 サンプル問題 単語①				
2回	公式TOEIC test 1	単語② Part1 & 2 文法				
3回	公式TOEIC test 1	単語③ Part3 文法				
4回	公式TOEIC test 1	単語テスト1回目 Part4 文法				
5回	公式TOEIC test 2	単語④ Part1 & 2 文法				
6回	公式TOEIC test 2	単語⑤ Part3 文法				
7回	公式TOEIC test 2	単語⑥ Part4 文法				
8回	配布プリント テスト1	単語⑦ Part1 & 2 文法				
9回	配布プリント テスト1	単語⑧ Part3 文法				
10回	配布プリント テスト1	単語⑨ Part4 文法				
11回	配布プリント テスト2	単語テスト3回目 Part1 & 2 文法				
12回	配布プリント テスト2	単語⑩ Part3 文法				
13回	配布プリント テスト2	単語⑪ Part4 文法				
14回	配布プリント テスト3	単語⑫ Part1 & 2 文法				
15回	配布プリント テスト3	単語⑬ Part3 文法				

対象学年	2・3年共通	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	TOEIC II				クラス	S, U, 日本人
担当講師(フルネーム)	志岐美佳				実務経験	有
授業概要(内容)	TOEIC Iの語彙、文法知識を高める TOEIC 試験形式に慣れ聴解力を高める				授業形態	講義
到達目標	TOEIC テストの理解と受験準備をする					
使用テキスト	TOEIC Listening & reading 問題集5					
成績評価方法	・期末試験50% 小テスト、平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	公式TOEIC test 1	単語① Part5 文法				
2回	公式TOEIC test 1	単語② Part6 文法				
3回	公式TOEIC test 1	単語③ Part7-1 文法				
4回	公式TOEIC test 1	単語④ Part7-2 文法				
5回	公式TOEIC test 1	単語⑤ Part7-3 文法				
6回	公式TOEIC test 2	単語⑥ Part5 文法				
7回	公式TOEIC test 2	単語テスト-2回目 Part6 文法				
8回	公式TOEIC test 2	単語⑦ Part7-1 文法				
9回	公式TOEIC test 2	単語⑧ Part7-2 部				
10回	公式TOEIC test 2	単語⑨ Part7-3 文法				
11回	配布プリント reading テスト1	単語⑩ Part5 文法				
12回	配布プリント reading テスト1	単語⑪ Part6 文法				
13回	配布プリント reading テスト2	単語⑫ Part5 文法				
14回	配布プリント reading テスト2	単語テスト-4回目 Part6 文法				
15回	配布プリント reading テスト3	単語⑬ Part5 文法				

対象学年	3年	学期	前期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科		
科目名	日本語能力試験対策 I				クラス	U留	
担当講師(フルネーム)	永吉美知子				実務経験	無	
授業概要(内容)	就職活動にN1資格は 有効なものです。N1合格を目指して自宅学習と反復練習を重ねて 実力の定着を図る				授業形態	講義	
到達目標	N1合格						
使用テキスト	20日で合格 N1 文字・語彙 パワードリル・過去問						
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施						
	テーマ	授業内容					
1回	文字語彙 1	20日で合格 13日 パワードリル 文法					
2回	文字語彙 2	20日で合格 13日 復習テスト パワードリル 文法					
3回	文字語彙 3	20日で合格 14日 復習プリント パワードリル 文法					
4回	文字語彙 4	20日で合格 14日・15日 復習プリント パワードリル					
5回	文字語彙 5	20日で合格 15日 復習プリント パワードリル					
6回	文字語彙 6	20日で合格 15日・16日 復習プリント パワードリル					
7回	文字語彙 7	20日で合格 16日 復習プリント パワードリル					
8回	文字語彙 8	20日で合格 17日 復習プリント パワードリル					
9回	文字語彙 9	20日で合格 17日 復習プリント パワードリル					
10回	文字語彙 10	20日で合格 18日 復習プリント パワードリル					
11回	模擬テスト	N1過去問とFB					
12回	文字語彙 11	20日で合格 18日 復習プリント パワードリル					
13回	文字語彙 12	20日で合格 19日 復習プリント パワードリル					
14回	文字語彙 13	20日で合格 19日 復習プリント パワードリル					
15回	試験対策	試験問題とFB					

対象学年	2・3年共通	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科
科目名	ホスピタリティ概論			クラス	S・U
担当講師(フルネーム)	松本範子			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	N1合格者対象:ホスピタリティ業界で活躍するために必要な能力を高める。			授業形態	講義
到達目標	ディスカッション、ディベート、プレゼンテーションを通してホスピタリティ業界に必要な考え、知識を増やしていく				
使用テキスト	なし				
成績評価方法	・レポート70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	× 期末試験なし				
	テーマ	授業内容			
1回	オリエンテーション	授業の進め方・目標・評価方法			
2回	ホスピタリティの基礎	ホスピタリティとは			
3回	ホスピタリティの基礎	あなたにとってのホスピタリティとは 経験をもとに考える			
4回	ホスピタリティの基礎	発表			
5回	サービス	ホスピタリティとサービスの違い 良いサービスとは？			
6回	サービス	実際にサービスを見て考える			
7回	サービス	レポートのまとめ			
8回	サービス	発表			
9回	ディスカッション	ホスピタリティ VS サービス			
10回	ホスピタリティを追求する 企業①	企業を取り入れているホスピタリティ:ノードストローム グループディスカッション			
11回	ホスピタリティを追求する 企業②	企業を取り入れているホスピタリティ:ディズニー グループディスカッション			
12回	プレゼンテーション作成	ホテルのホスピタリティ			
13回	プレゼンテーション作成	ホテルのホスピタリティ続き			
14回	プレゼンテーション発表				
15回	まとめ	前期:レポート提出			

対象学年	3年	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	ホテル英会話				クラス	Uクラス
担当講師(フルネーム)	日高郁子				実務経験	有
授業概要(内容)	ホテルで使う英語の表現を学ぶ				授業形態	講義
到達目標	状況に応じて英語で接客が出来るようになる					
使用テキスト	Hotel & Hospitality English					
成績評価方法	・期末試験50% 会話テスト30% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	授業の進め方について 英語で自己紹介				
2回	1. Welcoming guests	Checking in guest Finding out what guests needs				
3回	2. Welcoming a guest with no reservation	Checking in guest with no reservation				
4回	3. 'Difficult' guests	Finding solution to problems Making suggestions				
5回	4. Looking after guests (1)	Offer to help Giving simple directions				
6回	5. Looking after guests (2)	Giving information to guests				
7回	6. Reservation inquiries	Taking reservations				
8回	7. Reservation changes	Changing/Cancelling/Confirming reservations				
9回	8. Phone calls to Reception	Transferring calls within the hotel				
10回	9. Communication problems	Dealing with bad phone line Confirming details				
11回	10. Guest problems	Handling guest complaints				
12回	11. At breakfast	Offering food and drink Taking breakfast orders				
13回	12. At the bar	Taking orders at the bar Taking payment				
14回	会話テスト	Speaking test				
15回	会話テスト・期末対策	Speaking test 期末対策				

対象学年	3年	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	マナープロトコール				クラス	U
担当講師(フルネーム)	池田香織				実務経験	無
授業概要(内容)	マナー&プロトコールを学び、社会人になるための準備をする。 日本でのマナー・しきたりを知る。				授業形態	講義
到達目標	社会人としての日本のマナーを身につける。					
使用テキスト	マナー&プロトコールの基礎知識					
成績評価方法	・期末試験70%(授業中に行います) 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	序章 マナーとは何か	授業の進め方、評価方法を知る マナー、エチケット、プロトコールとは何か また、なぜ学ぶのかを考える				
2回	第3章 社会人に必要なマナー	第一印象の重要性 挨拶の大切さ・丁寧なお辞儀 魅力ある表情・服装身だしなみ				
3回	第3章 社会人に必要なマナー	立ち居振る舞いの基本 丁寧な言葉遣い 聴き方の基本・話し方の基本				
4回	第3章 社会人に必要なマナー	聴き方の基本、話し方の基本にならってスピーチをしよう				
5回	第3章 社会人に必要なマナー	礼装の基準 喜ばれる贈答 手紙のマナー 実際に手紙を書いてみよう				
6回	第1章 マナーの歴史と意味	日本の礼儀・作法の成り立ち 西洋のマナー・エチケットの成り立ち アジアのマナー				
7回	第2章 マナーの歴史と意味	日本のマナーとあなたの国のマナーの違いを発表しよう				
8回	第3章 国際人としてのプロトコール	プロトコールの原則 具体的な席次例・国旗の扱い 礼拝の場でのマナー・異文化コミュニケーション				
9回	第2章 国際人としてのプロトコール	パーティの種類とマナー 名刺交換				
10回	第4章 ビジネスシーンのマナー	社会人としての心構え・電話応対				
11回	第4章 ビジネスシーンのマナー	トラブル対応・来客応対				
12回	第4章 ビジネスシーンのマナー	接待・ビジネス文書				
13回	第4章 ビジネスシーンのマナー	電子メールのマナー・気になる新聞の記事を読んでみよう				
14回	期末試験	ペーパーテストを行います				
15回	期末試験フィードバック	先週のテストのフィードバックを行います グループワークをしよう				

対象学年	3年	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	就職活動講座				クラス	U
担当講師(フルネーム)	安部紀美江				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	・就職試験に必要な自己分析や表現力の文章化を徹底して行う。				授業形態	講義
到達目標	・学生から社会人となるためのマナーやスキルを習得させ、職業人としての意識づけを行う。					
使用テキスト	・「専門学校生のための就職内定基本テキスト」 ・就職ノート ・オリジナルレジュメ					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		・前期授業内容の説明を行う。 ・各自プロフィールを記入し個別に質問をしていく。			
2回	就職活動へのアプローチ		・就職とは何か、なぜ働くのかを理解させ、社会人となるための準備を自覚させる。 ・キャリア形成の重要性と社会や企業について考えさせる。 ・専門学校生の強みを認識させ、どのように発揮していくのかを考えさせる。			
3回	就職活動に必要な書類の書き方		・当校における就職活動の流れを説明する。 ・就職室の活用方法を教える。 ・就職活動に必要な書類や行動を説明する。			
4回	履歴書の書き方		・履歴書の当校における書き方を説明し実際に書いてみる。			
5回	職業を知る		・ホテルで働くとはどういう仕事をするのかを説明する。 ・ホテルの種類や日本におけるホテル業界の説明をする。			
6回	自分自身を知る		・自分自身をどの程度分かっているかの洗い出しをし自己PR作成への布石とする。 ・自分のライフスタイルとは何かを再認識させる。			
7回	自分自身を知る		・将来の夢や目標の設定が就職に必要であることを理解させる。			
8回	自己分析		・自己分析の意義を認識させ表現力へと転化させる。			
9回	自己分析		・自分の能力や適性を把握させる。			
10回	自己分析		・将来の夢や目標の設定が就職に必要であることを理解させる。			
11回	自己PRの作り方		・自分史の作成を通して自己PRの作成をやすくしていく。 ・自己分析からPRできるものをピックアップし、肉付けする。 ・自分と業界の接点を認識させ、企業でどう活かせるのかを考える。			
12回	自己PRの作り方		・自己PRを書いてみよう。			
13回	志望動機の作り方		・志望動機作成に必要な文言や自己PRとの関連性について考えていく。			
14回	企業研究		・企業研究の重要性と企業研究シートの作成方法を学ぶ。 ・情報収集の必要性とその収集方法ができるようになる。 ・企業開催セミナー・説明会に参加する意味と就活への活用方法をわかるようになる。			
15回	完成品のチェック		・前期提出物のチェック			

対象学年	3年	学期	前期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	SPI対策(言語)				クラス	U
担当講師(フルネーム)	山本真美				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	就職筆記試験に受かるために苦手分野を克服して得意分野を伸ばす				授業形態	講義
到達目標	WEBテスト、適性検査、時事問題にも対応できるように実力をつける					
使用テキスト	図解まるわかり時事用語(新星出版社)、一般常識&SPI(1年次使用)、わかる!わかる!わかる!一般常識(1年次使用)					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	必ず復習する		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 毎回テストを実施し解答と解説をします。間違った問題はノートに書いて復習します 残りの時間は、時事問題用語解説、新聞コラムに取り組みます			
2回	漢字は必要		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 就職試験にかかわらず、漢字は私たちの生活に欠かせません。漢検二級レベルを目指しましょう			
3回	最新のニュース		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 試験当日は最新のニュースチェックを忘れずに 日頃から時事問題に精通するには、まず新聞を読むこと。各新聞社のサイトを活用しましょう			
4回	情報を分析する		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 先輩たちの受験報告書を活用していますか？各企業の試験問題の傾向がわかります			
5回	はじめてにあわてない		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 適性検査で見慣れない問題が出る場合があります。例題を参考にして冷静な判断を			
6回	範囲を絞る		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 範囲を絞って、その分野をマスターする。達成感の積み重ねが大事			
7回	時間配分を考える		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 解答時間は足りていますか？紙の試験問題の場合、解く前に試験問題の量のチェックも忘れずに			
8回	今日から始める		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 内定はスタート！『知ること』を常に心がけましょう			
9回	みんながデキル問題		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 正答率の高い問題は受験者のほとんどができています。みんながデキル問題は間違えない			
10回	過去を振り返る		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 過去を振り返り、修正も大事			
11回	ニュースを気にする		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 業界のニュースは気にかけていますか？情報集めは怠りなく			
12回	ニュースを読む		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 じっくりとニュースの「なぜ？」を考える			
13回	自分の意見を考える		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 ニュースの「なぜ？」から自分の意見を考える			
14回	目標を持つ		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 今の目標はなにですか？			
15回	ゴールはスタート		・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 SPI対策はこの回で終わりです。これからも社会の動きに敏感になって時代の流れを見ていきましょう いつでも学ぶ姿勢を忘れずに			

対象学年	3年	学期	前期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	面接対策				クラス	U
担当講師(フルネーム)	田中友加利				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	就職内定に向けて模擬面接を中心に面接対策を行う。 尚、内定取得者に対しては、社会人としての心構え等指導する。				授業形態	講義
到達目標	全員内定できる面接レベルを目標とする					
使用テキスト	適宜プリント配布					
成績評価方法	・提出物・授業態度・身だしなみ・出席率により評価 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		・面接の種類と心構えを理解する 第一印象の重要性について自覚する 身だしなみ、お辞儀、挨拶			
2回	自己PR		・自己分析 長所(長所に対するエピソードのオリジナル化)			
3回	自己PR		・自己分析 短所(短所に対する改善策)			
4回	グループディスカッション①		・グループディスカッションのやり方とマナーの理解 簡単なテーマでディスカッションする			
5回	グループディスカッション②		・グループディスカッションのやり方とマナーの理解 簡単なテーマでディスカッションする			
6回	グループディスカッション③		・グループディスカッションのやり方とマナーの理解 少し難しいテーマでディスカッションする			
7回	面接練習①		・入室からお辞儀、自己紹介、退室の仕方			
8回	面接練習②		・基本的な質問に答える (志望動機、自己PR)			
9回	面接練習③		・いろいろな質問に答える			
10回	現状報告		・現在の就職状況 ・今後に向けての課題			
11回	面接練習④		・いろいろな質問に答える			
12回	内定後のとりくみ		・お礼状の書き方			
13回	内定後のとりくみ		・税金、就業規則について			
14回	期末試験		面接の実技試験			
15回	期末試験		面接の実技試験			

対象学年	3年	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	ホテルマーケティング				クラス	U
担当講師(フルネーム)	中牟田登喜枝				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	ホテル実務経験、ホテルマネジメントの基礎的な知識を学習する				授業形態	講義
到達目標	マネジメントの基礎的な仕組みを学習しホテルで活用できるようになる					
使用テキスト	ホテルマネジメント					
成績評価方法	・期末試験50% 提出物、平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	マネジメントの基本		マネジメントの基本認識と定義 (1)経営者の仕事～(5)企業文化			
2回	マネジメントの基本		(6)人事戦略～(10)モチベーション			
3回	マネジメントの基本		ホテルの経営と運営 (1)外資と日本ホテル～(2)日本進出の背景			
4回	マネジメントの基本		ホテルの経営と運営 (3)所有・経営・運営の分離～(7)マネジメント契約方式			
5回	マネジメントの基本		ホテルの収益構造			
6回	ホテルの会計基準		ホテルの会計基準の特徴			
7回	部門別のマネジメント		ホテルの収益会計と費用会計 ユニフォーム・システム			
8回	部門別のマネジメント		宿泊部門のマネジメント(1)KPIと計数計算～ADR			
9回	部門別のマネジメント		宿泊部門のマネジメント(4)RevPAR～(5)定員稼働率			
10回	部門別のマネジメント		宿泊料金体系			
11回	部門別のマネジメント		3つの宿泊料金体系			
12回	部門別のマネジメント		レベニューマネジメント			
13回	部門別のマネジメント		料飲部門のマネジメント			
14回	部門別のマネジメント		宴会部門のマネジメント			
15回	まとめ		前期復習 期末試験について			

対象学年	3年	学期	前期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	ホテル業界研究				クラス	U
担当講師(フルネーム)	橋口淳二				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	日本国内ホテル業界の業務内容を理解する。 業界に対しての学びと気づき知識を増やす。				授業形態	講義
到達目標	日本のホテル業界で使える知識を取得できる。					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		授業の進め方 企業研究の仕方について			
2回	ホテルの基本		志望先ホテルを考え、そのホテルに対しての指導を行う			
3回	ホテル就職について		日本企業と外資系企業給与体系、福利厚生について			
4回	ホテルの形態・種類		福岡市内ホテルの企業研究			
5回	ホテルの形態・種類		東京都内ホテルの企業研究			
6回	ホテルの形態・種類		テーマパークホテルの企業研究			
7回	ホテル種類別研究		関西地区ホテルの企業研究			
8回	ホテル種類別研究		ホテル研究発表へ向けチーム作成、テーマ決め			
9回	ホテル種類別研究		テーマに沿ったホテル資料収集			
10回	ホテル種類別研究		テーマに沿ったホテル資料収集			
11回	ホテル種類別研究		パワーポイントプレゼンテーション作成			
12回	ホテル種類別研究		パワーポイントプレゼンテーション作成			
13回	研究発表		プレゼンテーション			
14回	研究発表		プレゼンテーション			
15回	前期まとめ		ホテル業界研究まとめ			

対象学年	3年	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	コミュニケーションイングリッシュ				クラス	U
担当講師(フルネーム)	Geoffrey Wolfson				実務経験	無
授業概要(内容)	Doing self introductions. Making various presentations about oneself with a lot of partner work. A lot of vocabularies. Practicing role plays. Understanding various culture points.				授業形態	講義
到達目標	To improve students' fluency and ability to use simple English at work and socially. To raise their confidence levels using simple English by creating more opportunities for the students to speak.					
使用テキスト	Challenge book #4、Takeoff!、Warm-up Booklet 2、Vocabulary Book (Noun)					
成績評価方法	・期末試験50% 平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	Orientation Warm Up: P1, Vocabulary: P1 Challenge Book: P7-8 Takeoff!: Dialog 1		Orientation: Explanation about Class rules Presentation and Q&A: Beginner's Test, Self-introduction Nouns starting with A, Role play with Take off!			
2回	Warm Up: P1, Vocabulary: P1 Challenge Book: P7-8 Takeoff!: Dialog 1		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation and Q&A: Beginner's Test, Self-introduction Sentences using nouns starting with A, Role play with Take off!			
3回	Warm Up: P1, Vocabulary: P2 Challenge Book: P9 Takeoff!: Dialog: 2		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Personal Information Nouns starting with B, Role play with Take off!			
4回	Warm Up: P2, Vocabulary: P2 Challenge Book: P9 Takeoff!: Dialog: 2		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Personal Information Sentences using nouns starting with B, Role play with Take off!			
5回	Warm Up: P2, Vocabulary: P3 Challenge Book: P10 Takeoff!: Dialog: 3		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: Introducing a Friend Nouns starting with C, Role play with Take off!			
6回	Warm Up: P2, Vocabulary: P3 Challenge Book: P10 Takeoff!: Dialog: 3		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: Introducing a Friend Sentences using nouns starting with C, Role play with Take off!			
7回	Warm Up: P3, Vocabulary: P4 Challenge Book: P11 Takeoff!: Dialog: 4		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Family Test Nouns starting with D, Role play with Take off!			
8回	Warm Up: P3, Vocabulary: P4 Challenge Book: P11 Takeoff!: Dialog: 4		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Family Test Sentences using nouns starting with D, Role play with Take off!			
9回	Warm Up: P3, Vocabulary: P5 Challenge Book: P12 Takeoff!: Dialog: 5		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Family Presentation Nouns starting with E, Role play with Take off!			
10回	Warm Up: P4, Vocabulary: P5 Challenge Book: P12 Takeoff!: Dialog: 5		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Family Presentation Sentences using nouns starting with E, Role play with Take off!			
11回	Warm Up: P4, Vocabulary: P6 Challenge Book: P13 Takeoff!: Dialog: 6		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Sports Interview Nouns starting with F, Role play with Take off!			
12回	Warm Up: P4, Vocabulary: P6 Challenge Book: P13 Takeoff!: Dialog: 6		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Sports Interview Sentences using nouns starting with F, Role play with Take off!			
13回	Warm Up: P5, Vocabulary: P7 Challenge Book: P14 Takeoff!: Dialog: 7		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Favorite Sport Nouns starting with G, Role play with Take off!			
14回	Warm Up: P5, Vocabulary: P7 Challenge Book: P14 Takeoff!: Dialog: 7, Test		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Favorite Sport Sentences using nouns starting with G, Role play with Take off!			
15回	Warm Up: P5, Vocabulary: P8 Challenge Book: P15 Takeoff!: Dialog: 8, Test		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Cuisine Interview Nouns starting with H, Role play with Take off!			

対象学年	3年	学期	前期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本語ビジネス会話				クラス	U留
担当講師(フルネーム)	小川剛				実務経験	無
授業概要(内容)	ビジネスケースを題材に、自分の意見を持ち、自分の言葉で説明し、発表する。そのための語彙、文法も身につける。				授業形態	講義
到達目標	日本語で自分の意見を伝える。また、伝える過程で、確認や調整ができる。					
使用テキスト	ビジネスケースで学ぶ日本語 ・ BJTビジネス日本語能力テスト聴解・聴読解(適宜実施)					
成績評価方法	・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	Unit 1 日本コカコーラ		授業の進め方、評価方法の説明 前作業			
2回	Unit 1 日本コカコーラ		読み物・語彙			
3回	Unit 1 日本コカコーラ		文法説明			
4回	Unit 1 日本コカコーラ		語彙・文法 練習問題			
5回	Unit 1 日本コカコーラ		読み物読解 表現練習1・2			
6回	Unit 1 日本コカコーラ		タスク1			
7回	Unit 1 日本コカコーラ		タスク2			
8回	Unit 5 トヨタ		前作業			
9回	Unit 5 トヨタ		読み物・語彙			
10回	Unit 5 トヨタ		文法説明			
11回	Unit 5 トヨタ		語彙・文法 練習問題			
12回	Unit 5 トヨタ		読み物読解 表現練習1・2			
13回	Unit 5 トヨタ		タスク1			
14回	Unit 5 トヨタ		タスク2			
15回	まとめ		まとめ			

対象学年	3年	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本語読解				クラス	U留
担当講師(フルネーム)	上中真由美				実務経験	無
授業概要(内容)	日本語能力試験N1対策 N1読解問題を読み読解力をつける				授業形態	講義
到達目標	日本語能力試験N1合格					
使用テキスト	プリント配布					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	N1読解		授業の進め方・評価方法について 読解問題を解き、全体で解答を確認する N1・N2漢字の読み			
2回	N1読解		読解問題を解き、全体で解答を確認する N1・N2漢字の読み			
3回	N1読解		読解問題を解き、全体で解答を確認する N1・N2漢字の読み			
4回	N1読解		読解問題を解き、全体で解答を確認する N1・N2漢字の読み			
5回	N1読解		読解問題を解き、全体で解答を確認する N1・N2漢字の読み			
6回	N1読解		読解問題を解き、全体で解答を確認する N1・N2漢字の読み			
7回	N1読解		読解問題を解き、全体で解答を確認する N1・N2漢字の読み			
8回	N1読解		読解問題を解き、全体で解答を確認する N1・N2漢字の読み			
9回	N1読解		N1模擬テスト、FB			
10回	N1読解		N1模擬テスト、FB			
11回	N1読解		中上級の読み物 N1・N2漢字の読み			
12回	N1読解		中上級の読み物 N1・N2漢字の読み			
13回	N1読解		読解問題を解き、全体で解答を確認する N1・N2漢字の読み			
14回	N1読解		読解問題を解き、全体で解答を確認する N1・N2漢字の読み			
15回	N1読解		期末テスト			

対象学年	3年	学期	前期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本語能力試験対策Ⅱ（文法・語彙）				クラス	U留
担当講師（フルネーム）	小川 剛				実務経験	無
授業概要（内容）	N1合格のために予習・復習を前提とし、ピアラーニングで学び合う。 最終学年を迎え 就職試験合格のためにも自宅学習を徹底すること				授業形態	講義
到達目標	能力試験 N1					
使用テキスト	日本語能力試験N1対策ドリル＆模試、 N1対策問題集など					
成績評価方法	・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	N1文法 第1回		授業の進め方、評価方法の説明 第1回 実施解説			
2回	N1文法 第2回		第2回 実施解説			
3回	N1文法 第3回		第3回 実施解説			
4回	N1文法 第4回		第4回 実施解説			
5回	N1文法 第5回		第5回 実施解説			
6回	N1文法 第6回		1～5回小テスト 第6回 実施解説			
7回	N1文法 第7回		第7回 実施解説			
8回	N1文法 第8回		第8回 実施解説			
9回	N1文法 第9回		第9回 実施解説			
10回	N1文法 第10回		第10回 実施解説			
11回	N1文法 第11回		6～10回小テスト 第11回 実施解説			
12回	N1文法 第12回		第12回 実施解説			
13回	N1文法 第13回		第13回 実施解説			
14回	N1文法 第14回		第14回 実施解説			
15回	N1文法 第15回		11～14回小テスト 第15回 実施解説			

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	観光ビジネス進学科	
科目名	観光学基礎				クラス	I
担当講師(フルネーム)	宮原英利				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	人々の心を豊かにする「観光」とはどのようなものか。時代を追って、確認して行きます。				授業形態	講義
到達目標	日本人の「観光」とはどのようなものか、また、観光は日本人にとってどのような影響を与えるかを理解します。					
使用テキスト	特に指定はしません。授業ごとに資料を配布します。					
成績評価方法	・期末試験60%、課題提出20%、平常点20% とし総合的に評価する ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		授業の進め方、事前学習の行い方、成績評価のやり方等を説明します。また、平日頃より、観光に関するニュースや出来事に興味を持ってください。			
2回	観光を学ぶ意義とその効果		観光が、人間、企業、及び国や地域にもたらす効果や影響を学びます。			
3回	観光に関わる言葉		観光の語源(ごげん)・余暇(よか)、レクリエーション、ホスピタリティの意味を理解します。			
4回	観光資源		観光資源とは何でしょうか。それは、どのようなものがあるのでしょうか。またどのようなものが観光資源となるのでしょうか。それらの意味を学びます。			
5回	観光と観光サービス		1. 観光と観光サービス 2. 観光の果たす役割 3. 観光マーケットの分類(国内旅行・海外旅行・個人旅行・ビジネス旅行など)を学びます。			
6回	観光の歴史		日本の旅(たび)の歴史を学びます。			
7回	観光の歴史		中世以前の歴史を学びます。			
8回	観光の歴史		江戸時代(えどじだい)の旅を学びます。			
9回	観光の歴史		明治(1868年)から昭和戦前(1945年)の旅を学びます。			
10回	観光の歴史		1945年以降から現在までの旅を学びます。			
11回	国内旅行		国内旅行の規模とマーケットの広がりについてを学びます。			
12回	国内旅行		国内旅行の目的地にはどのようなところが有るかを学びます。			
13回	海外旅行		1. 海外旅行の準備から出発までを学びます。 2. 日本人の海外旅行の目的地にはどのようなところが有るかを学びます。			
14回	訪日旅行について		訪日外国人旅行を受け入れる日本の課題について学びます。			
15回	観光と国際社会		インバウンド(Inbound)と異文化理解について学びます。 定期試験を行います。			

対象学年	1年	学期	通年	学科	観光ビジネス進学科	
科目名	国内観光地理				クラス	I
担当講師(フルネーム)	金森和彦				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	地域ごとの国々・主な都市及び都市コードを白地図に記入 有名観光地の映像を見る				授業形態	講義
到達目標	日本の地域・国々・主な都市・有名観光地を覚える					
使用テキスト	プリント					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	九州の概要説明		九州各県の経済、特徴について説明			
2回	福岡県(観光、空港情報)		九州の中心地、福岡の経済について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介			
3回	佐賀県(観光、空港情報)		有田焼など焼き物文化について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介			
4回	長崎県(観光、空港情報)		南蛮文化、長崎の世界遺産群の説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介			
5回	大分県(観光、空港情報)		日本屈指の温泉地について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介			
6回	熊本県(観光、空港情報)		阿蘇山の観光資源について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介			
7回	宮崎県(観光、空港情報)		高千穂など神々の歴史について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介			
8回	鹿児島県(観光、空港情報)		幕末の薩摩藩の歴史について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介			
9回	沖縄県(観光、空港情報)		沖縄リゾートについて説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介			
10回	広島県(観光、空港情報)		世界遺産厳島神社について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介			
11回	兵庫県(観光、空港情報)		世界遺産姫路城について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介			
12回	香川県(観光、空港情報)		金毘羅さんなどの観光地説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介			
13回	高知県(観光、空港情報)		よさこい祭りの歴史について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介			
14回	愛媛県(観光、空港情報)		道後温泉など観光地説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介			
15回	まとめ		まとめ 期末試験について			

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	観光ビジネス進学科	
科目名	ビジネスマナー				クラス	I
担当講師(フルネーム)	榎本美和子				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	・おもてなしの心を学ぶ ・基本的なビジネスマナーを学ぶ				授業形態	講義
到達目標	日本のビジネスマナー、おもてなしの心を学び、資格試験取得を目指す					
使用テキスト						
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数 2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	・授業の内容、目的、評価方法 ・自己紹介				
2回	マナーについて	・日本のマナー、おもてなしの心について ・日本のマナーと外国のマナーの共通点と相違点をアルバイトの経験を通して発表してみよう！				
3回	お辞儀の基本	・お辞儀の歴史、握手の意味 ・お辞儀の仕方 ロープレ				
4回	あいさつ	・あいさつは自分から！ ・その場に応じたあいさつ・・・好感のもたれるあいさつの仕方 様々な場面を想像しロープレ				
5回	身だしなみ	・ビジネスにふさわしい身だしなみ 男性編と女性編				
6回	時間厳守	時間を守る大切さ・・・日常生活において 期日を守ることにについて				
7回	指示の受け方と報告	・日本語での指示を的確にとらえ、受け方を学ぶ ・相手が分かりやすい報告の仕方 ロープレ				
8回	名刺交換	・名刺の扱いと管理 ・オリジナルな名刺を作ろう！ ・名刺交換の仕方 ロープレ				
9回	言葉遣い	・敬語の種類と使い方・・・アルバイトでの敬語、ホテル・旅館で使う敬語 ・ロープレ				
10回	電話対応	・電話をかける前に、電話のかけ方、受け方 ・こんなときどうする？様々な場面での電話対応				
11回	接客マナー	・廊下、階段、エレベーターでの案内の仕方 ・幅広い年齢層の対応の仕方 ・ホテル、旅館での食事のマナー				
12回	おもてなし検定	・おもてなし検定の問題に触れる ・ホテル、旅館で目にする漢字を読むチャレンジ！				
13回	期末試験対策	これまで学んだことを振り返り、質疑応答				
14回	期末試験	授業内に期末試験を実施				
15回	DVD視聴	・期末試験 FB ・日本のおもてなしを感じられる映画鑑賞！				

対象学年	1年	学期	通年	学科	観光ビジネス進学科	
科目名	日本語能力試験対策 I (文法)				クラス	I
担当講師(フルネーム)	入江 千治				実務経験	無
授業概要(内容)	・仕事、生活の中でよく使われるN3文法への理解を深める。 ・N3文法の使い方を繰り返し練習する。				授業形態	講義
到達目標	・日本語能力試験合格					
使用テキスト	・『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN3』(アルク)					
成績評価方法	・期末試験50% 平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	N3文法	・授業の進め方、評価方法についての説明 ・テキストUnit1(導入／練習)				
2回	N3文法	・テキストUnit1(導入／練習)				
3回	N3文法	・小テスト ・テキストUnit2(導入／練習)				
4回	N3文法	・テキストUnit2(導入／練習)				
5回	N3文法	・小テスト ・テキストUnit3(導入／練習)				
6回	N3文法	・テキストUnit3(導入／練習)				
7回	N3文法	・小テスト ・テキストUnit4(導入／練習)				
8回	N3文法	・テキストUnit4(導入／練習)				
9回	N3文法	・小テスト ・テキストUnit4(導入／練習)				
10回	N3文法	・模擬試験				
11回	N3文法	・模擬試験				
12回	N3文法	・テキストUnit5(導入／練習)				
13回	N3文法	・テキストUnit5(導入／練習)				
14回	N3文法	・総復習				
15回	N3文法	・期末試験				

対象学年	1年	学期	通年	学科	観光ビジネス進学科	
科目名	日本語能力試験対策Ⅱ（読解・聴解）				クラス	I
担当講師（フルネーム）	入江 千治				実務経験	無
授業概要（内容）	・N3の読解・聴解の解き方を学ぶ。 ・N3レベルの読解・聴解で使われる日本語表現を学ぶ。				授業形態	講義
到達目標	・日本語能力試験合格					
使用テキスト	・『日本語能力試験対策日本語総まとめN3読解／聴解』（アスク出版）『日本語能力試験対策問題集スピードマスター読解／聴解』（Jリサーチ出版）					
成績評価方法	・期末試験50% 平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験						
	テーマ		授業内容			
1回	N3読解・聴解		・授業の進め方、評価方法についての説明 ・N3読解／聴解 練習			
2回	N3読解・聴解		・小テスト ・N3読解／聴解 練習			
3回	N3読解・聴解		・小テスト ・N3読解／聴解 練習			
4回	N3読解・聴解		・小テスト ・N3読解／聴解 練習			
5回	N3読解・聴解		・小テスト ・N3読解／聴解 練習			
6回	N3読解・聴解		・小テスト ・N3読解／聴解 練習			
7回	N3読解・聴解		・小テスト ・N3読解／聴解 練習			
8回	N3読解・聴解		・小テスト ・N3読解／聴解 練習			
9回	N3読解・聴解		・小テスト ・N3読解／聴解 練習			
10回	N3読解・聴解		・模擬試験			
11回	N3読解・聴解		・模擬試験			
12回	N3読解・聴解		・小テスト ・N3読解／聴解 練習			
13回	N3読解・聴解		・小テスト ・N3読解／聴解 練習			
14回	N3読解・聴解		・総復習			
15回	N3読解・聴解		・期末試験			

対象学年	1年	学期	通年	学科	観光ビジネス進学科	
科目名	日本語能力試験対策Ⅲ				クラス	I
担当講師(フルネーム)	上中真由美				実務経験	無
授業概要(内容)	日本語能力試験N3対策 N3文法の形・意味を学び練習問題を解く				授業形態	講義
到達目標	日本語能力試験N3合格					
使用テキスト	耳から覚える 日本語能力試験 文法トレーニングN3					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	N3文法		授業の進め方・評価方法について 文法の意味、使い方を確認する 文法問題を解く			
2回	N3文法		小テスト 文法の意味、使い方を確認する 文法問題を解く			
3回	N3文法		小テスト 文法の意味、使い方を確認する 文法問題を解く			
4回	N3文法		小テスト 文法の意味、使い方を確認する 文法問題を解く			
5回	N3文法		小テスト 文法の意味、使い方を確認する 文法問題を解く			
6回	N3文法		小テスト 文法の意味、使い方を確認する 文法問題を解く			
7回	N3文法		小テスト 文法の意味、使い方を確認する 文法問題を解く			
8回	N3文法		小テスト 文法の意味、使い方を確認する 文法問題を解く			
9回	N3文法		N3模擬テスト			
10回	N3文法		N3模擬テスト			
11回	N3文法		小テスト 文法の意味、使い方を確認する 文法問題を解く			
12回	N3文法		小テスト 文法の意味、使い方を確認する 文法問題を解く			
13回	N3文法		小テスト 文法の意味、使い方を確認する 文法問題を解く			
14回	N3文法		小テスト 文法の意味、使い方を確認する 文法問題を解く			
15回	N3文法		期末テスト + FB			

対象学年	1年	学期	通年	学科	観光ビジネス進学科	
科目名	日本語能力試験対策Ⅳ				クラス	I
担当講師(フルネーム)	上中真由美				実務経験	無
授業概要(内容)	日本語能力試験N3対策 読解問題を解き、読解力をつける				授業形態	講義
到達目標	日本語能力試験N3合格					
使用テキスト	プリント配布 (ドリル&ドリル、必ずできるJLPT、新完全マスター など)					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	N3読解		授業の進め方・評価方法について N3読解テスト			
2回	N3読解		N3聴解テスト 読解問題を解き、全体で解答を確認する			
3回	N3読解		読解問題を解き、全体で解答を確認する			
4回	N3読解		読解問題を解き、全体で解答を確認する			
5回	N3読解		読解問題を解き、全体で解答を確認する			
6回	N3読解		読解問題を解き、全体で解答を確認する			
7回	N3読解		読解問題を解き、全体で解答を確認する			
8回	N3読解		読解問題を解き、全体で解答を確認する			
9回	N3読解		N3模擬テスト、FB			
10回	N3読解		N3模擬テスト、FB			
11回	N3読解		読解問題を解き、全体で解答を確認する			
12回	N3読解		読解問題を解き、全体で解答を確認する			
13回	N3読解		読解問題を解き、全体で解答を確認する			
14回	N3読解		読解問題を解き、全体で解答を確認する			
15回	N3読解		期末テスト			

対象学年	1年	学期	通年	学科	観光ビジネス進学科	
科目名	日本語能力試験対策Ⅴ				クラス	I
担当講師(フルネーム)	松田裕美子				実務経験	無
授業概要(内容)	日本語能力試験N2の文法対策				授業形態	講義
到達目標	日本語能力試験N2レベルの語彙を身に着ける					
使用テキスト	N2文法総まとめ(三修社)本冊及び問題集					
成績評価方法	・期末試験60% 平常点40% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	N2文法		・文法レベルチェックテスト ・第1週1日目 ・宿題(ドリドリ:文の文法1【1】)			
2回	N2文法		・宿題チェック ・第1週2日目 ・宿題(ドリドリ:文の文法1【2】)			
3回	N2文法		・宿題チェック ・第1週3日目 ・宿題(ドリドリ:文の文法1【3】)			
4回	N2文法		・宿題チェック ・第1週4日目 ・宿題(ドリドリ:文の文法2【1】)			
5回	N2文法		・宿題チェック ・第1週5日目 ・宿題(ドリドリ:文の文法2【2】)			
6回	N2文法		・宿題チェック ・第2週1日目 ・宿題(ドリドリ:文章の文法【1】)			
7回	N2文法		・宿題チェック ・第2週2日目 ・宿題(ドリドリ:文の文法1【4】)			
8回	N2文法		・宿題チェック ・第2週3日目 ・宿題(ドリドリ:文の文法1【5】)			
9回	N2文法		・宿題チェック ・第2週4日目 ・宿題(ドリドリ:文の文法2【3】)			
10回	N2文法		・宿題チェック ・第2週5日目 ・宿題(ドリドリ:文章の文法【2】)			
11回	N2文法		・宿題チェック ・第3週1日目 ・宿題(ドリドリ:文の文法1【6】)			
12回	N2文法		・宿題チェック ・第3週2日目 ・宿題(ドリドリ:文の文法1【7】)			
13回	N2文法		・宿題チェック ・第3週3日目 ・宿題(ドリドリ:文の文法2【4】)			
14回	N2文法		・宿題チェック ・期末試験 ・第3週4日目 ・宿題(ドリドリ:文の文法2【5】)			
15回	N2文法		・宿題チェック ・期末試験返却及びフィードバック ・第3週5日目			

対象学年	1年	学期	通年	学科	観光ビジネス進学科	
科目名	日本語能力試験対策Ⅵ				クラス	I
担当講師(フルネーム)	松田裕美子				実務経験	無
授業概要(内容)	日本語能力試験N2の読解及び聴解対策				授業形態	講義
到達目標	日本語能力試験N2レベルの読解及び聴解の解き方を身に着ける					
使用テキスト	プリント配布(パワードリルN2文法・ドリル&ドリルなど)					
成績評価方法	・期末試験60% 平常点40% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	N2文法・聴解		・聴解レベルチェックテスト ・パワードリルN2文法 第1回 ・聴解練習問題(ドリドリ:課題理解第1回)			
2回	N2文法・聴解		・文法小テスト ・パワードリルN2文法 第2回 ・聴解練習問題(ドリドリ:ポイント理解第1回)			
3回	N2文法・聴解		・文法小テスト(三修社問題集:p.6-7) ・パワードリルN2文法 第3回 ・聴解練習問題(ドリドリ:概要理解第1回)			
4回	N2文法・聴解		・文法小テスト(三修社問題集:p.8-9) ・パワードリルN2文法 第4回 ・聴解練習問題(ドリドリ:即時応答第1回)			
5回	N2文法・聴解		・文法小テスト(三修社問題集:p.10-11) ・パワードリルN2文法 第5回 ・聴解練習問題(ドリドリ:統合理解第1回)			
6回	N2文法・聴解		・文法小テスト ・パワードリルN2文法 第6回 ・聴解練習問題(ドリドリ:課題理解第2回)			
7回	N2文法・聴解		・文法小テスト ・パワードリルN2文法 第7回 ・聴解練習問題(ドリドリ:ポイント理解第2回)			
8回	N2文法・聴解		・文法小テスト(三修社問題集:p.14-15) ・パワードリルN2文法 第8回 ・聴解練習問題(ドリドリ:概要理解第2回)			
9回	N2文法・聴解		・文法小テスト(三修社問題集:p.16-17) ・パワードリルN2文法 第9回 ・聴解練習問題(ドリドリ:即時応答第2回)			
10回	N2文法・聴解		・文法小テスト(三修社問題集:p.18-19) ・パワードリルN2文法 第10回 ・聴解練習問題(ドリドリ:統合理解第2回)			
11回	N2文法・聴解		・文法小テスト ・パワードリルN2文法 第11回 ・聴解練習問題(ドリドリ:課題理解第3回)			
12回	N2文法・聴解		・文法小テスト ・パワードリルN2文法 第12回 ・聴解練習問題(ドリドリ:ポイント理解第3回)			
13回	N2文法・聴解		・文法小テスト(三修社問題集:p.22-23) ・パワードリルN2文法 第13回 ・聴解練習問題(ドリドリ:概要理解第3回)			
14回	N2文法・聴解		・期末試験 ・パワードリルN2文法 第14回 ・聴解練習問題(ドリドリ:即時応答第3回)			
15回	N2文法・聴解		・期末試験返却及びフィードバック ・パワードリルN2文法 第15回 ・聴解練習問題(ドリドリ:統合理解第3回)			

対象学年	1年	学期	通年	学科	観光ビジネス進学科	
科目名	日本語能力試験対策Ⅶ				クラス	I
担当講師(フルネーム)	松田裕美子				実務経験	無
授業概要(内容)	日本語能力試験N2の語彙対策				授業形態	講義
到達目標	日本語能力試験N2レベルの語彙を身につける					
使用テキスト	プリント配布(パワードリル・ドリル&ドリル・新完全マスターなど)					
成績評価方法	・期末試験60% 平常点40% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	N2語彙		・レベルチェックテスト ・新完全マスター漢字:第1回 ・擬音語擬態語1 ・ドリドリ:漢字読み・表記 各第1-2回 / ・宿題:新完全マスターN2語彙(p.4-5)			
2回	N2語彙		・宿題チェック ・新完全マスター漢字:第2回 ・擬音語擬態語2 ・ドリドリ:語形成 第1-2回 / ・宿題:新完全マスターN2語彙(p.8-9)			
3回	N2語彙		・宿題チェック ・新完全マスター漢字:第3回 ・擬音語擬態語3 ・ドリドリ:文脈規定 第1-2回 / ・宿題:新完全マスターN2語彙(p.12-13)			
4回	N2語彙		・宿題チェック ・新完全マスター漢字:第4回 ・擬音語擬態語4 ・ドリドリ:言い換え 第1-2回 / ・宿題:新完全マスターN2語彙(p.12-13)			
5回	N2語彙		・宿題チェック ・新完全マスター漢字:第5回 ・擬音語擬態語5 ・ドリドリ:用法 第1-2回 / ・宿題:新完全マスターN2語彙(p.16-17)			
6回	N2語彙		・宿題チェック ・新完全マスター漢字:第6回 ・擬音語擬態語6 ・ドリドリ:漢字読み・表記 各3-4回 / ・宿題:新完全マスターN2語彙(p.20-21)			
7回	N2語彙		・宿題チェック ・新完全マスター漢字:第7回 ・擬音語擬態語7 ・ドリドリ:語形成 第3-4回 / ・宿題:新完全マスターN2語彙(p.24-25)			
8回	N2語彙		・宿題チェック ・新完全マスター漢字:第8回 ・擬音語擬態語8 ・ドリドリ:文脈規定 第3-4回 / ・宿題:新完全マスターN2語彙(p.28-29)			
9回	N2語彙		・宿題チェック ・新完全マスター漢字:第9回 ・擬音語擬態語9 ・ドリドリ:言い換え 第3-4回 / ・宿題:新完全マスターN2語彙(p.32-33)			
10回	N2語彙		・宿題チェック ・新完全マスター漢字:第10回 ・擬音語擬態語10 ・ドリドリ:用法 第3-4回 / ・宿題:新完全マスターN2語彙(p.36-37)			
11回	N2語彙		・宿題チェック ・新完全マスター漢字:第11回 ・擬音語擬態語11 ・ドリドリ:漢字読み・表記 各第5-6回 / ・宿題:新完全マスターN2語彙(p.40-41)			
12回	N2語彙		・宿題チェック ・新完全マスター漢字:第12回 ・擬音語擬態語12 ・ドリドリ:語形成 第5-6回 / ・宿題:新完全マスターN2語彙(p.44-45)			
13回	N2語彙		・宿題チェック ・新完全マスター漢字:第13回 ・擬音語擬態語13 ・ドリドリ:文脈規定 第5-6回 / ・宿題:新完全マスターN2語彙(p.48-49)			
14回	N2語彙		・期末試験 ・新完全マスター漢字:第14回 ・擬音語擬態語14 ・宿題:新完全マスターN2語彙(p.52-53)			
15回	N2語彙		・期末試験返却及びフィードバック ・新完全マスター漢字:第15回 ・擬音語擬態語15 ・宿題:新完全マスターN2語彙(p.56-57)			

対象学年	1年	学期	通年	学科	観光ビジネス進学科	
科目名	日本語能力試験対策Ⅷ				クラス	I
担当講師(フルネーム)	松田裕美子				実務経験	無
授業概要(内容)	日本語能力試験N2の読解対策				授業形態	講義
到達目標	日本語能力試験N2レベルの読解の解き方を身につける					
使用テキスト	プリント配布(必ずできるN2読解・ドリル&ドリルなど)					
成績評価方法	・期末試験60% 平常点40% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	N2読解	・レベルチェックテスト ・必ずできるN2読解 ウォーミングアップ1 ・ドリドリ: 内容理解 短文第1回				
2回	N2読解	・必ずできるN2読解 ウォーミングアップ2 ・ドリドリ: 内容理解 短文第2回				
3回	N2読解	・必ずできるN2読解 ウォーミングアップ3 ・ドリドリ: 内容理解 中文第1回				
4回	N2読解	・必ずできるN2読解 ウォーミングアップ4 ・ドリドリ: 内容理解 中文第2回				
5回	N2読解	・必ずできるN2読解 ウォーミングアップ5 ・ドリドリ: 内容理解 中文第3回				
6回	N2読解	・必ずできるN2読解 ウォーミングアップ6 ・ 練習問題第1日目				
7回	N2読解	・必ずできるN2読解 練習問題第2日目				
8回	N2読解	・必ずできるN2読解 練習問題第3日目				
9回	N2読解	・必ずできるN2読解 練習問題第4日目				
10回	N2読解	・必ずできるN2読解 練習問題第5日目				
11回	N2読解	・必ずできるN2読解 練習問題第6日目				
12回	N2読解	・必ずできるN2読解 練習問題第7日目				
13回	N2読解	・必ずできるN2読解 練習問題第8日目				
14回	N2読解	・期末試験 ・必ずできるN2読解 練習問題第9日目				
15回	N2読解	・期末試験返却及びフィードバック ・必ずできるN2読解 練習問題第10日目				

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	観光ビジネス進学科	
科目名	日本語コミュニケーションⅠ				クラス	I
担当講師(フルネーム)	恵良恭子				実務経験	無
授業概要(内容)	①話題別、性質別(意味・品詞・形式)の言葉を学ぶ。 ②N2能力試験対策——(テキスト・問題集)				授業形態	講義
到達目標	N3・N2 合格できる力をつけるだけでなく、全般的な語彙力・運用力をつける。					
使用テキスト	・新完全マスターN2語彙 ・ドリル&ドリルN2語彙／N3スピードマスター／N2パワードリル					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験						
	テーマ	授業内容				
1回	N2語彙 1章	【1課】 親類・友人・知人——自分の周りにはどんな人がいるか。 意味と読み——音読 基本練習——今日習ったところの復習・FB 実践練習—宿題				
2回	N2語彙 1章	1課小テスト(実践練習) 【2課】 人の性格・特徴——自分の性格の長所と欠点が言えるか。 意味と読み——音読／基本練習				
3回	N2語彙 1章	2課小テスト(実践練習) 【3課】 人の対する感情・行動——感情・行動・礼儀・恋愛 意味と読み——音読／基本練習				
4回	N2語彙 2章	3課小テスト(実践練習) 【1課】 食生活——好きな料理・味は。 意味と読み——音読／基本練習				
5回	N2語彙 2章	1課小テスト(実践練習) 【2課】 家事——料理の作り方、家事全般 意味と読み——音読／基本練習				
6回	N2語彙 2章	2課小テスト(実践練習) 【3課】 健康——かぜの症状・体調・病院 意味と読み——音読／基本練習				
7回	N2語彙 3章	3課小テスト(実践練習) 【3章】 趣味・娯楽——あなたの趣味はなに。 意味と読み——音読／基本練習				
8回	N2語彙 4章	3章小テスト(実践練習) 【1課】 旅行・交通——観光・準備・海外旅行・交通機関 意味と読み——音読／基本練習				
9回	N2語彙 4章	1課小テスト(実践練習) 【2課】 自然——自分の町の地形・気温風景・四季を説明する。 意味と読み——音読／基本練習				
10回	N2語彙 5章	2課小テスト(実践練習) 【1課】 学校——自分の国の学校教育・制度 意味と読み——音読／基本練習				
11回	N2語彙 5章	1課小テスト(実践練習) 【2課】 仕事——就職・仕事／将来目指す仕事・経営 意味と読み——音読／基本練習				
12回	N2語彙 6章	2課小テスト(実践練習) 【1課】 メディア(報道・広告)——ニュースを知りたいとき新聞・テレビを利用するか。 意味と読み——音読／基本練習				
13回	N2語彙 6章	1課小テスト(実践練習) 【2課】 コンピューター——メール・文書作成・インターネットなどの語彙を知っているか。 意味と読み——音読／基本練習				
14回	186P～187P 第1回模試	2課小テスト(実践練習) 【1課】 社会——行事 意味と読み——音読／基本練習				
15回	前期まとめ	期末テスト復習				

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	観光ビジネス進学科		
科目名	日本語コミュニケーション II				クラス	1留	
担当講師(フルネーム)	永吉美知子				実務経験	無	
授業概要(内容)	日本語の運用力を高めるため 読み物を中心とした授業の中で 内容把握や要点整理に重点をおいて コミュニケーション力を培う				授業形態	講義	
到達目標	コミュニケーション力の向上						
使用テキスト	みんなの日本語 中級 標準問題集 飛躍 パワードリル						
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施						
	テーマ		授業内容				
1回	みんなの日本語中級1課		読む・書く				
2回	みんなの日本語中級2課		読む・書く				
3回	標準問題集1・2課		問題 漢字確認				
4回	みんなの日本語中級3課		読む・書く				
5回	みんなの日本語中級4課		読む・書く				
6回	標準問題集3・4課		問題 漢字確認				
7回	みんなの日本語中級5課		読む・書く				
8回	みんなの日本語中級6課		読む・書く				
9回	試験対策		能力試験とFB				
10回	試験対策		能力試験とFB				
11回	標準問題集5・6課		問題 漢字確認				
12回	みんなの日本語中級7課		読む・書く				
13回	みんなの日本語中級8課		読む・書く				
14回	標準問題集7・8課		問題 漢字確認				
15回	学期末対策		総復習				

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	観光ビジネス進学科	
科目名	ビジネスマナー				クラス	I
担当講師(フルネーム)	榎本美和子				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	・おもてなしの心を学ぶ ・基本的なビジネスマナーを学ぶ				授業形態	講義
到達目標	日本のビジネスマナー、おもてなしの心を学び、資格試験取得を目指す					
使用テキスト						
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	・授業の内容、目的、評価方法 ・自己紹介				
2回	マナーについて	・日本のマナー、おもてなしの心について ・日本のマナーと外国のマナーの共通点と相違点をアルバイトの経験を通して発表してみよう！				
3回	お辞儀の基本	・お辞儀の歴史、握手の意味 ・お辞儀の仕方 ロープレ				
4回	あいさつ	・あいさつは自分から！ ・その場に応じたあいさつ・・・好感をもたれるあいさつの仕方 様々な場面を想像しロープレ				
5回	身だしなみ	・ビジネスにふさわしい身だしなみ 男性編と女性編				
6回	時間厳守	時間を守る大切さ・・・日常の生活において 期日を守ることにについて				
7回	指示の受け方と報告	・日本語での指示を的確にとらえ、受け方を学ぶ ・相手が分かりやすい報告の仕方 ロープレ				
8回	名刺交換	・名刺の扱いと管理 ・オリジナルな名刺を作ろう！ ・名刺交換の仕方 ロープレ				
9回	言葉遣い	・敬語の種類と使い方・・・アルバイトでの敬語、ホテル・旅館で使う敬語 ・ロープレ				
10回	電話応対	・電話をかける前に、電話のかけ方、受け方 ・こんなときどうする？様々な場面での電話対応				
11回	接客マナー	・廊下、階段、エレベーターでの案内の仕方 ・幅広い年齢層の対応の仕方 ・ホテル、旅館での食事のマナー				
12回	おもてなし検定	・おもてなし検定の問題に触れる ・ホテル、旅館で目にする漢字を読むチャレンジ！				
13回	期末試験対策	これまで学んだことを振り返り、質疑応答				
14回	期末試験	授業内に期末試験を実施				
15回	DVD視聴	・期末試験 FB ・日本のおもてなしを感じられる映画鑑賞！				

夜間総合観光

対象学年	1年	学期	通年	学科	夜間総合観光科	
科目名	就職活動講座(LHR)				クラス	Y
担当講師(フルネーム)	金森和彦				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	就職活動に向けて意識を高め、具体的な行動と準備ができるようになる。 この授業はLHRと平行して行う				授業形態	講義
到達目標	就職活動に必要な必要事項の完成を目指す					
使用テキスト	就職ノート					
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点(授業態度 就職活動の姿勢)80% レポート・演習20%				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ	授業内容				
1回	就職活動の心構え	就職活動とは・学生と社会人の違い・なぜ働くのか？ 採用の基準(求められる人材・一緒に働きたい人とは)				
2回	就職活動の基本	入社試験の内容と流れ 就職活動のルール 当学科の2年間				
3回	自己分析	あなたのモットー・座右の銘は？				
4回	自己分析	キャリアプラン・ライフプラン 自身の経験をもとに自己分析を行なう 入学理由・業界や職種に興味を持ったきっかけ				
5回	自己分析	もっとも打ち込んだ事は？ 現在の生活状況やアルバイトから自身の強みを考える				
6回	自己分析	自身はクラスメイトからどのように思われている？ 前回までの授業の続き				
7回	自己PR	自己PRの作り方				
8回	自己PR	パーソナルチェック(挫折経験・ストレス解消法・趣味・特技)				
9回	質問事例	接客・サービス・おもてなしについての質問 感動のサービス・お客様に満足していただくためには				
10回	質問事例	職業観についての質問				
11回	コミュニケーションスキル	自分の意見を伝えるためには…「結論から話す」 結論から話す練習				
12回	企業研究	働きたい会社を見つけて志望動機につなげる				
13回	履歴書作成	履歴書の記入項目と書き方 文章のまとめ方・志望動機と自己PR以外の項目の書き方				
14回	履歴書作成	志望動機&自己PR完成				
15回	まとめ	履歴書完成				

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	夜間総合観光科	
科目名	観光業界研究(旅行/エアライン/鉄道)				クラス	Y
担当講師(フルネーム)	金森和彦				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	【旅行】旅行業界の知識・販売・添乗について講義 【エアライン】航空業界の知識・空港、航空機、業種について講義				授業形態	講義
到達目標	旅行・エアラインの基礎知識を習得する					
使用テキスト	国内カウンター販売 JTB総合研究所					
成績評価方法	【旅行】確認テスト実施(70%)+平常点(小テスト含む)(30%)／【エアライン】確認テスト実施(80%)+平常点(小テスト含む)(20%) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	旅行①	旅行とは？旅行業の歴史、観光業界の中の旅行業 旅行業界を取り巻く環境、課題をテーマに講義				
2回	旅行②	旅行会社の概説 各旅行会社の形態と業務内容、ブランドについて知る 旅行会社の求人について				
3回	旅行③	基礎知識① <鉄道> JRとは？JR各社と路線(新幹線・在来線特急)、営業規則を確認 JR時刻表の使い方				
4回	旅行④	基礎知識② <航空> 国内線の航空会社、路線、運賃種別、営業規則を確認				
5回	旅行⑤	基礎知識③ <フェリー・バス> 日本国内のフェリー会社、路線、バスの種別を確認				
6回	旅行⑥	旅行業界の業界用語、言い回し 旅行パンフレットの見方、カウンターでのロールプレイを通して実践				
7回	旅行⑦	添乗業務／業務の流れ(準備・添乗・精算)、添乗あいさつ、案内の言い回しなどをロールプレイを通して実践				
8回	確認テスト	確認テストを実施。 授業のまとめ、振り返り				
9回	エアラインビジネス	航空業界に対するイメージの意見交換を行う 航空会社の業務とそれを取り巻く関連会社の業務について学ぶ 空港の旅客、貨物取扱い能力について学ぶ				
10回	航空業界とは	航空輸送事業の歴史と近年の動向について学ぶ 航空会社の新規参入と格安航空会社(LCC)の台頭について学ぶ 航空会社グループ化の進展(アライアンス)について学ぶ				
11回	空港業務の概要	空港の種類、機能及び施設について学ぶ 航空会社及び関連会社について学ぶ 航空機の歴史、活躍中の航空機及び将来の航空機について学ぶ				
12回	航空業界の仕事	JAL・ANAグループ航空会社とハンドリング会社の組織と業務内容について説明し学ぶ 日本に就航している格安航空会社について学ぶ				
13回	航空業界の仕事	旅客業務の一般的な流れについて学ぶ 運行管理業務、ステーション・コーディネーション業務について学ぶ 運行支援業務(グランドハンドリング業務)について学ぶ				
14回	航空業界の仕事	整備業務、ケータリング業務について学ぶ 航空貨物業務について学ぶ 航空保安対策基準について学ぶ				
15回	確認テスト	航空業界の今後の動向について学ぶ 確認テストを実施 授業のまとめ				

対象学年	1年	学期	通年	学科	夜間総合観光科	
科目名	コンピュータ				クラス	Y
担当講師(フルネーム)	坂井隆仁				実務経験	有(ブライダル業界勤務歴)
授業概要(内容)	タイピング、ビジネスレター(文書、メール等)を繰り返し練習する。 ビジネス文書のルール、ファイル管理を練習する。				授業形態	実技
到達目標	Microsoft Wordの基礎知識を学び、タイピングスキルと、就活や社会人として必要な文書作成スキルを身につける					
使用テキスト	実教出版 30時間でマスターOffice2019					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		OAルームの使用について 授業の進め方・その他の確認、ファイルとフォルダの操作・クラウドについて タイピングスキルチェック、自己紹介カードの入力			
2回	Word基礎		キーボード操作(様々な入力方法やショートカットキーの活用) 文章入力 ※ページ設定、文字書式、文字のコピー・削除・移動など、ファイル保存について			
3回	Word基礎		タイピング練習 ビジネス文書作成(社内文書) ※表作成、ビジネス文書の基本など			
4回	Word基礎		タイピング練習 ビジネス文書作成(社内文書) ※画像の挿入、図形描画など			
5回	Word基礎		タイピング練習 ビジネス文書作成(ビジネスレター、ビジネスメール) ※ビジネスメールの基本、書き方			
6回	Word基礎		タイピング練習 ビジネス文書作成(ビジネスレター、ビジネスメール) ※ビジネスメールの基本、書き方			
7回	Word基礎		タイピング練習 ビジネス文書作成(社外文書) ※ビジネス文書の基本、箇条書きなど			
8回	Word基礎		タイピング練習 ビジネス文書作成(社外文書) ※ページ設定、文字書式、段落書式(箇条書き・均等割り付け)			
9回	Word基礎		タイピング練習 ビジネス文書作成(社外文書) ※送付状やお礼状の練習			
10回	Word基礎		タイピング練習 ビジネス文書作成(社外文書) ※送付状やお礼状の練習			
11回	Word基礎		タイピング練習 ビジネス文書作成(チラシ・ポスター作成) ※画像の挿入、図形描画・ワードアートなど			
12回	Word基礎		タイピング練習 ビジネス文書作成(チラシ・ポスター作成) ※画像の挿入、図形描画・ワードアートなど			
13回	前期期末試験		前期期末試験実施			
14回	Word基礎		タイピング練習 期末試験解説・ビジネス文書作成(ポストカード作成) 写真や画像の挿入・スマホ画像の活用など			
15回	Word基礎		タイピング練習 ビジネス文書作成(チラシ・ポスター作成) 写真や画像の挿入・スクリーンショットなど			

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	夜間総合観光	
科目名	筆記試験対策				クラス	Y
担当講師(フルネーム)	北村正雄				実務経験	無
授業概要(内容)	現在ホテル・エアライン・旅行会社などいろいろな企業が採用しているのが㈱リークルートマーケティング社のSPIです。SPIを学習することで各企業の能力検査試験に対応できます。このSPI能力検査試験に合格しなければ面接には進めません。キツイけど一緒に頑張りましょう。				授業形態	講義
到達目標	ホテル・エアライン・旅行系などの企業の就職試験に合格するのに必要な学力を修得することが出来ます。					
使用テキスト	SPI基本問題集 大和書房					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション・基礎事項	講義指針、内容などに関する事項 各業界の採用試験形式と最近の試験傾向 SPIなどは公務員試験に採用されている数的推理・判断推理に似ています。できるだけ方程式を使わないで問題を処理する能力が要求されます。特に最近の推論という分野は、問題文を見て論理的な思考を用いてその場で解答を導きます。数学ができるからと言っても、推論が解けるとは限りません。逆に数学ができなくても推論は解けます。問題が発生したとき、その場で考えて問題を推理し論理的に処理する能力があればそれでいいのです。数学苦手な人も自信を持ってください。				
2回	鶴亀算 連立方程式	約1300年前の奈良時代に中国から伝わった考え方。鶴と亀が合わせて20匹(羽) 鶴と亀合わせた足の数は70本 鶴と亀はそれぞれ何匹? 大人料金1300円子供料金600円 消しゴム35円鉛筆60円など。鶴亀算の出題率は非言語のベスト5に入ります。最近のテストセンターでは、鶴亀算が動く条件も出題されています。連立方程式を使って解くのが一般的ですが、自分の解きやすい解き方で解いて短時間で正解にたどり着ければそれでよいのです。				
3回	速さ・時間・距離 1 旅人算	この問題は旅人算・追いかけ算・出会い算と呼ばれています。この分野もほとんどすべての試験形式で、出題されます。距離と時間と速さの関係性がポイントです。速さとかかる時間が逆比の関係性にあることがキモです。実際の入社試験の過去問を解いていきましょう。有名な問題は、Aが分速60mで寮から駅に向かって信号機のない直線道路歩き始めた。その15分後、Bが分速80mで追いつけた。Bは何分後寮から何mの地点でAに追いつけますか? また鉄橋通過算もあります。時速と列車と鉄橋の長さが与えられている場合、列車がこの鉄橋を通過するのに何秒かかりますか? ポイントは時速を秒速に変換する点です。				
4回	速さ・時間・距離 2 旅人算と 流水算	この問題は旅人算・追いかけ算・出会い算と呼ばれています。出会い算とは、寮から勤務のホテルまで、信号機なしの直線道路で、17km離れています。Aが寮から勤務先のホテルに出勤するため、午前8時に自転車で時速時速7kmで向かいました。他方勤務明けのBは寮に戻るため、バイクで、午前8時に時速21kmでホテルを出発しました。AとBは何時間何分に寮から何m? ホテルから何mの地点で出会いますか? 流水算とは、川の上流A地点と、川の下流のB地点を船で往復する場合の、静水時の船の速さや、川の流れの速さを求める問題です。				
5回	食塩水の濃度1	SPI・SCOAの分野で最重要の問題 出題率の2トップのうちの一つです。毎年航空・旅行・ホテルなどの企業で出題されています。食塩水の問題の正体をあばいてみせます。なぜ出題頻度が高いのか? 食塩水の問題は数学的思考を見るのに適しているからだと思えます。実際、鉄道の駅 ホテル、空港、プライダル式場で、濃度7%の食塩水100g下さいと言われることはないと思います。①食塩水Aに、食塩を混ぜて、できた食塩水Bの濃度は何%? ②濃度の異なる食塩水Aと食塩水Bを混ぜ合わせた時に出来る食塩水Cの濃度は何%?				
6回	食塩水の濃度2	SPI・SCOAの分野で最重要の問題 出題率の2トップのうちの一つです。毎年航空・旅行・ホテルなどの企業で出題されています。食塩水の問題の正体をあばいてみせます。なぜ出題頻度が高いのか? 食塩水の問題は数学的思考を見るのに適しているからだと思えます。実際、ホテル、空港、プライダル式場で、濃度7%の食塩水100g下さいと言われることはないと思います。③食塩水Aに水または食塩を混ぜて、食塩水Bを作るには水、または食塩を何g加えるといひですか? ④食塩水A(濃度13%重さ270g)を煮沸して出来た食塩水B(重さ190g)の濃度は? 煮沸して、蒸発するのは水だけがポイント				
7回	年齢算	年齢算の正体を明らかにします。年齢算にはいろいろな解き方があります。自分の解きやすい解き方で解いて構いません。大切なことは早く、正確に正解することです。SPI非言語は小学校高学年の文章題で学習した内容が非常に多いです。小学校で習ったから、簡単ではありませんよ。中学・高校の数学のほうが問題によっては簡単なケースがたくさんあります。SPI非言語と数学は必ずしも同じではありません。それが数学と言わずに、SPI非言語と命名されている理由だと思えます。				
8回	確率 Probability	確率は必ず出題されます。絶対に理解しておきましょう。確率については最大が1です。100%でも10割でもかまいません。公式は $0 < P < 1$ Probability 試験のポイントは(少なくとも)余事象の理解です。余事象の場合、解答欄の選択肢は、必ず【1ー分率】を選択することになります。とても大事なので1年後期でも学習します。ある日のホテルの宿泊客35名。内訳は男性は21名女性14名。翌朝2人がチェックアウトしました。①チェックアウトした二人が二人とも女性だった確率は? ②二人のうち少なくとも一人が女性だった確率は?				
9回	順列 Permutation	順列の基本的な考えは難しくありません。小学校中学校の時に理解できていない学生もたくさんいます。もう一度じっくり考えてみると必ず理解できます。公式は、 nPr P =permutation=順列 n は全体の数字 r は n 個(人)の中から取り出して並べた時の数です。公式に当てはめるだけですから絶対に落とせません。順列も1年後期でさらに難しい問題に挑戦します。SPI・3になってから、重複順列・円順列も出題されています。数珠順列は出題されていません				
10回	組み合わせ Combination	順列が理解できないと組合せは理解できません。順列ではABC ACB BAC BCA CAB CBAはすべて別と考えます。つまり並び方が違うと別物と考えます。組合せは列(並び方)ではなく、中身・内容で考えるので、ABC～CBAまで全て同じと考えます。つまり組み合わせとしては、1個です。公式 nCr C =Combination公式の意味も理解しましょう。組み合わせも1年後期でさらに難しい問題に挑戦します。				
11回	仕事算	仕事算の意味=ある人、ある機械が一日又は一時間一分間当たりどれだけの仕事をするかの問題 仕事算の基本問題・公式①一日(一時間)当たりの仕事量=1÷かかった日数(時数分秒数) Aがホテルのある業務21日かけて完了した。Aの一日当たりの仕事量は21分の1 数学では全体を1とする場合がとて多い。この場合の1(いち)はoneではなく、allの意味です。日本語としても、いち=1の意味に使われています。詳しくは講義の中で。				
12回	国語 二語の関係 1	SPI言語分野は独特の設問形式・二語の関係①類似語関係(熟読・通読・精読、啓発・啓蒙・開発、歴然・当然・泰然・明白、性急・短慮・緊急・短気)反対語関係(理論・実技・実践・実態、挫折・努力・貫徹・絶望、多弁・能弁・毒舌・寡黙)				
13回	国語 二語の関係 2	SPI言語分野は独特の設問形式・二語の関係②原料と製品 人とその役目 原因と結果 対義語 目的と手段 など				
14回	難しい漢字 誤用の語句	プリントB 難しい漢字(植物 動物 あじさい くるみ やし さざんか) 違いやすい漢字の意味、読み方、書き方(やぶさかでない そつとしない 気が置けない等)				
15回	前期数学国語分野の復習	前期復習 数学分野(各公式の確認) 特に確率 順列 組み合わせ 時間と速さの関係 国語 二語の関係性など				

対象学年	2年	学期	通年	学科	夜間総合観光科	
科目名	コミュニケーションイングリッシュ				クラス	Z
担当講師(フルネーム)	Geoffrey Wolfson				実務経験	無
授業概要(内容)	Doing self introductions. Making various presentations about oneself. Asking and answering various questions with a partner. Practicing role plays. Understanding various culture points.				授業形態	講義
到達目標	To improve students' fluency and ability to use simple English at work and socially. To raise their confidence levels using simple English by creating more opportunities for the students to speak.					
使用テキスト	Challenge book #4、Hotel English Booklet (Front staff)、Warm-up Booklet 2、Vocabulary Book (Noun)					
成績評価方法	・期末試験50% 平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	Orientation Warm Up: P1, Vocabulary: P1 Challenge Book: P7-8 Hotel Dialog: 1		Orientation: Explanation about Class rules Presentation and Q&A: Beginner's Test, Self-introduction Nouns starting with A, Service Greetings & Phrases 1 (left side)			
2回	Warm Up: P1, Vocabulary: P1 Challenge Book: P7-8 Hotel Dialog: 1		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation and Q&A: Beginner's Test, Self-introduction Sentences using nouns starting with A, Service Greetings & Phrases 1 (left side)			
3回	Warm Up: P1, Vocabulary: P2 Challenge Book: P9 Hotel Dialog: 2		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Personal Information Nouns starting with B, Service Greetings & Phrases 1 (left side)			
4回	Warm Up: P2, Vocabulary: P2 Challenge Book: P9 Hotel Dialog: 2		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Personal Information Sentences using nouns starting with B, Service Greetings & Phrases 1 (left side)			
5回	Warm Up: P2, Vocabulary: P3 Challenge Book: P10 Hotel Dialog: 3A		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: Introducing a Friend Nouns starting with C, Service Greetings & Phrases 1 (left side)			
6回	Warm Up: P2, Vocabulary: P3 Challenge Book: P10 Hotel Dialog: 3A		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: Introducing a Friend Sentences using nouns starting with C, Service Greetings & Phrases 1 (right side)			
7回	Warm Up: P3, Vocabulary: P4 Challenge Book: P11 Hotel Dialog: 3B		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Family Test Nouns starting with D, Service Greetings & Phrases 1 (right side)			
8回	Warm Up: P3, Vocabulary: P4 Challenge Book: P11 Hotel Dialog: 3B		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Family Test Sentences using nouns starting with D, Service Greetings & Phrases 1 (right side)			
9回	Warm Up: P3, Vocabulary: P5 Challenge Book: P12 Hotel Dialog: 3C		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Family Presentation Nouns starting with E, Service Greetings & Phrases 1 (right side)			
10回	Warm Up: P4, Vocabulary: P5 Challenge Book: P12 Hotel Dialog: 3C		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Family Presentation Sentences using nouns starting with E, Service Greetings & Phrases 1 (right side)			
11回	Warm Up: P4, Vocabulary: P6 Challenge Book: P13 Hotel Dialog: 4		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Sports Interview Nouns starting with F, Service Greetings & Phrases 1 (whole page)			
12回	Warm Up: P4, Vocabulary: P6 Challenge Book: P13 Hotel Dialog: 4		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Sports Interview Sentences using nouns starting with F, Service Greetings & Phrases 1 (whole page)			
13回	Warm Up: P5, Vocabulary: P7 Challenge Book: P14 Hotel Dialog: 5A		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Favorite Sport Nouns starting with G, Service Greetings & Phrases 1 (whole page)			
14回	Warm Up: P5, Vocabulary: P7 Challenge Book: P14 Hotel Dialog: 5A, Test		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Favorite Sport Sentences using nouns starting with G, Service Greetings & Phrases 1 (whole page)			
15回	Warm Up: P5, Vocabulary: P8 Challenge Book: P15 Hotel Dialog: 5B, Test		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Cuisine Interview Nouns starting with H, Service Greetings & Phrases 1 (whole page)			

対象学年	2年	学期	通年	学科	夜間総合観光科	
科目名	Web広告戦略				クラス	Z
担当講師(フルネーム)	坂井隆仁				実務経験	有(ブライダル業界勤務歴)
授業概要(内容)	前期でPCを使う上での基本的な知識を、Officeを使用し学習していきます同時にデータの取り扱い方、動画制作の勉強していきます。				授業形態	実技
到達目標	パソコンを使って色々な事ができる人材になっていきましょう。					
使用テキスト	特になし。課題、資料等はデータで配布予定。					
成績評価方法	・授業内課題70点 出席30点 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	スケジュール確認、タイピング練習 ファイルの保存、管理、提出方法について				
2回	画像を加工してみよう	画像の取得方法について 画質、ファイル形式について 人物抽出方法の紹介				
3回	Wordでチラシ作成	Wordで画像を使いチラシ作成をしてみましょう 課題作成				
4回	Word応用 画像のある文章作成①	前回学んだ画像配置を使い、 画像のある文章を作成してみましょう 課題作成				
5回	Word応用 画像のある文章作成②	wordの様々な機能を使って ビジネス文章を作成してみましょう。 課題作成				
6回	PowerPoint課題作成①	チーム別に課題作成				
7回	PowerPoint課題作成②	チーム別に課題作成				
8回	PowerPoint課題作成③	チーム別に課題作成				
9回	PowerPoint課題作成④	チーム別に課題作成 課題上映、振り返り				
10回	PowerPoint応用	PowerPointに動画を入れる方法 分割印刷 テンプレートについて				
11回	動画制作①	写真を使ってスライドショーを作成 音楽の挿入、トラジッションの使い方 動画広告について				
12回	動画制作②	課題作成① 音楽に合わせて動画編集				
13回	動画制作③	課題作成② 一つ国を選んで紹介動画作成				
14回	動画制作④	課題作成③ 動画に使える撮影方法を紹介				
15回	振り返り	今まで学習した内容を復習します。				

対象学年	2年	学期	通年	学科	夜間総合観光科	
科目名	観光地理				クラス	Z
担当講師(フルネーム)	金森和彦				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	地域ごとの国々・主な都市及び都市コードを白地図に記入 有名観光地の映像を見る				授業形態	講義
到達目標	世界の地域・国々・主な都市・有名観光地を覚える					
使用テキスト	海外観光地理サブノート 国内観光地理サブノート JTB総合研究所					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	ガイダンス時差の知識	・授業の進め方、評価法、授業の諸注意 世界地図の味方 世界遺産について GMTとDST				
2回	西欧	白地図:ヨーロッパ中央 3レター・時差・有名観光地 世界遺産:英国				
3回	北欧	白地図:地中海 3レター・時差・有名観光地 世界遺産:北欧				
4回	南欧	白地図:ヨーロッパ 3レター・時差・有名観光地 世界遺産:スペイン				
5回	南欧	白地図:ヨーロッパ 3レター・時差・有名観光地 世界遺産:フランス				
6回	南欧	白地図:ヨーロッパ 3レター・時差・有名観光地 世界遺産:イタリア				
7回	東アジア	白地図:東アジア 3レター・時差・有名観光地 世界遺産:韓国				
8回	東南アジア	白地図:東南アジア 3レター・時差・有名観光地 世界遺産:中国				
9回	東南アジア	白地図:南アジア 3レター・時差・有名観光地 世界遺産:タイ周辺				
10回	南アジア	これまでの、振り返り 主要観光地おさらい インド				
11回	北米	白地図:北アメリカ 3レター・時差・有名観光地 世界遺産:ロッキー山脈				
12回	南米	白地図:南アメリカ 3レター・時差・有名観光地 世界遺産:マヤ文明				
13回	オセアニア	白地図:オーストラリア・ニュージーランド 3レター・時差・有名観光地 世界遺産:オーストラリア				
14回	アフリカ	白地図:アフリカ 3レター・時差・有名観光地 世界遺産:エジプト				
15回	期末試験対策	出題傾向説明				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	夜間総合観光科	
科目名	面接対策				クラス	Z
担当講師(フルネーム)	小林俊也				実務経験	無
授業概要(内容)	就職内定に向けて模擬面接を中心に面接対策を行う。 尚、内定取得者に対しては、社会人としての心構え等指導する。				授業形態	講義
到達目標	全員内定できる面接レベルを目標とする					
使用テキスト	適宜プリント配布					
成績評価方法	・平常点100% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		・業界動向と1年次後期の面接対策の振り返り ・現在の志望状況と就職活動状況確認			
2回	模擬面接①		・グループ面接(基本パターンの確認) ・フィードバック			
3回	模擬面接②		・グループ面接(基本パターンの確認) ・フィードバック			
4回	模擬面接③		・グループ面接(基本パターンの確認) ・フィードバック			
5回	模擬面接④		・グループ面接(応用) ・フィードバック			
6回	就職活動報告会		・就職活動報告と今後のスケジュール			
7回	模擬面接⑥		・グループ面接(応用) ・フィードバック			
8回	内定者報告会		・面接シチュエーション及び内容の共有			
9回	模擬面接⑦		・グループ面接(応用) ※内定者については、入社に向けての課題・準備			
10回	未内定者対策		・個人面接 ※内定者については、入社に向けての課題・準備			
11回	未内定者対策		・個人面接 ※内定者については、入社に向けての課題・準備			
12回	未内定者対策		・個人面接 ※内定者については、入社に向けての課題・準備			
13回	未内定者対策		・個人面接 ※内定者については、入社に向けての課題・準備			
14回	未内定者対策		・個人面接 ※内定者については、入社に向けての課題・準備			
15回	新社会人に向けて		・新社会人に向けての決意発表 ・入社までの学校生活の送り方			

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	夜間総合観光科	
科目名	観光ゼミ				クラス	Z
担当講師(フルネーム)	宮原英利				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	観光の発展は、多方面に多大な貢献をするが、そこには問題もある。「何が問題か」と言う原因や背景を探して解決につなげ得る力を学んでいく。				授業形態	講義
到達目標	・観光が、人や社会など、さまざまな分野にもたらす効果とは何か、を理解する。 ・観光サービスの意味を理解する。					
使用テキスト	観光学基礎(編集・発行 JTB総合研究所)					
成績評価方法	・期末試験60%、課題10%、平常点20%とし、総合的に評価する ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	使用テキストの紹介と授業の進め方。 旅行業務取扱管理者試験との関係の説明 成績評価の説明等				
2回	観光を学ぶ意義と観光の 様々な効果	・現代社会と観光 ・観光を学ぶ意義				
3回	観光を学ぶ意義と観光の 様々な効果	・観光が人間にもたらす効果 ・観光が企業にもたらす効果 ・観光が地域にもたらす効果や影響を学ぶ				
4回	観光に関わる言葉	・旅と旅行の違い、及び観光の語源と観光に関わる英語を知る。 ・余暇(レジャー)、レクリエーション、ホスピタリティ等、用語の考察。				
5回	観光の仕組み	・観光を構成する要素を理解する ・観光事業の意味と仕組み。「観光事業とは何か、観光地との関係はどのようなものか」				
6回	観光資源／観光対象	「観光資源」の意味を理解する。 観光対象の特徴とはどのようなものか。				
7回	観光産業の構成と特徴	・観光産業の定義と種類を学ぶ。 観光産業・観光ビジネスの特徴を学ぶ。				
8回	様々な観光ビジネス テーマパーク	・テーマパークの歴史とその特徴、及びビジネス特性を理解する。				
9回	様々な観光ビジネス 観光土産品と土産産業	・観光土産品の始まりを知る。 ・土産産業とはどのようなものかを知る。				
10回	観光と情報	・観光行動と情報、観光情報の媒体(ツール)にはどのようなものが有るか。 ・効果的な観光情報の発信・提供方法を学ぶ。				
11回	観光政策と観光行政	・国の観光行政と観光政策との違い、及び地方と国の関係を知る。				
12回	観光のマーケティング	・マーケティングと観光への応用を知る。 ・観光マーケティングの対象と観光消費の対象となる「商品」を具体的に知る。				
13回	旅の歴史とこれからの旅行	・旅の歴史 ・マスツーリズムからサスティナブル・ツーリズムへ。				
14回	観光と国際経済・社会・文化	・インバウンドと異文化理解。 ・観光は見えざる貿易と言われる意味を理解する。				
15回	まとめ	これからの観光関連企業を発展につなげる方策を学ぶ				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	夜間総合観光科	
科目名	ホテル総論				クラス	Z①
担当講師(フルネーム)	小西翼				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	部署ごとの業務を理解し、これまでとこれからのホテル業界について考える。				授業形態	講義&演習
到達目標	ホテルで働くにあたって、部署・配属を問わず即戦力として活躍するための実務的な知識を身につける。					
使用テキスト	ホテルテキスト 基礎から学ぶ ホテルの概論					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション 宿泊部門の基礎知識	授業の進め方、評価方法の説明 玄関での送迎 ドアマン バレーパーキング				
2回	宿泊部門の基礎知識	アテンド業務 ベルスタッフ ルームチェンジ ドアオープン				
3回	宿泊部門の基礎知識	客室の構造・眺望 料金設定(イールドマネジメント) チェックインからチェックアウトまで				
4回	料飲部門の基礎知識	ホテルの料飲施設の種類 ホテルレストランの朝食・ランチ・ディナー アフタヌーンティー				
5回	料飲部門の基礎知識	フランス料理 中国料理 日本料理				
6回	料飲部門の基礎知識	ビバレッジ(アルコール・ノンアルコール)				
7回	料飲部門の基礎知識	HRS検定3級(実技)に挑戦				
8回	料飲部門の基礎知識	HRS検定3級(実技)に挑戦				
9回	宴会部門の基礎知識	ホテルで行われる宴会とは(目的・形式・テーブルプラン) 宴会部の役割・業務 MICE				
10回	宴会部門の基礎知識	宴会サービス実務				
11回	ホテルスタッフに 求められる能力	ホテルスタッフとして知っておくべき知識(ハウスインフォメーション・シティインフォメーション) 身だしなみ・動作・言葉遣い ホスピタリティ				
12回	ホテルの社会的責任	食中毒・食物アレルギー 高齢者・障がい者等への対応 個人情報・プライバシー・防犯対策				
13回	安心・安全	日本ホテル史上最悪の火災「ホテルニュージャパン」 安全<利益? 安全>利益? 「儲」⇒「信+者」ではなく「人+諸(備え・蓄え)」				
14回	後期授業のまとめ	後期授業の復習を行う。				
15回	期末試験	前期期末試験を行う。				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	夜間総合観光科	
科目名	空港実務・旅行実務				クラス	Z②
担当講師(フルネーム)	(航空)原田歩／(旅行)友納真				実務経験	有(航空・旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	航空・旅行業界を目指すにあたり、業界の実務知識を習得				授業形態	講義&演習
到達目標	航空・旅行業界に関する実務知識を習得し、観光業界の繋がりを理解する					
使用テキスト	旅行会社のカウンター販売(国内旅行編)/ANAグランドスタッフ入門 ※授業に応じて講師作成プリント					
成績評価方法	・確認テスト60% 平常点40%(小テスト・提出物等含む) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	空港実務①		海外の空港・航空会社 3レター、2レターを学ぶ 各航空会社の特徴を学ぶ			
2回	旅行実務①		旅行会社の仕事 業務(企画・手配・販売・添乗)を理解する			
3回	空港実務②		出入国書類 パスポート、ビザについて学ぶ 出入国書類に関する航空会社の責任について学ぶ			
4回	旅行実務②		販売① カウンター販売の基礎知識(約款・業界用語・パンフレットの見方・販売)を学ぶ			
5回	空港実務③		CIQ① 国際線における手続きを学ぶ 国際線におけるお客さまの流れを学ぶ			
6回	旅行実務③		販売② カウンター接客のポイントをロールプレイで実践しながら学ぶ			
7回	空港実務④		CIQ② 国際線における手続きを学ぶ 国際線におけるお客さまの流れを学ぶ			
8回	旅行実務④		販売③ アウトセールス／旅行の営業の仕事を知る			
9回	空港実務⑤		アライアンス 各アライアンスの加盟航空会社を学ぶ アライアンス加盟によるメリットを説明できるようになる			
10回	旅行実務⑤		添乗業務 添乗の仕事はツアーのリーダー。心構え、国内・海外の添乗業務を学ぶ			
11回	空港実務⑥		保安 アメリカ同時多発テロ事件について学ぶ 全日空機ハイジャック事件について学ぶ			
12回	旅行実務⑥		国内の交通(JR／航空／高速道路／フェリー) 国内移動の交通機関について学ぶ JR時刻表の見方			
13回	空港実務⑦		イレギュラー 欠航や遅延、会社都合、不可抗力について学ぶ イレギュラー時の対応について学ぶ			
14回	旅行実務⑦		トラブル処理 ツアーの数だけトラブルあり！？トラブル事例と対処法を学ぶ			
15回	期末試験		空港実務・確認テスト 旅行実務・確認テスト			